

- 第五條 本公債ノ發行價格ハ額面百法ニ付九十五法五十參トス
 - 第六條 本公債ノ元金ハ明治四十三年五月十六日ニ全部ヲ拂込ムモノトス
 - 第七條 本公債ノ利子ハ明治四十三年五月十五日ヨリ之ヲ起算ス
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●第三回四分利付英貨公債發行規程

明治四十三年五月六日
大藏省令第二十四號

- 第三回四分利付英貨公債發行規程左ノ通之ヲ定ム
- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ倫敦株式取引所ニ登錄セラレタル五分利付内國債ヲ整理償還スル爲メ英國ニ於テ英貨公債千百萬磅ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ元金ハ「明治百三年」六月一日ニ於テ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス但シ「明治五十三年」六月一日以後ハ政府ノ都合ニ由リ何時ニテモ六箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得一部償還ノ場合ハ横濱正金銀行倫敦支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金仕拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ
- 第三條 本公債ノ利子ハ一箇年百分ノ四トシ毎年六月一日、十二月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ仕拂フ
- 第四條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ英貨ヲ以テ其ノ金額ヲ記載シニ

- 十磅、五十磅、百磅及二百磅ノ四種トス
 - 第五條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付九十五磅トス
 - 第六條 本公債ノ元金ハ明治四十三年五月ヨリ八月迄ニ拂込ムヘシ
 - 前項公債募集金ニ對シテハ明治四十三年六月一日ニ於テ額面百磅ニ付一磅ノ利子ヲ仕拂ヒ同年十二月一日ニ於テ全半箇年分ノ利子ヲ仕拂フ
 - 第七條 明治二十八年、同二十九年發行軍事公債、明治三十四年、同三十五年發行帝國五分利公債ニシテ倫敦株式取引所ニ登錄セラレタル證券ハ額面計算ヲ以テ前條ノ拂込金ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ證券額面千圓ニ付十志ノ割合ヲ以テ拂込金ノ割引ヲ爲スモノトス
 - 前項ノ場合ニ於ケル換算率ハ英貨一磅ニ付金九圓七十六錢三厘トス
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十年大藏省令第二號（供託又ハ寄託セル四分利付佛貨公債又ハ第三回四分利付英貨公債ノ利札繼足ニ關スル特別取扱規程）

昭和十年一月二十五日
大藏省令第二號

供託又ハ寄託セル四分利付佛貨公債又ハ第三回四分利付英貨公債ノ利札繼足ニ關スル特別取扱規程左ノ通定ム

〔輯四七〕

- 第一條 法令ノ規定ニ依リ供託シ又ハ政府ニ對スル保證若ハ擔保トシテ寄託セル四分利付佛貨公債又ハ第三回四分利付英貨公債ノ供託者又ハ寄託者ハ該公債ノ附屬利札盡了シタル場合ニ於テ次期以降ノ利札ノ繼足ヲ受ケル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ其ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ政府保管有價證券取扱規程第二條但書ノ規定ニ依リ保管スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 前條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ノ利札繼足特別取扱請求書二通及第二號書式ノ利札繼足請求證券番號表二通ヲ供託局（供託事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヲ含ム以下同シ）又ハ取扱官廳ニ提出スヘシ
- 第三條 供託局又ハ取扱官廳前條ノ請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ一通ニ承認ノ旨ヲ記入シ他ノ一通及利札繼足請求證券番號表二通ト共ニ證券ヲ保管スル日本銀行（本支店、派出所又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ）ニ送付スヘシ
- 第四條 前條ノ請求書ノ送付ヲ受ケタル日本銀行ハ利札繼足ニ必要ナル手續ヲ爲スヘシ但シ左記各號ノ規定ニ準據スルコトヲ要ス

- 一 四分利付佛貨公債ヲ保管スル代理店ハ其ノ保管證券ヲ所屬統轄店ニ送付シテ繼足利札ノ貼附ヲ受クヘシ但シ臺北、京城、大連代理店及其
 - ノ管下代理店ニ在リテハ日本銀行本店ニ送付スルモノトス
 - 二 第三回四分利付英貨公債ヲ保管スル日本銀行ハ其ノ證券附屬ノ利札引換票（タロン）ヲ切離シ引換票ノ裏面ニ別途所定雛形ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ日本銀行本店ニ送付シ同店ヨリ繼足利札ノ送付ヲ受ケタルトキハ證券ニ貼附スルモノトス
 - 第五條 證券ヲ保管スル日本銀行ニ於テ利札繼足ノ手續ヲ了シタルトキハ第三條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル請求書ノ一通ニ其ノ旨ヲ記入シ之ヲ供託局又ハ取扱官廳ニ送付スヘシ
 - 供託局又ハ取扱官廳前項ノ請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ利札繼足ノ手續ヲ了シタル旨ヲ請求者ニ通知スヘシ
 - 第六條 本令ニ依リ利札繼足特別取扱請求書ヲ供託局又ハ取扱官廳ニテ受付クルハ四分利付佛貨公債ニ付テハ昭和十年三月五日以後第三回四分利付英貨公債ニ付テハ同年六月一日以後トス
 - 第七條 本令ノ施行ニ必要ナル取扱手續ニシテ大藏大臣ノ定ムルモノヲ除クノ外ハ日本銀行之ヲ定メ大藏大臣ニ報告スヘシ
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯四七〕

利札繼足特別取扱請求書

年 月 日

何公債何額面

法也

此證券 收

内 課

注意

ハ別紙トスルコト

四、四分利付佛貸公債ト第三回四分利付英貸公債ト

券 面 種 類	枚 数

但シ證券番號ハ別紙利札總足請求證券番號表ノ通

上記ノ寄託証券ニ對シ昭和 年 月 日 渡以障利札總足力特別取扱相受處請求候也

昭和 年 月 日

住 所

氏 名印

日本銀行(本店、支店、派出所又ハ代理店)宛

〔註五中〕

第二號書式

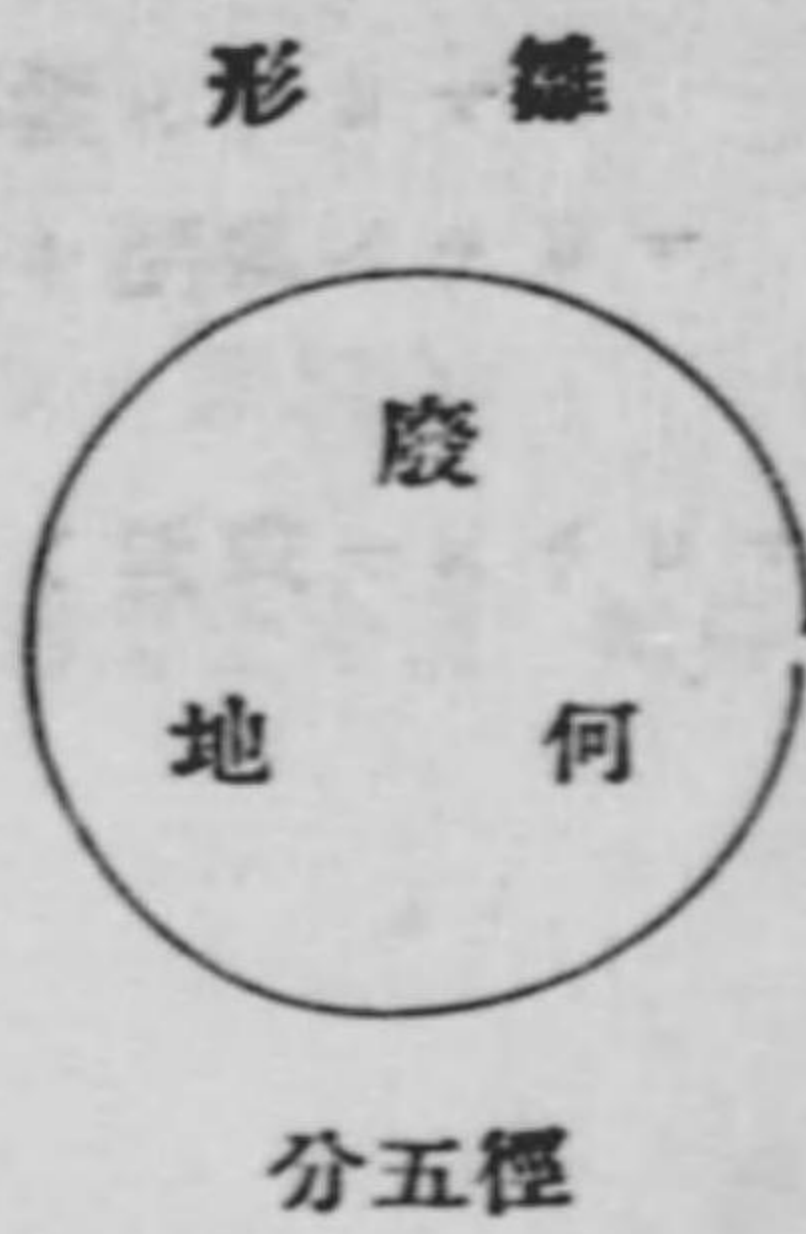
〔註四下〕

利札總足請求證券番號表

何 公 債

券 面 種 類	番 號	枚 数	備 考	券 面 種 類	番 號	枚 数	備 考
白	至			白	至		

- 注意
- 一、四分利付佛貸公債ト第三回四分利付英貸公債トハ別紙トスルコト
 - 二、證券券面種類別ニ番號順ニ記載スルコト
 - 三、枚數欄ニハ各行枚數ノ外券面種類別ニ合計枚數ヲ記載スルコト
 - 四、券面種類、番號及枚數ハアラビア數字ヲ以テ記載スルコト



●大正十三年勅令第十七號（米貨公債及英貨公債ノ發行ニ關スル件）

大正十三年二月十三日 勅令第十七號

（總理、大藏大臣副署）

朕米貨公債及英貨公債ノ發行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 政府ハ震災善後公債法第一條及國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ北米合衆國紐育ニ於テ米貨公債一億五千萬弗及英國倫敦ニ於テ英貨公債二千五百萬磅ヲ發行ス

第二條 前條ノ公債ノ元利金ノ償還及支拂ハ將來特種ノ歲入又ハ資產ヲ擔保トスル公債ヲ發行スル場合ニ於テハ該歲入又ハ資產ヲ以テ之ト同順位ニ擔保セラルルモノトス

〔輯四七〕

第三條 第一條ノ公債ノ發行ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●六分半利付米貨公債發行規程

大正十三年二月十三日 大藏省令第三號

六分半利付米貨公債發行規程左ノ通定ム

- 第一條 大正十三年勅令第十七號ニ依リ北米合衆國紐育ニ於テ發行スル公債ハ之ヲ六分半利付米貨公債ト稱ス
- 第二條 本公債ハ引受人ヲ定メ引受發行セシム
- 第三條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ六半トス
- 第四條 本公債ノ元金ハ大正四十三年二月一日ニ於テ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス但シ大正二十八年二月一日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得
- 前項但書ニ依リ一部償還ノ場合ハ橫濱正金銀行紐育支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ
- 第五條 本公債ノ利子ハ毎年二月一日及八月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ
- 第六條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ百弗、五百弗及一千弗ノ三種トス

第十二輯 財務 第五章 國債及證券

●六分利付英貨公債發行規程

大正十三年二月十三日 大藏省令第四號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六分利付英貨公債發行規程左ノ通定ム

- 第一條 政府ハ毎年左ノ金額ヲ支出シ本公債ノ元金ノ償還ニ充ツヘシ
- 一 大正十三年八月一日ヨリ起算シ五箇年間毎年五百萬弗
- 二 前條ノ期間經過後ノ五箇年間毎年四百萬弗
- 三 前二條ノ期間經過後償還期日ニ至ル迄毎年三百萬弗
- 前項ノ償還ハ大正二十八年二月一日前ニ於テハ買入銷却ノ方法ニ依リ同日以後ニ於テハ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依リ
- 第一項ノ金額ハ毎月分割シテ之ヲ支出シ其ノ支出金額ニ使用殘額アルトキハ逐次之ヲ爾後ノ月割支出額ニ充當ス
- 附則

九百七十四弗七十七仙〇〇三

九百七十八弗九十六仙八三八

第九條 四分半利付英貨公債ハ額面二百萬磅ニ付左ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得

第一回四分半利付英貨公債

第二回四分半利付英貨公債

九百七十四弗七十七仙〇〇三

九百七十八弗九十六仙八三八

第十條 政府ハ毎年左ノ金額ヲ支出シ本公債ノ元金ノ償還ニ充ツヘシ

一 大正十三年八月一日ヨリ起算シ五箇年間毎年五百萬弗

二 前條ノ期間經過後ノ五箇年間毎年四百萬弗

三 前二條ノ期間經過後償還期日ニ至ル迄毎年三百萬弗

前項ノ償還ハ大正二十八年二月一日前ニ於テハ買入銷却ノ方法ニ依リ同日以後ニ於テハ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依リ

第一項ノ金額ハ毎月分割シテ之ヲ支出シ其ノ支出金額ニ使用殘額アルトキハ逐次之ヲ爾後ノ月割支出額ニ充當ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六分利付英貨公債發行規程左ノ通定ム

六分利付英貨公債發行規程

- 第一條 大正十三年勅令第十七號ニ依リ英國倫敦ニ於テ發行スル公債ハ之ヲ六分利付英貨公債ト稱ス
- 第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ六トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ大正四十八年七月十日ニ於テ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス但シ大正二十八年二月十三日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得前項但書ニ依ル一部償還ノ場合ハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ
- 第四條 本公債ノ利子ハ毎年一月十日及七月十日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ但シ大正十三年七月十日支拂ノ利子ハ額面百磅ニ付一磅十志トス
- 第五條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ二十磅、二十五磅、五十磅、百磅及二百磅ノ五種トス
- 第六條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付八十七磅十志トス
- 第七條 本公債ノ應募者ハ額面百磅ニ付左ノ區分ニ依リ拂込ヲ爲スヘシ
 - 一 應募申込ノ際 五磅
 - 二 募入決定ノ際 二十磅
 - 三 大正十三年三月十七日 二十五磅
 - 四 大正十三年四月十四日 二十磅
 - 五 大正十三年五月十二日 十七磅十志
- 第八條ノ規定ニ依リ代用拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ大正十三年二月二十日迄ニ其ノ拂込ヲ爲スヘシ

八分利付英貨公債ハ額面百磅ニ付左ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得

- 第一回四分半利付英貨公債 百十三磅九志十片
- 第二回四分半利付英貨公債 百十三磅九志九片
- 第九條 政府ハ大正十八年七月ヨリ本公債ノ償還期日ニ至ル迄六箇月毎ニ九十万三千三百二十四磅ヲ支出シ本公債元利金ノ支拂ニ充ツヘシ

五分半利付英貨公債發行規程

- 附則 昭和五年五月十二日 大藏省令第九號
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 五分半利付英貨公債發行規程左ノ通定ス
- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ第二回四分利付英貨公債償還ノ爲英國倫敦ニ於テ五分半利付英貨公債額面千二百五十萬磅ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五半トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ昭和十年七月一日以後六箇月毎ニ支出スル一定資金ヲ以テ昭和四十年五月一日迄三十箇年間ニ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依リ償還ヲ完了スルモノトス但シ昭和十五年五月十三日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ未償還額ノ全部

〔台本〕

一時ニ償還スルコトヲ得

- 前項ノ抽籤ハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ之ヲ執行シ當籤シタル證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ
- 第四條 本公債ノ利子ハ毎年一月一日及七月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ但シ昭和六年一月一日支拂ノ利子ハ額面百磅ニ付二磅十志トス
- 第五條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ十磅、二十磅、百磅及二百磅ノ四種トス
- 第六條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付九十磅トス
- 第七條 本公債ノ應募者ハ額面百磅ニ付左ノ區別ニ從ヒ應募額ニ對スル拂込ヲ爲スヘシ
 - 一、應募申込ノ際 五磅
 - 二、募入決定ノ際 二十磅
 - 三、昭和五年六月十七日 二十磅
 - 四、昭和五年七月十一日 二十磅
 - 五、昭和五年八月十二日 二十五磅
- 第八條ノ規定ニ依リ代用拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ昭和五年五月三十一日迄ニ其ノ拂込ヲ爲スヘシ
- 第八條 第二回四分利付英貨公債(昭和六年一月一日渡利札添附)ハ額面金額ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得
- 第九條 本公債ノ元金及利子ハ橫濱正金銀行倫敦支店及紐育支店ニ於テ之ヲ支拂フ但シ紐育支店ニ於テ支拂ノ場合ノ換算率ハ英貨一磅ニ付米貨四弗八十六仙六五ノ割合トス

五分半利付米貨公債發行規程

- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 昭和五年五月十二日 大藏省令第十號
- 五分半利付米貨公債發行規程左ノ通定ス
- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ第二回四分利付英貨公債償還ノ爲北米合衆國紐育ニ於テ五分半利付米貨公債額面七千百萬弗ヲ發行ス
- 第二條 本公債ハ引受人ヲ定メ引受發行セシム
- 第三條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五半トス
- 第四條 本公債ノ元金ハ昭和十年五月一日以後六箇月毎ニ支出スル一定資金ヲ以テ昭和四十年五月一日迄三十箇年間ニ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依リ償還ヲ完了スルモノトス但シ昭和十五年五月一日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ未償還額ノ全部ヲ一時ニ償還スルコトヲ得
- 前項ノ抽籤ハ橫濱正金銀行紐育支店ニ於テ之ヲ執行シ當籤シタル證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ
- 第五條 本公債ノ利子ハ毎年五月一日及十一月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ
- 第六條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ一千弗ノ一種トス
- 第七條 本公債ノ發行價格ハ額面一千弗ニ付九百弗トス
- 第八條 本公債ノ引受人ハ昭和五年五月二十七日迄ニ引受額ニ對スル拂込

第九條 第二回四分利付英貨公債(昭和五年七月一日渡以降利札添附)ハ額面二十磅ニ付九十九弗四十七仙ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得

第十條 本公債ノ元金及利子ハ横濱正金銀行紐育支店及倫敦支店ニ於テ之ヲ支拂フ但シ倫敦支店ニ於テ支拂フ場合ノ換算率ハ英貨一磅ニ付米貨四弗八十六仙六五ノ割合トス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臨時國庫證券法

大正六年七月二十一日 法律第七號

改正 大正七年第一號、八年第一八號、一〇年第四五號
臨時國庫證券法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
(總理、大臣 副署)

臨時國庫證券法

第一條 政府ハ輸出爲替資金ノ疏通ヲ圖リ又ハ「聯合國」ニ對スル輸出軍需品代金ノ決済ヲ便ニシ其ノ他「聯合國」ノ財政ヲ援助スル爲運出資金ノ必要アリト認ムルトキハ五年内ノ期限ヲ以テ臨時國庫證券ヲ發行スルコトヲ得其ノ借換ノ爲必要アルトキ亦同シ
第二條 臨時國庫證券ノ最高發行額ハ八億圓トス但シ借換ノ爲發行スルモノハ此ノ制限ヲ超過スルコトヲ得

附則

ヲ米穀賣渡人ニ交付ス

五米穀賣渡人ハ前條ノ米穀證券交付通知書ノ領收證欄内ニ式ノ如ク署名シ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ押捺シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ本證券ヲ受領スヘシ

前項ノ米穀ニハ米穀以外ノ食糧農産物及食糧農産物ノ加工品ヲ含ムモノトス

第三條 米穀證券ヲ割引歩合入札ノ方法ニ依リ發行セントスルトキハ大藏省證券入札發行規程ノ各條項ヲ準用ス但シ同規程第二條ニ規定スル應募額ノ制限ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
別紙書式

(裏面)

第 號	日本銀行	受 取 人	「氏 名」
店 取 定 指	「何 店」	取	「氏 名」

米穀證券額面「何」圓也
發行日 昭和 年 月 日
支拂期日 昭和 年 月 日
右證券ハ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ
食糧管理局長官「氏 名 印」

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●米穀證券發行規程

昭和六年四月一日 大藏省令第八號

改正 昭和十四年第五四號、一五年第三九號、第六八號、一六年第一五號、第六三號
大正十年大藏省令第十七號米穀證券發行規程左ノ通改正ス(農林大臣 連署)

米穀證券發行規程

第一條 米穀需給調節特別會計法第三條及第四條ノ二ニ依リ發行スル證券ハ米穀證券トス
第二條 米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ發行スル米穀證券ノ額面金額ハ之ヲ一定セス
米穀需給調節特別會計法第四條ノ二ニ依リ發行スル米穀證券ノ額面金額ハ千圓、一萬圓及十萬圓ノ三種トス
第三條 米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ發行スル米穀證券ノ發行及交付ハ左記各號ノ定ムル所ニ依ル
一本證券ハ買入米穀ノ受渡ヲ爲シタル日ヲ以テ之ヲ發行ス
二本證券ニハ利子ヲ附セス
三米穀賣渡人本證券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ額面金額、枚數、發行日、交付ヲ受クヘキ國債事務取扱店及住所氏名(商號其ノ他ノ名稱)ヲ記載シタル請求書ニ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ押捺シ之ヲ食糧管理局ニ提出スヘシ
四本證券ヲ交付スルトキハ食糧管理局ハ別紙書式ノ米穀證券交付通知書

〔輯一二八〕

〔輯一二八〕

領收證

前記ノ證券正ニ領收候也
昭和 年 月 日
住 所
受取人「氏 名 印」

(裏面)

(注意事項)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ證券領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ證券ノ交付ヲ受ケヘシ
- 一、受取人カ代人ヲ以テ證券ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
- 一、受取人ノ印章ハ賣買契約ニ使用シタル印鑑ト同一ノモノニ限ル

印 紙 委 任 欄
表書證券ノ受取方ヲ
昭和 年 月 日
ニ委任仕候也

蠶絲證券發行規程

昭和十二年六月十六日
大藏省令第十八號

蠶絲證券發行規程左ノ通定ム

蠶絲證券發行規程

- 第一條 絲價安定施設特別會計法第三條及第五條ノ規定ニ依リ發行スル證券ハ蠶絲證券トス
- 第二條 絲價安定施設特別會計法第三條ノ規定ニ依リ發行スル蠶絲證券ノ額面金額ハ之ヲ一定セズ
- 第三條 絲價安定施設特別會計法第五條ノ規定ニ依リ發行スル附置證券ノ利子支拂期ハ毎年三月二十日及九月二十日又ハ六月二十日及十二月二十日ノ二回トシ各其ノ日以前六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フ但シ利子支拂期開始前元金償還ノ場合ニ於ケル當期分利子ハ元金ト同時ニ之ヲ支拂フ
- 第四條 絲價安定施設特別會計法第三條ノ規定ニ依リ發行スル蠶絲證券ノ發行及交付ニ關スル取扱ハ左記各號ノ定ムル所ニ依ル
 - 一 本證券ハ買入生絲ノ受渡ヲ爲シタル日ノ日附ヲ以テ之ヲ發行ス
 - 二 本證券ハ其ノ發行日ノ屬スル年度ノ翌年度四月一日ニ額面金額ヲ以テ之ヲ支拂フ
 - 三 本證券ニハ利子ヲ附セズ

蠶絲額面「何」圓也
證券發行日 昭和 年 月 日
證券交付指定 日本銀行「何」店
取扱店

明細表

計	檢定製造年度	種類	品位	正量	單價	金額	備考
	黃白	織度	(絲格)	斤數	圓	圓	

第二號書式 (表面)

蠶絲額面「何」圓也	第 號	決定指	日本銀行	受 取 人	發行日 昭和 年 月 日 支拂期日 昭和 年 月 日
	交付店	「何」店	「氏名又ハ名稱」		

- 四 生絲賣渡人本證券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ第一號書式ノ蠶絲證券交付請求書ヲ農林省ニ提出スベシ
 - 五 農林省ハ前號ノ蠶絲證券交付請求書ヲ受理シタルトキハ蠶絲證券發行請求書ヲ大藏省ニ提出スルモノトス
 - 六 本證券ヲ交付セントスルトキハ農林省ハ第二號書式ノ蠶絲證券交付通知書ヲ生絲賣渡人ニ交付ス
 - 七 生絲賣渡人ハ前號ノ蠶絲證券交付通知書ノ領收證欄内ニ所定ノ記入ヲ爲シ證券交付指定取扱店ニ差出シ之ト引換ニ本證券ヲ受領スベシ
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一號書式 蠶絲證券交付請求書

(注意事項)

- 一、請求者ノ印章ハ生絲賣渡契約書ニ捺捺シタルモノト同一ノモノニ限ル
- 一、請求者ハ印鑑一葉ヲ添附スベシ

昭和 年 月 日
住 所
請求者氏名又ハ名稱 印
農林省蠶絲局長 印
昭和 年 月 日生絲賣渡契約ニ基キ左記ノ通蠶絲證券交付相成度請求候也

〔輯七六〕

通告知書 領收證

右證券ハ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルベシ
昭和 年 月 日
農林省蠶絲局長「氏」 名印
住 所
受取人「氏名又ハ名稱」印

(裏面)

(注意事項)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ證券領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ證券ノ交付ヲ受ケルベシ
- 一、受取人ガ代人ヲ以テ證券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スベシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スベシ
- 一、受取人ノ印章ハ蠶絲證券交付請求書ニ捺捺シタルモノト同一

ノモノニ限ル

印紙 委任欄

表書證券ノ受取方ヲ

ニ委任仕候也

昭和 年 月 日

●大藏省證券入札發行規程

昭和五年十二月五日
大藏省令第二十四號

大藏省證券入札發行規程左ノ通定ム

大藏省證券入札發行規程

第一條 大藏省證券ヲ割引歩合入札ノ方法ニ依リ發行セントスルトキハ左

記要項ヲ定メ之ヲ告示ス

- 一 發行豫定額
- 二 證券ノ額面金額ノ種類
- 三 發行日
- 四 支拂期日
- 五 申込締切日時
- 六 申込取扱店
- 七 申込保證金ニ關スル事項
- 八 募入決定ノ日
- 九 應募現金拂込期日
- 一〇 應募現金拂込場所

第二條 應募額ハ一口ニ付額面一萬圓又ハ其ノ倍數トス

第三條 應募者ハ應募額ニ對シ大藏大臣ノ定ムル割合ニ依リ保證金ヲ納付スヘシ但シ官廳、公共團體、銀行、信託會社及保險會社其ノ他取扱銀行ニ於テ確實ト認メタルモノノ應募申込ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 應募者ハ應募額及割引歩合ヲ記載シタル入札書ヲ封緘シテ申込取扱店ニ提出スヘシ

保證金ノ納付ヲ要スル應募者ハ前項ノ入札書ヲ提出スルト共ニ應募額ヲ記載シタル保證金拂込書ヲ添ヘ保證金ヲ納付スヘシ

割引歩合ノ異ナル數口ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ入札書及保證金拂込書ハ各口毎ニ別紙ニ作成スヘシ

第五條 割引歩合ハ日歩ヲ以テ表示シモ位ニ止ムヘシ

第六條 入札書ハ締切後一定ノ日ニ於テ之ヲ開封シ割引歩合ノ低キモノヨリ順次割當テ募入スルモノトス但シ各申込ニ對シ其ノ一部又ハ全部ヲ募入外トスルコトアルヘシ

募入決定アリタルトキハ直ニ之ヲ應募者ニ通知ス

第七條 保證金ハ募入ノ分ニ付テハ之ヲ拂込金ノ一部ニ充當シ募入外ノ分ニ付テハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條 募入ノ通知ヲ受ケ拂込期日ニ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ其ノ應募申込ヲ無効トシ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第九條 應募者拂込ヲ爲シタルトキハ大藏省證券ヲ交付ス但シ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付スルコトアルヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯七六〕

〔輯一七〕

●貯蓄債券法

明治三十七年四月一日
法律第十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル貯蓄債券法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、大藏大臣副署)

貯蓄債券法

- 第一條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得
- 第二條 貯蓄債券ハ無記名札附ニシテ券面金額ヲ五圓トス
- 第三條 貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十箇年以内ニ毎年一回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スヘシ
- 貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割増金ヲ附與スルコトヲ得但シ割増第一箇ノ金額ハ券面金額ノ百倍以内トス
- 第四條 貯蓄債券ニ附スヘキ利子ノ割合ハ一箇年百分ノ四以内トシ毎年一回之ヲ仕拂フモノトス
- 第五條 貯蓄債券ニハ商法第九十九條乃至第二百五條ヲ適用セス
- 第六條 貯蓄債券及其ノ引換證ニハ印紙稅ヲ免除ス
- 第七條 日本勸業銀行ハ貯蓄債券ノ募集金ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ
- 第八條 貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第四十條及第四十一條ヲ準用ス
- 第九條 貯蓄債券ノ發行額ハ一箇年三千萬圓ヲ以テ限トス

附則

- 第十條 本法ハ明治三十七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第十一條 本法ニ依ル債券ノ發行ハ非常特別稅法施行中ニ限ルモノトス

復興貯蓄債券法

大正十三年七月二十二日 法律第十五號

改正 昭和十五年第五九號、一六年第三九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル復興貯蓄債券法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、大藏大臣副署)

復興貯蓄債券法

- 第一條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ復興貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得
- 第二條 復興貯蓄債券ハ無記名トシテ券面金額ハ五圓又ハ十圓トス

第三條 復興貯蓄債券ハ割引又ハ利子据置ノ方法ニ依リ之ヲ賣出スモノトス

割引金額及利子歩合ハ主務大臣之ヲ定ム

第四條 復興貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十年以内ニ毎年二回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スヘシ

復興貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割増金ヲ附與スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ定ム

第五條 復興貯蓄債券ニハ商法第九十九條乃至第二百條ノ二ノ規定ヲ適用セス

第六條 復興貯蓄債券ニハ印紙稅ヲ、復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル社債ノ登記ニハ登錄稅ヲ、復興貯蓄債券ノ利子ニハ所得稅及法人稅ヲ課セス

第七條 日本勸業銀行ハ復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル收入金ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

前項ノ預入ニ依ル資金ハ震災地ノ復興及地方産業ノ振興ノ必要ナル用途ニ之ヲ融通ス

第八條 復興貯蓄債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第九條 復興貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第三十五條ノ二乃至第三十五條ノ四、第四十條及第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第十條 復興貯蓄債券ハ其ノ發行ニ依ル收入金二億圓ニ達シタルトキ又ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ之ヲ發行セス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一三三〕

大正十三年法律第十四號 (震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律)

大正十三年七月二十二日 法律第十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理、大藏大臣副署)

第一條 大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失又ハ紛失シタル無記名國債證券ニ對シテハ本法ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第二條 震災ノ當時前條ノ證券ヲ所有シ又ハ占有シタル者ハ本法施行後三月内ニ限り喪失國債證券審査會ニ其ノ所有シ又ハ占有シタル證券ノ滅失又ハ紛失ニ付査定ヲ求ムルコトヲ得但シ證券ノ名稱不明ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本法施行ノ際外國ニ居住スル者ニ付テハ前項ノ期間ハ之ヲ六月トス

第三條 證券滅失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ滅失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

證券紛失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リテ生スルコトアルヘキ損失ヲ填補スル爲確實ナル擔保ヲ提供セシメ又ハ保證人ヲ立テシメ紛失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ擔保及保證人ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一項及第二項ノ場合ニ於テ證券ノ記號不明ナルモノニ付テハ同一名稱ノ證券中適宜ノ記號ノモノヲ交付スルコトヲ得

〔輯八五〕

第四條 前條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ滅失又ハ紛失シタル證券ノ償還期到來シタルトキハ政府ハ新證券ノ交付ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ爲ス

第五條 紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ記號又ハ番號不明ナル場合ニ於テ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リ政府ハ損失ヲ生シタルトキハ同一名稱ノ新證券ノ交付ヲ受ケ又ハ之ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ受ケタル者ニシテ記號又ハ番號不明ナル舊證券ニ付紛失ノ査定ヲ受ケタルモノ新證券ノ額金額又ハ元金額ニ按分シテ其ノ損失ヲ負擔ス

第六條 滅失又ハ紛失シタル同一證券ニ付第二條ノ規定ニ依ル査定ノ請求ニ以上アリタル場合ニ於テハ新證券ノ交付ハ請求者中震災ノ當時舊證券ヲ占有スヘキ權利アリタル者ニ之ヲ爲ス

滅失又ハ紛失シタル證券ニ付存シタル權利ハ新證券ニ付亦之ヲ行フコトヲ得

前二項ノ規定ハ第四條ノ元利金ニ付之ヲ準用ス

第七條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

第八條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受ケル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九條 喪失國債證券審査會ハ第七條及前條第一項ノ規定ニ依ル證據調ヲ裁判所其ノ他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第十條 喪失國債證券審査會ノ組織及證據調其ノ他審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 第一條ノ證券ニシテ震災ノ當時政府ノ保管シタルモノニ付テハ第二條乃至前條ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十三年勅令第二百八號ヲ以テ同年九月十五日ヨリ施行)

●喪失國債證券交付規則

大正十三年九月十三日勅令第二百七號

朕喪失國債證券交付規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏)

第一條 大正十三年法律第十四號第三條第二項ノ擔保ハ現金又ハ國債トシ其ノ額ハ新證券ノ額面金額ト其ノ償還期限ニ至ル迄ノ利息總額トヲ加ヘタル金額ヲ最下限トス但シ擔保提供者ニ於テ擔保トシテ提供シタル現金又ハ國債ヨリ生スル利息ヲ擔保トシテ政府ニ留保スヘキコトヲ認メタルトキハ擔保ノ額ハ新證券ノ額面金額迄之ヲ下スコトヲ得

現金ヲ以テ擔保ト爲ストキハ之ヲ供託スヘシ

第二條 大正十三年法律第十四號第三條第二項ノ保證人ハ日本銀行ノ確實

ト認メタル者ニ限ル

第三條 大正十三年法律第十四號第十一條ニ規定スル證券ニ付テハ之ヲ保管シタル官廳ノ請求ニ因リ喪失國債證券審査會ノ査定ヲ經テ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲ス但シ證券ノ名稱不明ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

大正十三年法律第十四號第三條第四項及第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ付テ準用ス

附則

本令ハ大正十三年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●喪失國債證券ニ對スル新證券交付手續

大正十三年九月十五日勅令第二百二十二號

喪失國債證券ニ對スル新證券交付手續左ノ通相定ム

第一條 大正十三年法律第十四號第二條ノ規定ニ依リ無記名國債證券ノ滅失又ハ紛失ノ査定ヲ受ケタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シ且記名捺印シタル請求書ニ印鑑證明、査定書及第二條ノ契約書ヲ添ヘ日本銀行ニ提出スヘシ

一、國債ノ名稱及總金額

二、證券ノ額面金額ノ種類及枚數

三、證券ノ記號及番號

四、證券ノ元金償還期及附屬各利札面ニ記載セル利子支拂期

(日本)

(轉八五)

五、提供スヘキ擔保ノ種類及數量又ハ保證人ノ住所氏名

六、請求年月日

七、請求者ノ住所

前項第二號乃至第四號ノ事項中不明ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二條 新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスル者ハ政府力滅失又ハ紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ存在ヲ知リタル場合ニハ證券ノ額面金額及支拂期ノ經過シタル利札ノ金額並ニ支拂ヒタル元金又ハ利子ニ對スル支拂日以後年五分ニ相當スル金額ヲ直ニ辨償スヘキ旨ヲ約スルコトヲ要ス

第三條 擔保タル國債ノ處分ヲ要スルトキハ之ヲ公賣ニ付ス

第四條 擔保及保證人ニ關シテハ國債規則第六十二條第二項、第六十五條乃至第七十條、第七十二條、第七十四條及第七十五條ノ規定ヲ準用ス

第五條 國債證券ヲ保管シタル官廳大正十三年法律第十四號第十一條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスルトキハ證券權利者毎ニ左ノ事項ヲ記載シ且官印ヲ押捺シタル請求書ヲ主務大臣及大藏大臣ヲ經テ日本銀行ニ提出スヘシ

一、國債ノ名稱及總金額

二、證券ノ額面金額ノ種類及枚數

三、證券ノ記號及番號

四、證券ノ元金償還期及附屬各利札面ニ記載セル利子支拂期

五、證券保管ノ事由

六、證券ノ滅失又ハ紛失事由

七、請求年月日

八、請求者ノ官職氏名

前項第二號乃至第四號ノ事項中不明ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第六條 日本銀行ニ於テ新證券ノ交付ニ代ヘ支拂フヘキ元利金ハ領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

附則

本令ハ大正十三年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十二年大藏省令第二十三號

(震災ニ因リ汚染又ハ毀損シタル無記名利札附國債證券引換ニ關スル件)

大正十二年十月八日勅令第二十三號

大正十二年九月一日ノ震災ニ因リ汚染又ハ毀損シタル無記名利札附國債證券ノ引換ヲ請求スル場合ニ於テ該國債證券ノ附屬利札中欠缺セルモノアルトキハ當分ノ國債規則第十四條第一項ノ規定ニ依リ欠缺利札ノ金額ニ相當スル現金ヲ納付セシメス當該利札ノ欠缺セル代證券ヲ交付スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十一年制令第三號（朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル件）

昭和十一年二月二十四日 制令第三號

朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス
朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關シテハ昭和九年法律第二十二號ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六章 預金

●預金部預金法

大正十四年三月三十日 法律第二十五號

陸帝國議會ノ協贊ヲ經タル預金部預金法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、大藏大臣副署)

預金部預金法

- 第一條 法律勅令ニ依リ大藏省預金部ニ預入ル現金ハ預金部預金トシ大藏大臣之ヲ管理ス
- 第二條 郵便貯金トシテ受入レタル現金ハ之ヲ大藏省預金部ニ預入レ其ノ利子ヲ以テ貯金利子ノ支拂ニ充ツヘシ
- 第三條 預金部預金ノ種類、利子及取扱ニ關シテハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第四條 預金部預金並大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘裕金ハ之ヲ預金部資金トシ預金部資金運用委員會ニ諮問シ有利且確實ナル方法ヲ以テ國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スヘシ
- 預金部資金運用委員會ノ組織權限及預金部資金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五條 預金部資金ノ運用ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
預金規則、明治二十三年法律第七十五號及明治三十九年勅令第二百一十一號ハ之ヲ廢止ス

【譯一】(十三版)

本法施行前大藏省預金部ニ於テ受入レタル預金ハ之ヲ預金部預金トス
預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及其ノ預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券並明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預金及預託ノ國債證券ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノニ付本法施行後三月内ニ預ケ人ノ力拂戻ノ請求ヲ爲ササルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ預金ハ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ國債證券ハ之ヲ郵便貯金法第九條ノ規定ニ依リ購入シタルモノト看做シテ保管ス

大正十四年六月二十四日 大藏省令 通信省令

- 預金部預金法附則第四項ニ依リ預金部預金ヲ郵便貯金ニ振替ノ件左ノ通之ヲ定ム
- 第一條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預金ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人ノ力拂戻ノ請求ヲ爲サ、ルトキハ大正十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ預ケ人ニ對シ郵便貯金通帳ヲ交付ス但預ケ人既ニ他ノ郵便貯金通帳ヲ所持スル場合ニハ貯金轉記ノ請求ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 前條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ振替ヘタル預金ノ利子ニ付テハ大正十四年六月分迄ノ利子ヲ從前ノ規定ニ依リ計算シ郵便貯金ノ全部拂戻又ハ利子元加ノ際其ノ支拂又ハ元加ヲ爲スヘシ
- 第三條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券及明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預託ノ國債證券ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人ノ力拂戻ノ請求ヲ爲サ、ルトキハ大正

【譯六一】

十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ貯金局保管ニ組替ヘ預ケ人ニ對シ證券保管
通帳ヲ交付ス

第四條 從前ノ預金部預金又ハ預金購入保管國債證券ノ拂戻ニ關シ特ニ定
メタル者ノ證明ヲ要スル場合ニ於テ其ノ證明ヲ爲スヘキ者ハ大正十四年
七月一日以後之ヲ郵便貯金ノ加印者トス

第五條 第一條及第三條ノ規定ニ依リ郵便貯金通帳又ハ證券保管通帳ノ交
付ヲ受ケタル者從前ノ規定ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預
金帳又ハ證券保管證書ヲ所持スルトキハ之ヲ日本銀行ニ返還スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

預金部資金運用規則

大正十四年四月一日
勅令第五十五號

改正 昭和五年第三五號、六年第二九號、七年第三三號、一〇年第二八號、一二年
第二六三號、一四年第八四三號、一六年第八五八號

預金部資金運用規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏
大臣副署)

第一條 預金部資金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ運用スヘシ

一 國債ノ應募、引受若ハ買入又ハ一般會計若ハ特別會計ニ對スル貸付

二 地方債、水利組合債若ハ健康保險組合債ノ應募、引受若ハ買入又ハ
地方公共團體、水利組合若ハ健康保險組合ニ對スル貸付

三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債券ヲ發行スルモノノ
發行ニ保ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年內
ノ貸付

四 前號ノ法人以外ノ法人ノ發行ニ保ル債券ニシテ其ノ元本ノ償還及利
息ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノノ應募、引受又ハ買入

特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債券ヲ發行スルモノノ
發行ニ保ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年內
ノ貸付

前號ノ法人以外ノ法人ノ發行ニ保ル債券ニシテ其ノ元本ノ償還及利
息ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノノ應募、引受又ハ買入

五 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ニシテ社債ヲ發行セサルモノ
ニ對スル貸付

六 外國政府ノ發行ニ保ル國債ノ應募又ハ買入

七 外國法人ノ發行ニ保ル本邦通貨ヲ以テ表示スル債券ニシテ本邦內ニ
於テ募集セラレ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付當該外國政府ノ保證
アルモノノ應募又ハ買入

八 日本銀行ニ對スル在外指定預金

第二條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ豫
メ之ヲ預金部資金運用委員會ニ付議スヘシ其ノ計畫ニ付追加又ハ變更ヲ
爲サムトスルトキ亦同シ

第三條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金運用報告書ヲ調製シ年度經過後四月
內ニ之ヲ預金部資金運用委員會ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ當該年度ニ於ケル預金部資金運用ノ狀況及運用資産ノ
異動ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スヘシ

第三條ノ二 大藏大臣ハ部下ノ官吏ニ命ジテ預金部資金ノ出納ヲ執行セシ
ムルコトヲ得

第四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外預金部資金ノ運用ノ爲必要ナル事項
ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 預金部資金運用委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ大藏大臣ノ諮問ニ
應ジ預金部資金ノ運用ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第六條 預金部資金運用委員會ハ預金部資金ノ運用ニ關シ大藏大臣ニ建議
スルコトヲ得

第七條 預金部資金運用委員會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組
織ス

臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第八條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 大藏政務次官

二 勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合

三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人

四 銀行

五 保險會社

第二條 明治二十三年法律第二十七號ニ依ル積立金ハ之ヲ大藏省預金部ニ
預入ルルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ貯金局保管ニ組替ヘ預ケ人ニ對シ證券保管
通帳ヲ交付ス

第四條 從前ノ預金部預金又ハ預金購入保管國債證券ノ拂戻ニ關シ特ニ定
メタル者ノ證明ヲ要スル場合ニ於テ其ノ證明ヲ爲スヘキ者ハ大正十四年
七月一日以後之ヲ郵便貯金ノ加印者トス

第五條 第一條及第三條ノ規定ニ依リ郵便貯金通帳又ハ證券保管通帳ノ交
付ヲ受ケタル者從前ノ規定ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預
金帳又ハ證券保管證書ヲ所持スルトキハ之ヲ日本銀行ニ返還スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

預金部資金運用規則

大正十四年四月一日
勅令第五十五號

改正 昭和五年第三五號、六年第二九號、七年第三三號、一〇年第二八號、一二年
第二六三號、一四年第八四三號、一六年第八五八號

預金部資金運用規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏
大臣副署)

第一條 預金部資金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ運用スヘシ

一 國債ノ應募、引受若ハ買入又ハ一般會計若ハ特別會計ニ對スル貸付

二 地方債、水利組合債若ハ健康保險組合債ノ應募、引受若ハ買入又ハ
地方公共團體、水利組合若ハ健康保險組合ニ對スル貸付

三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債券ヲ發行スルモノノ
發行ニ保ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年內
ノ貸付

四 前號ノ法人以外ノ法人ノ發行ニ保ル債券ニシテ其ノ元本ノ償還及利
息ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノノ應募、引受又ハ買入

特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債券ヲ發行スルモノノ
發行ニ保ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年內
ノ貸付

前號ノ法人以外ノ法人ノ發行ニ保ル債券ニシテ其ノ元本ノ償還及利
息ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノノ應募、引受又ハ買入

五 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ニシテ社債ヲ發行セサルモノ
ニ對スル貸付

六 外國政府ノ發行ニ保ル國債ノ應募又ハ買入

七 外國法人ノ發行ニ保ル本邦通貨ヲ以テ表示スル債券ニシテ本邦內ニ
於テ募集セラレ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付當該外國政府ノ保證
アルモノノ應募又ハ買入

八 日本銀行ニ對スル在外指定預金

第二條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ豫
メ之ヲ預金部資金運用委員會ニ付議スヘシ其ノ計畫ニ付追加又ハ變更ヲ
爲サムトスルトキ亦同シ

第三條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金運用報告書ヲ調製シ年度經過後四月
內ニ之ヲ預金部資金運用委員會ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ當該年度ニ於ケル預金部資金運用ノ狀況及運用資産ノ
異動ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スヘシ

第三條ノ二 大藏大臣ハ部下ノ官吏ニ命ジテ預金部資金ノ出納ヲ執行セシ
ムルコトヲ得

第四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外預金部資金ノ運用ノ爲必要ナル事項
ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 預金部資金運用委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ大藏大臣ノ諮問ニ
應ジ預金部資金ノ運用ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第六條 預金部資金運用委員會ハ預金部資金ノ運用ニ關シ大藏大臣ニ建議
スルコトヲ得

第七條 預金部資金運用委員會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組
織ス

臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第八條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 大藏政務次官

二 勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合

三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人

四 銀行

五 保險會社

第二條 明治二十三年法律第二十七號ニ依ル積立金ハ之ヲ大藏省預金部ニ
預入ルルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正 大正一四年第五號、一五年第九號、
昭和五年第一七號、六年第三二號、七年第三三號、一〇年第五號、一二年第七號、
第一九號、一四年第七號、一五年第六二號

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受拂フ爲スヘシ

第二條 預金部預金ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行
(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ

一 官廳ニ保ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任者

二 法人ニ保ルモノハ其ノ理事者

預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預金部ヨリ提出スル書類ニハ擔
當者之ニ記名捺印スヘシ

第三條 前條ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出ス
ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年勅令第九百三十五號 (大藏省預金部ニ預入ルル資金 ニ關スル件)

昭和十六年十月二十二日
勅令第九百三十五號

大正十四年勅令第九百三十五號大藏省預金部ニ預入ルル資金ニ關スル件改正

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定
ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコト
ヲ得

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定
ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコト
ヲ得

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定
ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコト
ヲ得

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二章 預金ノ種類

第三條ノ二 預金部預金中預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金及會計規則第百二十一條ノ規定ニ依ル預金以外ノモノハ之ヲ普通預金及定期預金ノ二種トス

第三條ノ三 普通預金ハ預ケ人ノ請求アルトキハ何時ニテモ之カ拂戻ヲ爲スモノトス

定期預金ハ預入ノ日ヨリ六月以上ノ約定期間内之カ拂戻ヲ爲ササルモノトス但シ約定期間内ト雖預ケ人ノ要求アルトキハ事情ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

第三章 預金ノ拂込

第四條 預ケ人預金ノ拂込ヲ爲サルトキハ定期預金ニ在リテハ第一號書式ノ預金部預金拂込書ヲ、其ノ他ノ預金ニ在リテハ第一號ノ二書式ノ預金部預金拂込書ヲ添へ現金ヲ日本銀行ニ拂込ミ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

定期預金以外ノ預金ノ預ケ人ハ預金ノ拂戻ニ使用スル小切手用紙ノ交付ヲ受ケヘシ

預ケ人ハ必要アル場合ニ於テハ預金部預金帳ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第五條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テハ保管金ヲ提出スヘキ者ヲシテ第二號書式ノ保管金振込書ヲ添へ現金ヲ日本銀行ニ於ケル預ケ人ノ預金ニ振込マシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ振込ヲ爲サシメタル場合ニ於テハ振込人ヲシテ日本銀行ヨリ預金部預金振込済通知書ノ交付ヲ受ケシムヘシ

第六條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人ハ其ノ預金ヲ以テ購入保管ニ保ル有價證券ノ利子支拂期到來シタルモノアルトキハ第三號書式ノ有價證券利子預金組入請求書ニ、其ノ償還ヲ受ケヘキモノアルトキハ第四號書式ノ有價證券償還金預金組入請求書ニ受領ノ旨ヲ記入シ當該有價證券ノ記番號内譯表ヲ添附シテ之ヲ日本銀行ニ提出シ預金組入金額ノ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ但シ有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ日本銀行政府有價證券取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ遺失物法ニ依ル政府保管有價證券ノ元利金受入ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ受領ノ旨ヲ記入シテ日本銀行ニ提出シ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

第九條ノ二 預ケ人定期預金ノ更新ヲ爲サルトキハ其ノ期限到來ノ日迄ニ第四號ノ二書式ノ預金部定期預金更新通知書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

預ケ人前項ノ手續ヲ爲サルトキハ定期預金ノ期限到來ノ日ヨリ普通預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條 預金ノ拂戻

第九條 預ケ人預金ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ定期預金ニ在リテハ第五號書式ノ預金部預金拂戻請求書ヲ日本銀行ニ提出シ其ノ他ノ預金ニ在リテハ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出スヘシ

第十條 削除

第十一條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第十三條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ保管替ヲ爲サルトキハ第六號書式ノ預金部預金預入替請求書ヲ添へ保管替ヲ爲スヘキ金額ヲ券面金額トセル小切手ヲ日本銀行ニ交付スヘシ

第十二條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第八條又ハ供託物取扱規則第八條ノ規定ニ依リ日本銀行ヲシテ保管金又ハ供託金ノ他店拂ヲ爲サシメタルトキハ他店拂ヲ爲スヘキ金額

預ケ人前項ノ手續ヲ爲サルトキハ前項ノ利子ハ期限到來ノ日ニ普通預金トシテ拂込マレタルモノト看做ス

第十四條 預ケ人毎年四月日本銀行ヨリ預金利子元加通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

第十三條但書及前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ元加利子額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十四條ノ二 預ケ人日本銀行ヨリ預金部預金利子組入通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ定期預金利子ノ普通預金組入額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人郵便貯金規則第二十四條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ對スル利子ノ元加ヲ要スルトキハ第七號書式ノ預金部預金利子元加請求書ヲ、郵便貯金規則第七十九條ノ規定ニ依リ隨時郵便貯金ニ對スル利子ノ支拂ヲ要スルモノアルトキハ第八號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ヲ預金部資金局ニ提出スヘシ

第十六條 預金部資金局前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ調査ノ上元加又ハ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ該請求書ニ記入シ之ヲ日本銀行本店ニ送付シ利子元加又ハ支拂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十七條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ニ對シテ利子ノ支拂ヲ要スルトキハ第九號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ニ依リ其ノ利子額ニ相當スル預金利子額ノ支拂ヲ日本銀行ニ請求スヘシ但シ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ノ提出シタル利子請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ預金部預金利子支拂請求書ニ代フルコトヲ得

第六條 預金購入有價證券

第十二輯 財務 第六章 預金

一六六三

キハ第四號書式ノ有價證券償還金預金組入請求書ニ受領ノ旨ヲ記入シ當該有價證券ノ記番號内譯表ヲ添附シテ之ヲ日本銀行ニ提出シ預金組入金額ノ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ但シ有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ日本銀行政府有價證券取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ遺失物法ニ依ル政府保管有價證券ノ元利金受入ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ受領ノ旨ヲ記入シテ日本銀行ニ提出シ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

第九條ノ二 預ケ人定期預金ノ更新ヲ爲サルトキハ其ノ期限到來ノ日迄ニ第四號ノ二書式ノ預金部定期預金更新通知書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

預ケ人前項ノ手續ヲ爲サルトキハ定期預金ノ期限到來ノ日ヨリ普通預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條 預金ノ拂戻

第九條 預ケ人預金ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ定期預金ニ在リテハ第五號書式ノ預金部預金拂戻請求書ヲ日本銀行ニ提出シ其ノ他ノ預金ニ在リテハ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出スヘシ

第十條 削除

第十一條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第十三條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ保管替ヲ爲サルトキハ第六號書式ノ預金部預金預入替請求書ヲ添へ保管替ヲ爲スヘキ金額ヲ券面金額トセル小切手ヲ日本銀行ニ交付スヘシ

第十二條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第八條又ハ供託物取扱規則第八條ノ規定ニ依リ日本銀行ヲシテ保管金又ハ供託金ノ他店拂ヲ爲サシメタルトキハ他店拂ヲ爲スヘキ金額

預ケ人前項ノ手續ヲ爲サルトキハ前項ノ利子ハ期限到來ノ日ニ普通預金トシテ拂込マレタルモノト看做ス

第十四條 預ケ人毎年四月日本銀行ヨリ預金利子元加通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

第十三條但書及前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ元加利子額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十四條ノ二 預ケ人日本銀行ヨリ預金部預金利子組入通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ定期預金利子ノ普通預金組入額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人郵便貯金規則第二十四條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ對スル利子ノ元加ヲ要スルトキハ第七號書式ノ預金部預金利子元加請求書ヲ、郵便貯金規則第七十九條ノ規定ニ依リ隨時郵便貯金ニ對スル利子ノ支拂ヲ要スルモノアルトキハ第八號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ヲ預金部資金局ニ提出スヘシ

第十六條 預金部資金局前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ調査ノ上元加又ハ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ該請求書ニ記入シ之ヲ日本銀行本店ニ送付シ利子元加又ハ支拂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十七條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ニ對シテ利子ノ支拂ヲ要スルトキハ第九號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ニ依リ其ノ利子額ニ相當スル預金利子額ノ支拂ヲ日本銀行ニ請求スヘシ但シ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ノ提出シタル利子請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ預金部預金利子支拂請求書ニ代フルコトヲ得

第六條 預金購入有價證券

第十二輯 財務 第六章 預金

一六六三

第十八條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人預金ヲ以テ有價證券ノ購入ヲ請求セムトスルトキハ第十號書式ノ有價證券購入請求書ヲ預金部資金局ニ提出スヘシ

第二十條 削除

第二十一條 預金部資金局日本銀行本店ヨリ購入有價證券ノ額面金額及購入代價ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十一號書式ノ有價證券購入済通知書ヲ日本銀行ヲ經テ預ケ人ニ送付スヘシ

第二十二條 預ケ人前條ノ通知書ヲ受ケタルトキハ該通知書ノ裏面ニ有價證券購入代價ニ相當スル金額ノ預金ヲ領收セル旨ヲ記入シ之ヲ日本銀行ニ提出シ預金購入有價證券保管通知書ノ交付ヲ受ケヘシ

第二十三條 預ケ人預金購入有價證券ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ第十二號書式ノ預金購入有價證券拂戻請求書ニ當該有價證券ノ記番號内譯表ヲ添附シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ但シ有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條 預ケ人日本銀行ヨリ預金購入有價證券ノ拂戻ヲ受ケタルトキハ第十三號書式ノ預金購入有價證券受領證書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第七章 證明

第二十五條 預ケ人官廳ナル場合ニ於テ日本銀行統轄店又ハ特設代理店ヨリ預金部預金ノ受入及拂渡ノ請求書並支拂小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ預金部預金月計突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日内ニ之ヲ日本銀行ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付スル場合ニ於テハ預金取扱店ヲ經由スヘシ
第一項ノ規定ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏統轄店ヨリ預金部受拂計算表

ノ送付ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第八章 雜則

第二十六條 日本銀行甲店ヲ預金取扱店トスル預ケ人日本銀行乙店ヲ預金取扱店ニ變更セムトスルトキハ第十四號書式ノ預金取扱店變更申請書ヲ日本銀行甲店ニ提出シ預金部預金現在額證明書ノ交付ヲ受ケヘシ
預ケ人ハ前項ノ證明書ヲ日本銀行乙店ニ提出シ承認ノ旨ノ記入ヲ受ケヘシ

第二十七條 預ケ人預金部預金領收證書、預金部預金振込済通知書又ハ預金購入有價證券保管通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ日本銀行ニ提出シ之ヲ證明ヲ請求スルコトヲ得第五條第二項ノ振込人預金部預金振込済通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第二十八條 第二十五條ノ規定ニ依リ預ケ人又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏預金部預金月計突合表又ハ預金部受拂計算表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本銀行統轄店又ハ特設代理店ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ送付スル場合ニ於テハ預金取扱店ヲ經由スヘシ

第二十九條 預金部預金帳ノ交付ヲ受ケタル預ケ人ハ隨時之ヲ日本銀行ニ提出シ預金ノ受拂額ノ記入ヲ受ケヘシ

第三十條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人ハ日本銀行ヨリ預金購入有價證券保管帳ノ交付ヲ受ケ隨時之ヲ日本銀行ニ提出シ預金購入有價證券ノ受拂額ノ記入ヲ受ケヘシ

附則

第三十一條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第三十二條 預金取扱規程ハ之ヲ廢止ス

第三十三條

本令施行前大藏省預金部ニ預入ヲ爲シタル預ケ人ハ從前ノ規定ニ依ル總代人、擔當者又ハ取扱主任官ヲ以テ本令ニ規定スル擔當者ト爲シタルモノト看做ス

保管金取扱規程第二十三條ノ規定ニ依ル預金部預金ノ預ケ人ハ保管物取扱規程ニ依ル取扱主任官ヲ以テ本令ニ規定スル擔當者ト爲シタルモノト看做ス

第三十四條

本令施行前預ケ人カ金庫ヨリ交付ヲ受ケタル預金通帳ハ本令ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預金帳ト看做ス

附則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金及會計規則第二百一十一條ノ規定ニ依ル預金以外ノ預金ニシテ本令施行前預入ニ係ルモノニ付テハ其ノ預ケ人ハ本令施行後一月内ニ預金ノ種類ヲ定メ之ヲ日本銀行ニ通知スルコトヲ要ス

預ケ人前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ本令施行ノ日ニ於テ當該預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做シ其ノ通知ヲ爲ササルトキハ本令施行ノ日ニ於テ普通預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做ス
大正九年九月大藏省告示第六十五號ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ昭和五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

附則

本令ハ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

預金部預金拂込書

第 號 金 期 限 年 月 日 預入根據法令 上記金額預金部定期預金トシテ拂込候也 年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者)印

日本銀行(何店)宛

第一號ノ二書式 預金部預金拂込書 (用紙寸法 半紙判半裁)

預金部預金拂込書

第 號
金

預入根據法令

上記金額拂込候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名 (又ハ何々理事者) 印
住 所 氏 名

日 本 銀 行 (何店) 宛

第二號書式 保管金振込書 (用紙寸法 半紙判半裁)

保管金振込書

金

右某廳ノ保管金トシテ振込候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

日本銀行(何店)宛

備考 本書ハ之ヲ横書スルコトヲ得

〔幞六四〕

第三號書式 有價證券利子預金組入請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

有價證券利子預金組入請求書

金 内課下記ノ通
上記利子金額受領ノ上郵便貯金ニ保ル預金ニ元加相成度候也
年 月 日 貯金局長氏名 印
日本銀行宛

證券種別	券面額	利子額	内 課						
			所得稅賦課			同 免 除			
			券面額	利子額	所得額	券面額	利子額		

第三號書式附屬 所得稅免除證券利子證明書 (用紙寸法 半紙判半裁)

所得稅免除證券利子證明書

金 利子金額
内 課

證券種別	記番號及回數別	券 面 額	利 子 額

上記證券ハ所得稅ヲ免除スヘキ所有者ノ分ナルコトヲ證明ス

年 月 日

貯金局長氏名 印

〔幞六四〕

預金部預金拂戻請求書

定期預金
 預入年月日 年 月 日
 期限 年 月 日
 預入根據法令

上記金額拂戻相成度候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者) 印
 (住所氏名)

日本銀行(何店)宛

上記金額領收候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者) 印
 (住所氏名)

日本銀行(何店)宛

預金部預金預入替請求書

預入替受人官廳
 同 受入店

上記ノ通預入替相成度候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名 印

日本銀行(何店)宛

第五號書式 預金部預金拂戻請求書(用紙寸法半紙判半裁)

第六號書式 預金部預金預入替請求書(用紙寸法半紙判半裁)

【合本】

備考
 有價證券力國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

有價證券償還金預金組入請求書

證券何枚
 内譯下記ノ通

上記償還金額受領ノ上郵便貯金ニ係ル預金ニ組入相成度候也

年 月 日

貯金局長氏名 印

日本銀行宛

内譯(證券記番號ハ別紙記番號内譯表ノ通)

證券種別	券面、記號及同數別	枚數	券面額	割増金	月割利子	受預高

預金部定期預金更新通知書

金

預入年月日 年 月 日

期限 年 月 日

預入根據法令

上記預金期限到來後引續キ 年 月 日迄預入繼續可致候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者) 印
 (住所氏名)

日本銀行(何店)宛

【輯一四】

第四號書式 有價證券償還金預金組入請求書(用紙寸法半紙判半裁)

第四號ノ二書式 預金部定期預金更新通知書(用紙寸法半紙判半裁)

預金部預金利子支拂請求書

金
 上記金額郵便貯金ノ利子支拂ヲ要スルモノニ付支拂ノ手續相成度候也
 年 月 日
 貯金局長氏名^印
 預金部資金局長宛
 上記金額支拂ヲ要ス
 年 月 日
 預金部資金局長氏名^印
 日本銀行宛
 上記金額領收候也
 年 月 日
 貯金局長氏名^印
 日本銀行宛

第八號書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半裁)

預金部預金利子支拂請求書

金 保管金(又ハ供託金)利子
 上記金額支拂相成度候也
 年 月 日
 某廳取扱主任官官氏名(又ハ某供託局長氏名)^印
 日本銀行(何店)宛
 上記金額領收候也
 年 月 日 住所
 氏 名^印
 日本銀行(何店)宛

第九號書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半裁)

預金部預金利子支拂請求書

金 定期預金利子
 預入年月日 年 月 日
 期 限 年 月 日
 預入根據法令
 上記金額支拂相成度候也
 年 月 日
 某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者)^印
 住所氏名
 日本銀行(何店)宛
 上記金額領收候也
 年 月 日
 某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者)^印
 住所氏名
 日本銀行(何店)宛

第六號ノ二書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半裁)

預金部預金利子元加請求書

金
 上記金額郵便貯金ノ利子元加ヲ要スルモノニ付預金ニ元加ノ手續相成度候也
 年 月 日
 貯金局長氏名^印
 預金部資金局長宛
 上記金額元加ヲ要ス
 年 月 日
 預金部資金局長氏名^印
 日本銀行宛

第七號書式 預金部預金利子元加請求書(用紙判半裁)

第十號書式 有價證券購入請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

有價證券購入請求書

下記證券 月 日ノ時價ヲ以テ購入保管相成度候也

年 月 日

貯金局長氏名 印

預金部資金局長宛

證券種別	券面額	券面別	枚數	見込相場額	備考

第 號
有價證券購入済通知書原符
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

貯金局長氏名
購入済通知書年月日

第 號
有價證券購入済通知書
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

上記證券購入済 = 付通知ス
年 月 日
預金部資金局長氏名 印
日本銀行宛

裏 面

第十一號書式 有價證券購入済通知書 (用紙寸法 縦八寸五分 横一尺五分)

第 號
有價證券購入済通知書
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

上記證券購入済 = 付通知ス
年 月 日
預金部資金局長氏名 印
貯金局長宛

日本銀行宛

年 月 日

表書ノ通大藏省ヨリ通知ヲ受ケ候ニ付預金部預金帳及預金購入有價證券保管帳差出候間購入代價及有價證券ノ記入相成度候也

貯金局長氏名 印

第十二號書式 預金購入有價證券拂戻請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

備考
有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

預金購入有價證券拂戻請求書
何公債證書(又ハ何)額面何圓也 何 枚
内譯下記ノ通
上記證券拂戻相成度候也
年 月 日
貯金局長氏名 印
日本銀行宛
内 譯 (證券記番號ハ別紙記番號内譯表ノ通)

券面、記號及回数別	枚數	券面、記號及回数別	枚數	券面、記號及回数別	枚數

[輯一四]

[輯一四]

第十三號書式 預金購入有價證券受領證書 (用紙寸法 半紙判半載)

預金購入有價證券受領證書 何枚
何公債證書(又ハ何)額面何圓也 内譯下記ノ通

上記證券領收候也 年 月 日

貯金局長氏名 印

日本銀行宛

券面、記番 號及回数別	枚數	券面、記番 號及回数別	枚數	券面、記番 號及回数別	枚數	券面、記番 號及回数別	枚數

第十四號書式 預金取扱店變更申込書 (用紙寸法 半紙判半載)

預金取扱店變更申込書 左記預金日本銀行(何店)ノ取扱ニ變更相成度候也
年 月 日

日本銀行(何店)宛
某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事若ハ何々總代住所氏名) 印
預金現在高

●預金部普通地方資金融通規則

昭和七年十二月十六日 大藏省令第三十號
昭和九年第三〇號、一〇年第一〇號、一一年第二八號、第三四號、一三年第一二號、一五年第三〇號、一六年第二號、第五七號

- 預金部普通地方資金融通規則左ノ通定ム
- 第一章 總則
- 第一條 預金部普通地方資金ノ融通ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ルモノトス
- 第二條 預金部普通地方資金ハ之ヲ左ノ十四種トス
- 一 公共團體普通事業資金
 - 二 社會事業資金
 - 三 土地區劃整理組合事業資金
 - 四 耕地整理組合事業資金
 - 五 産業組合事業資金
 - 六 森林組合事業資金
 - 七 漁業組合事業資金
 - 八 畜産組合事業資金
 - 九 牧野組合事業資金
 - 十 工業組合事業資金
 - 十一 貿易組合事業資金
 - 十二 商業組合事業資金
 - 十三 自動車運送事業組合事業資金
 - 十四 酒造組合事業資金
- 第二章 融通先
- 第三條 本資金ハ左ノ各號ノ者ニ限リ之ヲ融通スルコトヲ得
- 一 公共團體普通事業資金ニ在リテハ
北海道地方費(以下道ト稱ス)、府縣、市町村、市町村組合及町村

- 組合
- 一 水利組合(水利組合聯合ヲ含ム以下同シ)及北海道土功組合
 - 二 社會事業資金ニ在リテハ
道、府縣、市町村、市町村組合及町村組合
住宅組合
産業組合
營利ヲ目的トセザル法人
 - 三 土地區劃整理組合事業資金ニ在リテハ
土地區劃整理組合
土地區劃整理組合聯合會
 - 四 耕地整理組合事業資金ニ在リテハ
耕地整理組合(耕地整理共同施行者ヲ含ム以下同シ)
耕地整理組合聯合會
 - 五 産業組合事業資金ニ在リテハ
産業組合
産業組合聯合會
 - 六 森林組合事業資金ニ在リテハ
森林組合
森林組合聯合會
 - 七 漁業組合事業資金ニ在リテハ
漁業組合
漁業組合聯合會
 - 八 畜産組合事業資金ニ在リテハ
畜産組合
畜産組合聯合會
 - 九 牧野組合事業資金ニ在リテハ
牧野組合
 - 十 工業組合事業資金ニ在リテハ

- イ 工業組合
 - ロ 工業組合聯合會
 - 十一 貿易組合事業資金ニ在リテハ
 - イ 貿易組合
 - ロ 貿易組合聯合會
 - 十二 商業組合事業資金ニ在リテハ
 - イ 商業組合
 - ロ 商業組合聯合會
 - 十三 自動車運送事業組合事業資金ニ在リテハ
 - イ 自動車運送事業組合
 - ロ 自動車運送事業組合聯合會
 - 十四 酒造組合事業資金ニ在リテハ
 - イ 酒造組合
 - ロ 酒造組合聯合會
- 第四條 本資金ノ融通ヲ受クル者ハ左ノ各號ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス
- 一 財務ノ整理良好ナルコト
 - 二 事業ノ計畫及償還ノ見込確實ナルコト
- 産業組合、森林組合、漁業組合、畜産組合、牧野組合、工業組合、貿易組合、商業組合、自動車運送事業組合、酒造組合及其ノ聯合會ニ在リテハ前項ニ依ルノ外其ノ設立後三年ヲ經過シタルコトヲ要ス但シ其ノ基礎鞏固ナリト認メラル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三章 資金ノ用途
- 第五條 本資金ハ左ノ各號ノ用途ニ對シ之ヲ融通スルモノトス
- 一 公共團體普通事業資金ニ在リテハ
 - イ 灌漑及排水事業費
 - ロ 開墾、干拓及埋立事業費
 - ハ 耕地整理事業費
 - ニ 卸賣市場費
 - ホ 産業指導施設費

- ヘ 産業共同施設費
- ト 災害豫防費
- チ 病院、隔離病舎及療養所建設費
- リ 衛生試験所及細菌検査所建設費
- ニ 水道及下水道費
- ハ 墓地、汚物取扱場、火葬場及塵芥處分場費
- ロ 屠場費
- カ 道路、橋梁及渡船場費
- コ 飛行場建設費
- ク 學校、幼稚園及教員住宅建設費
- ケ 圖書館及公會堂建設費
- コ 動物園、植物園及水族館建設費
- セ 公園及廣場建設費
- ソ 運動場及水泳場建設費
- タ 電氣及瓦斯事業費
- チ 軌道及自動車事業費
- ツ 其ノ他ノ事業費
- テ 前記各事業ニ關スル負擔金、寄附金又ハ助成金
- ト 社會事業資金ニ在リテハ
 - イ 住宅ノ建設費
 - ロ 公益質屋費
 - ハ 公益市場費
 - ニ 簡易宿泊所費
 - ホ 託兒所費
 - ヘ 其ノ他ノ社會事業費
- 三 土地區劃整理組合事業資金、耕地整理組合事業資金、産業組合事業

資金、森林組合事業資金、漁業組合事業資金、畜産組合事業資金、牧野組合事業資金、工業組合事業資金、貿易組合事業資金、商業組合事業資金、自動車運送事業組合事業資金及酒造組合事業資金ニ在リテハ

イ 當該組合又ハ同聯合會ノ事業費

第四章 資金ノ借入申込

第六條 地方公共團體又ハ水利組合本資金ノ借入ヲ爲サントスルキハ借入ヲ要スル年度ノ前年度三月三十一日迄ニ預金部資金借入申込書(第一號様式)ヲ第二條第一號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及内務大臣ニ、第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及厚生大臣ニ提出スベシ

東京市、京都市、大阪市、横浜市、神戸市及名古屋(以下六大都市ト稱ス)以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ノ提出スル前項ノ預金部資金借入申込書ニシテ大藏大臣ニ提出スルモノニ在リテハ財務局ヲ經由シ、内務大臣又ハ厚生大臣ニ提出スルモノニ在リテハ地方官ヲ經由スベシ

第七條 削除

第八條 地方公共團體及水利組合以外ノ者本資金ノ借入ヲ爲サントスルキハ借入ヲ要スル年度ノ前年度三月三十一日迄ニ預金部資金借入申込書(第一號様式)ヲ第二條第一號及第三號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及内務大臣ニ、第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及厚生大臣ニ、第四號乃至第九號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ、第十號及第十二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及商工大臣又ハ農林大臣ニ、第十一號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及商工大臣ニ、第十三號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及鐵道大臣ニ、第十四號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣ニ提出スベシ

前項ノ預金部資金借入申込書ニシテ大藏大臣ニ提出スルモノニ在リテハ財務局ヲ經由シ、内務大臣、厚生大臣、農林大臣、商工大臣又ハ鐵道大臣ニ提出スルモノニ在リテハ地方官ヲ經由スベシ

第九條 第六條及前條ノ期限ヲ經過シタル後第五條ノ用途ニ該當スル事業ニ關シ必要避クベカラザル事由ノ爲本資金ノ借入ヲ爲サントスル者ニ在

リテハ第六條及前條ノ規定ニ拘ラズ其ノ都度借入申込ヲ爲スコトヲ得

第十條 削除

第五章 資金ノ融通

第一節 總則

第十一條 地方公共團體及水利組合ニ對スル資金ノ融通ハ直接預金部又ハ財務局ニ於テ之ガ取扱ヲ爲スモノトス

地方公共團體及水利組合以外ノ者ニ對シテハ日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ヲ經由シテ資金ノ融通ヲ爲スモノトス但シ第二條第二號ノ資金ニ在リテハ此ノ外尙道、府縣轉貸ノ方法ニ依リ融通ヲ爲スコトアルベシ

第十二條 地方公共團體及水利組合ニ對スル預金部資金ノ融通ハ當該地方債證券若ハ水利組合債證券ノ引受又ハ貸付ノ形式ニ依ルモノトス

日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ニ對スル預金部資金ノ融通ハ債證券引受ノ形式ニ依ルモノトス但シ三年以内ノモノニ限り貸付ノ形式ニ依ルコトアルベシ

第十三條 前條ノ規定ニ依ル地方債證券、水利組合債證券、債券又ハ貸付金ノ償還期限ハ五年以内ノ据置期間ヲ併セ二十年以内トス但シ資金融通ノ目的タル事業ノ種類其ノ他ノ事由ニ依リ特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ五年以内ノ据置期間ヲ併セ三十年以内ト爲スコトアルベシ

第十四條 日本勸業銀行及農工銀行ノ預金部資金ノ貸付ハ定期償還又ハ年賦償還、北海道拓殖銀行及産業組合中央金庫ノ預金部資金ノ貸付ハ定期償還、年賦償還又ハ手形割引、日本興業銀行ノ預金部資金ノ貸付ハ定期償還、又ハ手形割引、商工組合中央金庫ノ預金部資金ノ貸付ハ定期償還、年賦償還、月賦償還又ハ手形割引ノ方法ニ依ルモノトス

前項ノ定期償還貸付ノ償還期限ハ五年以内、年賦償還貸付ノ償還期限ハ五年以内ノ据置期間ヲ併セ二十年以内、月賦償還貸付ノ償還期限ハ二年以内ノ据置期間ヲ併セ五年以内トス但シ年賦償還貸付ノ償還期限ニ付テ

ハ資金融通ノ目的タル事業ノ種類其ノ他ノ事由ニ依リ特ニ必要アリト認
ムル場合ニ於テハ五年以内ノ据置期間ヲ併セ三十年以内ト爲スコトアル
ベシ

第十五條 前四條ノ外預金部資金ノ融通利率其ノ他ノ融通條件ニ關シテハ
大藏大臣ノ時時定ムル所ニ依ルモノトス

第二節 地方公共團體及水利組合ニ對スル資金ノ融通

第十六條 地方公共團體又ハ水利組合第六條及第九條ノ規定ニ依リ預金部
資金ノ借入申込ニ對シ資金割當ノ通知ヲ受ケタル場合又ハ道、府縣第十
一條第二項但書ノ規定ニ依リ轉貸資金ニ付資金割當ノ通知ヲ受ケタル場
合ニ於テ現金ノ交付ヲ受ケントスルキハ預金部資金交付申請書(第三
號様式)ニ起債決議書寫、起債許可書寫及償還年次表ヲ添ヘ道、府縣又
ハ六大都市ニ在リテハ預金部ニ、六大都市以外ノ市町村、市町村組合、
町村組合又ハ水利組合ニ在リテハ財務局ニ之ヲ提出スベシ

資金ノ交付ヲ受ケベキ期日ハ預金部資金交付申請書發送ノ日ヨリ二十日
以上ノ餘日ヲ存スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ餘日ノ短縮ヲ
認ムルコトアルベシ

第十七條 地方公共團體又ハ水利組合日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ
合ム以下同シ)ヨリ現金ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ地方債證
券、水利組合債證券(第四號様式)又ハ借用證書(第五號様式)ヲ日本銀行
當該店ニ提出スベシ

前項ニ依リ地方公共團體又ハ水利組合ガ日本銀行代理店ニ地方債證券、
水利組合債證券又ハ借用證書ヲ提出スル場合ニ於テハ之ガ送付書ヲ添附
スベシ

第十八條 道、府縣ガ轉貸ノ爲交付ヲ受ケタル預金部資金ノ貸付ニ付テハ
第二十條乃至第二十三條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 地方公共團體及水利組合以外ノ者ニ對スル資金ノ融通
タルトキハ日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、

産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ハ割當額ノ範圍内ニ於テ融通ス
ルヲ適當ト認ムル金額ニ付債券引受申請書(第六號様式)又ハ預金部資金
貸付申請書(第七號様式)ヲ預金部ニ提出スベシ但シ資金ノ交付ヲ受ケベ
キ期日ハ債券引受申請書又ハ預金部資金貸付申請書發送ノ日ヨリ十日以
上ノ餘日ヲ存スルコトヲ要ス

日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、産業組合中
央金庫又ハ商工組合中央金庫前項ノ申請ニ依リ日本銀行本店ヨリ現金ノ
交付ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ債券又ハ借用證書(第五號様式)ヲ日本
銀行本店ニ提出スベシ

第二十條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、産
業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫前條ノ規定ニ依リ貸付資金ノ交付
ヲ受ケタルトキハ速ニ貸付ヲ爲スベシ

第二十一條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、
産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫預金部資金ノ貸付ヲ爲ス場合ニ
於テハ其ノ債務者トノ間ニ締結スル貸借契約ニ借入金ノ預金部資金ナル
コト並ニ借入金使用ノ目的ヲ明示シ且左ノ事項ヲ定ムベシ

一 債務者ガ其ノ借入金ヲ資金供給ノ目的以外ニ使用シタルトキ又ハ借
入後長期ニ亘リ資金供給ノ目的ノ爲ニ使用セザルトキハ之ヲ返還スル
コト

二 預金部又ハ財務局ハ債務者ニ就キ隨時調査ヲ爲シ又ハ報告ヲ徵スル
コトアルベキコト

第二十二條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、
産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ニ於テ其ノ交付ヲ受ケタル預金
部資金中不用トナリタルモノアルトキ又ハ本資金ニ依リ貸付金ノ返済高
ガ大藏省預金部ニ對スル償還豫定高ヲ超過シタルトキハ最近ノ元利金支
拂期日ニ於テ該不用額又ハ超過額ニ相當スル金額ヲ償還スベシ但シ債券
發行ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ券面額ニ滿テザル端數ハ
之ヲ次期ノ計算ニ繰越スコトヲ得

第二十三條

日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、
産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ニ於テ預金部資金ノ貸付ヲ爲シ
タルトキハ一口毎ニ區別シテ毎月之ヲ報告スベシ

前項ノ報告書ハ第二條第一號及第三號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、
内務大臣及地方長官ニ、第二號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、農
林大臣及地方長官ニ、第四號乃至第九號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、農
林大臣及地方長官ニ、第十號及第十二號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣
及農工大臣又ハ農林大臣並ニ地方長官ニ、第十一號ノ資金ニ關スルモノ
ハ大藏大臣、農工大臣及地方長官ニ、第十三號ノ資金ニ關スルモノハ大
藏大臣、鐵道大臣及地方長官ニ、第十四號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大
臣及地方長官ニ提出スベシ

第六章 償還及利子拂

第二十四條 道、府縣、六大都市、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖
銀行、日本勸業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫其ノ融通
ヲ受ケタル預金部資金ノ元金ノ償還又ハ利子ノ支拂ヲ爲サントスルトキ
ハ日本銀行本店ニ對シ預金部資金元利金拂込内譯書(第八號様式)ヲ添ヘ
テ送金シ預金部ニ之ニ關スル預金部資金元利金支拂計算書(第九號様式)
ヲ送付スベシ

第二十五條 六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合其
ノ融通ヲ受ケタル預金部資金ノ元金ノ償還又ハ利子ノ支拂ヲ爲サントス
ルトキハ預金部資金元利金拂込内譯書(第八號様式)ニ通テ作成シ其ノ一
通ヲ添ヘテ當該融通金ノ交付ヲ取扱ヒタル日本銀行ノ店ニ送金シ他ノ一
通ハ之ヲ財務局ニ提出スベシ

第二十六條 地方公共團體又ハ水利組合其ノ融通ヲ受ケタル預金部資金ノ
繰上償還ヲ爲サントスルトキハ預金部資金繰上償還申請書(別紙第九號
ノ二様式)ヲ道、府縣又ハ六大都市ニ在リテハ預金部、六大都市以外ノ市
町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ニ在リテハ財務局ニ提出シ之

ガ承認ヲ受ケベシ

前項ノ繰上償還期日ハ最近ノ元利金支拂期日トス但シ特別ノ事情アル場
合又ハ全額繰上償還ノ場合ニ於テハ豫メ期日ヲ定メ承認ヲ受ケベシ

六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合預金部資金繰
上償還ノ承認ヲ受ケタルトキハ變更償還年次表ニ送付書ヲ添ヘ第十七條
第一項ノ日本銀行當該店ニ送付スベシ

第七章 雜則

第二十七條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本勸業銀行、
産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ハ其ノ融通ヲ受ケタル預金部資
金ニ付別ニ帳簿ヲ設ケ整理スベシ

第二十八條 道、府縣、六大都市、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖
銀行、日本勸業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ハ毎年十
二月三十一日現在ヲ以テ預金部資金ノ使用狀況報告書(第十號様式)又ハ
貸付狀況報告書(第十一號様式)ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ預金部ニ提出
スベシ

六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ハ前項ノ報
告書各二通ヲ調製シ翌年一月三十一日迄ニ財務局ニ之ヲ提出スベシ

第二十九條 第六條、第八條及第九條ノ規定ニ依リ財務局ヲ經由シテ提出
スベキ書類並ニ第十六條、第二十五條、第二十六條及第二十八條ノ規定
ニ依リ財務局ニ提出スベキ書類ハ財務局ノ出張所ヲ經由スルコトヲ要ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

- 預金部資金借入申込書
- 資金年度及資金名 何年度何資金
- 金額 何圓
- 資金ノ用途 何事業(何々ノ爲轉貸)

- 一、償還方法 年賦(定期、月賦)
- 一、期 限 何年何月迄ニ償還(定期償還ノ場合)
- 一、經由機關 名 何々(地方公共團體及水利組合)
- 一、(ハ本項ノ記入ヲ要セズ)
- 右ニ依リ預金部資金借用致度此段及申込候也

借入申込者 氏 名

大藏大臣 内務大臣 農林大臣 商工大臣 鐵道大臣 厚生大臣 氏 名宛

註 本申込書ハ名宛毎ニ各別ニ調製スルコト

第二號様式 削除

第三號様式

預金部資金交付申請書

- 一、資金年度及資金名 何年度何資金
 - 一、金 額 何圓
 - 一、資金ノ用途 何事業(何々ノ爲轉貸)
 - 一、利率 年何分何厘
 - 一、資金ノ交付ヲ受ケ 年何月何日
 - 一、資金ノ交付ヲ受ケ 何年何月何日
 - 一、資金ノ交付ヲ受ケ 日本銀行何店
 - 一、借入店名 何年何月何日
 - 一、償還期限 何年何月何日
 - 一、引換提供スヘキ證券(信用證書)ノ記番號
 - 一、證券ノ種類及枚數 何圓券何枚 何千圓券何枚
- 右御交付相成度別紙起債決議書寫、起債許可書寫及償還年次表相添へ此

段及申請候也

追而資金御交付ノ上、ハ本資金ニ關シ預金部又ハ財務局ヨリ隨時調査ヲ受ケ又ハ報告ヲ徴セラシムルモ何等異議無之ハ勿論本資金ハ速ニ資金供給ノ目的ノ爲ニ使用致スベク萬一右目的以外ニ之ヲ使用シ又ハ借入後長期ニ亘リ使用セザルガ如キコトアル場合ハ直ニ繰上償還ヲ命セラシムルモ異存無之候

年月日

資金交付申請者 氏 名

預金部長官(何財務局長)宛

(イ) 資金ノ交付ヲ受ケベキ日本銀行ノ店ハ

(ロ) 借受人ガ六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合ナルトキハ所在地日本銀行本支店又ハ國庫事務取扱代理店トシ其ノ地ニ該當ノ店ナキトキハ最寄ノ日本銀行本支店又ハ國庫事務取扱代理店トスルコト但シ既ニ大藏省預金部ヨリ直接預金部資金ノ融通ヲ受ケ居レル場合ハ當該資金ノ取扱店トスルコト

別紙

年度	元利息支拂期日	未償還元金	償還所要額		
			元金	利息	合計
何年度	何月何日	何圓	何圓	何圓	何圓
何年度	何月何日	何圓	何圓	何圓	何圓

償還年次表(定期償還ノ方法ニ依ルトキハ本表ノ添附ヲ要セズ)

【輯一二七】

【輯一二七】

第四號様式

合計				

第四號様式

No. 所有者 大藏大臣

第一、此ノ(道府縣市町村水利組合)債ハ發行ノ日ヨリ昭和何年何月何日迄据置其ノ後昭和何年何月何日迄ニ之ヲ償還ス

第二、此ノ(道府縣市町村水利組合)債ノ利息ノ割合ハ一年百分ノ何トス

第三、此ノ(道府縣市町村水利組合)債ノ利息ハ何月何日及何月何日ニ於テ其ノ日迄六月間ニ屬スルモノヲ支拂フ但シ發行又ハ償還ノ場合ニ於ケル一期ニ滿チザル端數利子ハ發行ノ際ニ於テハ現金拂込ノ翌日ヨリ償還ノ際ニ於テハ支拂當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四、此ノ(道府縣市町村水利組合)債券面記載事項以外ノ取扱ハ總テ何(道府縣市町村水利組合)債募集及償還方法ノ規程ニ遵據スルモノトス

年月日發行

第五號様式

- 一、證券ノ券面種類ハ百圓、貳百圓、五百圓、七百圓、壹千圓、貳千圓、五千圓、七千圓、壹萬圓、貳萬圓、五萬圓トシ元金償還ノ都合ニ依リ適宜種類ヲ選擇シテ發行スルコト
- 二、證券ハ縱四寸四分、横九寸一分(曲尺)
- 三、證券ハ普通活版ニ附シ別ニ色刷等ヲ爲スニ及バザルモ活字ノ大サハ六號トスルコト
- 四、證券ニハ利札ヲ附セザルコト

第五號様式

印紙 借用證書

一金何圓也

右金額ヲ本日大藏省預金部ヨリ左記條件ヲ以テ借用仕候就而借入條件ヲ堅ク遵守ノ上元利金ハ期日ニ相違無支拂可致候也

追而本資金ニ關シ預金部又ハ財務局ヨリ隨時調査ヲ受ケ又ハ報告ヲ徴セラシムルモ何等異議無之ハ勿論本資金ハ速ニ資金供給ノ目的ノ爲ニ使用致スベク萬一右目的以外ニ之ヲ使用シ又ハ借入後長期ニ亘リ使用セザルガ如キコトアル場合ハ直ニ繰上償還ヲ命セラシムルモ異存無之候

一六七八ノ三

本借付證書ハ預金部又ハ財務局ノ請求アル場合ニ於テハ何時ニテモ何
々債證券(何々債券)ニ引換可申候

記

一、資金ノ用途 何事業(何々ノ爲轉貸)

一、利率 年何分何厘

一、元利金支拂方 (註参照)

一、法及時期

一、元利金支拂ノ場所 日本銀行何店

年 月 日

借受人 氏

名

大藏大臣 氏 名宛

註

一、元利金支拂方法及時期ノ項ニハ

(イ)年賦償還ノ方法ニ依ルモノニ付テハ「別紙償還年次表ノ通り償還
スルモノトス(但シ本資金ニ依ル貸付金返済高ガ前記償還高ヲ超
過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還シ又本資金ノ据置期間中
ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ一部又ハ全部ノ返済アリタルトキハ
最近ノ元利支拂期ニ於テ該返済額相當ノ償還ヲ爲スモノトス)借
入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿チザル端數利子ハ借入ノ際ニハ
其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ支拂當日迄日割計算ニ依リ支拂フモノ
トス」ト記載スルコト但シ括弧内ハ轉貸スベキ資金ヲ借入レタル
者ニ限リ記載スルコト

(ロ)定期償還ノ方法ニ依ルモノニ付テハ「何年何月何日元金全額ヲ償

還ス(但シ本資金ニ依ル貸付金ガ期限前ニ一部又ハ全部ノ返済ア
リタルトキハ最近ノ利子支拂期ニ於テ之ガ相當額ヲ償還スルモノ
トス)利子ハ毎年何月何日及何月何日ニ於テ各其ノ日迄六月間ニ
屬スルモノヲ支拂フ但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿チザ
ル端數利子ハ借入ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ支拂當日迄
日割計算ニ依リ支拂フモノトス」ト記載スルコト但シ括弧内ハ轉
貸スベキ資金ヲ借入レタル者ニ限リ記載スルコト

第六號様式

債券引受申請書

一、資金年度及資金名 何年度何々資金

一、債券發行高 何圓

一、債券ノ記號又ハ同 何號又ハ第何回

一、各債券ノ金額 何萬圓及何千圓

一、債券ノ總枚數 何萬圓券何枚、何千圓券何枚(記名利札付トス)

一、利子歩合 年何分何厘

一、發行價格 額面百圓ニ付百圓

一、申込日期 何年何月何日

一、拂込及發行日期 何年何月何日

一、据置期限 何年何月何日(一時ニ償還スルモノニ付テハ本
項ノ記入ヲ要セズ)

【輯一二七】

【輯一二七】

第七號様式

預金部長官 氏 名宛

預金部資金貸付申請書

一、資金年度及資金名 何年度何資金

一、金額 何圓

一、利率 年何分何厘

一、借入日期 何年何月何日

一、償還方法 何年何月何日

但シ本資金ニ依ル貸付金返済高ガ前記償還高ヲ
超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ返済スル
モノトス

一、利子支拂期 毎年何月何日及何月何日ニ於テ各其ノ日迄六月
間ニ屬スルモノヲ支拂フ但シ借入又ハ償還ノ際
ニ於ケル一期ニ滿チザル端數利子ハ借入ノ際ニ
ハ其ノ翌日ヨリ返済ノ際ニハ支拂當日迄日割計
算ニ依リ支拂フ

右預金部資金ヲ以テ御貸付相成度此段申請候也
年 月 日 貸付申請者 氏 名

預金部長官 氏 名宛

借受人 氏 名

第八號様式

年 月 日

第十二輯 財務 第六章 預金

一六七八ノ五

借受人 氏 名

名

何財務局長
日本銀行本店(支店又ハ代理店)
預金部資金元利金拂込内譯書(何月何日何日分)

計	何々債證券(何々債券)發行年月日又ハ借入年月日	同別號又	拂込	額	別債還枚券數面	摘要
	利子元金					

元利金合計 何圓何錢

註

- 一、本内譯書ハ名宛人毎ニ調製シ且元利金支拂期日ノ異ナル毎ニ又證券ト借入金トノ區分ニ依リ各別紙ト爲シ發行又ハ借入年月日順ニ記入スルコト
- 二、摘要欄ニハ拂込月日、償還債券番號其ノ他參考事項ヲ記入スルコト
- 三、借受人ガ六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ナル場合ハ氏名ノ肩書ニ道府縣郡名ヲ記載スルコト

第九號様式

預金部長官 氏名宛

預金部資金元利金支拂計算書 (何月何日何日分)

計	何々債證券(何々債券)發行年月日又ハ借入年月日	同別號又	現在額	利率	利附支拂所要額	支拂額	償還券面別枚數	摘要
	當初借入額							

註

- 一、本計算書ハ元利金支拂期日ノ異ナル毎ニ又證券ト借入金トノ區分ニ依リ各別紙ト爲シ發行又ハ借入年月日順ニ記入スルコト

〔輯一二七〕

借受人 氏

名 〇

第九號ノ二様式

- 二、摘要欄ニハ拂込月日、償還債券番號其ノ他參考事項ヲ記入スルコト

〔輯一二七〕

預金部長官(何財務局長)氏名宛

預金部資金元利金支拂申請書

預金部資金左記ノ通繰上償還致度候ニ付御承認相成度變更償還年次表相添ヘ此段及申請候也

記

計	何々債證券(何々債券)發行年月日又ハ借入年月日	同別號又	現在額	繰上償還額	繰上償還日
	初借入額				

註

- 一、變更償還年次表ノ様式ハ第三號様式ノ別紙ヲ準用スルコト
- 二、借受人ガ六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ナル場合ハ氏名ノ肩書ニ道府縣郡名ヲ記載スルコト

第十號様式

借受人 氏

名 〇

預金部長官(何財務局長)氏名宛
預金部資金ノ使用狀況報告

別紙ノ通及報告候也

第十二輯 財務 第六章 預金

●明治二十三年大藏省訓令第四百四十號（在監人所持金預り及拂戻取扱方ノ件）

明治二十三年十月二十七日
大藏省訓令第四百四十號

【金庫出納役】

在監人所持金ノ儀ハ自今【預金規則第一條第二項】ニ準シ預金トシテ相預リ
拂戻ノトキハ即時拂ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

第七章 郵便貯金

（第十七輯第一章
第四款ニ收ム）

第八章 保管及供託

● 保管金規則

明治二十三年一月七日
法律第一號

改正 明治三十三年第一八號

朕保管金規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理、大藏大臣副署)

保管金規則

第一條 法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管スル公有金私有金ハ左ノ計算法ニ從ヒ滿五年ヲ過キテ拂戻ノ請求ナキトキハ政府ノ所得トス但別ニ法律ヲ以テ失權ノ期限ヲ定メタルモノハ各其定ムル所ニ依ル

第一 保管義務解除ノ期アルモノハ其義務ヲ解除シタル翌日ヨリ起算ス

第二 保管義務解除ノ期ナキモノハ保管ノ翌日ヨリ起算ス

第三 訴訟事件ノ爲ニ拂戻ヲ請求スル能ハサル場合ニ於テハ裁判確定ノ翌日ヨリ起算ス

第二條 保管金ハ法律勅令又ハ從來ノ規則若クハ契約ニ依ルノ外利子ヲ付セズ

第三條 保管金ノ證書ハ買賣讓與又ハ書入買入スルコトヲ得ス

第四條 保管金ノ受渡ニ屬スル證書ハ「證券印税」ヲ納ムルニ及ハス

附 則 (明治三十三年法律第十八號)

本法ノ期間ハ本法施行前ノ保管金ニ關シテハ本法施行ノ日ヨリ起算ス

明治四十四年四月一日
勅令第六十三號

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

〔轉八〇〕

朕保管金規則ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、大藏大臣副署)

保管金規則ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年六月十四日
勅令第七十八號

朕保管金規則ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(內務、大藏大臣副署)

保管金規則ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

大正元年八月二十日
勅令第十四號

朕保管金規則及明治三十三年法律第五十號ヲ樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理、遞信、大藏大臣副署)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●明治三十三年勅令第三百二十九號 (救恤又ハ學藝技術獎勵寄附金ノ保管出納ニ關スル件)

明治三十三年八月三日
勅令第三百二十九號

改正 明治三十九年第二〇號、四十二年第三一九號
朕救恤寄附金ノ保管出納ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (大藏大臣副署)
政府ハ救恤又ハ學藝技術獎勵ノ目的ヲ有スル寄附金ノ保管出納ヲ爲スコトヲ得

●昭和十二年勅令第五百八十五號 (支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ出納保管ニ關スル件)

昭和十二年十月九日
勅令第五百八十五號

朕支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ出納保管ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理、海軍、陸軍、大藏大臣副署)
陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ出納保管ヲ爲スコトヲ得

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正六年勅令第四十二號 (陸海軍病院入院患者ノ携有スル金錢又ハ物品ノ保管ニ關スル件)

大正六年四月二十五日
勅令第四十二號

朕陸海軍病院入院患者ノ携有スル金錢又ハ物品ノ保管ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理、海軍、陸軍、大藏大臣副署)
政府ハ陸海軍病院入院患者ノ携有スル金錢又ハ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ大正六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●保管金取扱規程

大正十一年二月一日 大藏省令第五號

改正 大正一三年第一九號、一五年第八號
保管金取扱規程左ノ通定ム

第一章 總則

第一條 政府ノ保管ニ係ル現金ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之カ受拂保管ヲ爲スヘシ

第二條 取扱官廳ハ保管金ヲ預金部預金取扱規程ノ定ムル所ニ依リ大藏省預金部ニ預入ルヘシ但シ數日內ニ拂渡ヲ爲ス必要アルモノ又ハ特殊ノ事由アルモノニ付テハ其ノ官廳ノ出納官吏ヲシテ之ヲ保管セシムルコトヲ得

第三條 前條ノ規定ニ依リ預入ヲ爲ス取扱官廳ハ所在地日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ヲ以テ其ノ預金取扱店ト爲スヘシ但シ其ノ地ニ日本銀行ナキトキハ最寄ノ日本銀行ヲ以テ其ノ預金取扱店ト爲スコトヲ得

第四條 本令中所管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第四條ノ二 出納官吏事務規程第三十五條乃至第三十七條及第七十二條ノ規定ハ取扱官廳ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 保管金ノ提出

第五條 保管金ヲ提出スル者ハ保管金提出書ヲ添ヘ現金ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ保管金ヲ提出スル者ハ預金部預金取扱規程第五條ノ規定ニ依リ保管金振込書ヲ添ヘ豫メ現金ヲ取扱官廳ノ預金取扱店ニ振込ミ預金部預金振込通知書ノ交付ヲ受ケ之ニ保管金提出書ヲ添ヘ取扱官廳ニ提出スルコトヲ得

取扱官廳前二項ノ提出書ノ必要ナシト認メタル場合ニ於テハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第六條 取扱官廳前條ノ規定ニ依リ保管金ノ提出ヲ受ケタルトキハ第一號書式ノ保管金受領證書ヲ提出者ニ交付スヘシ

第三章 保管金ノ拂渡

第七條 保管金ノ拂渡ヲ受ケル權利ヲ有スル者ハ保管金拂渡請求書又ハ前條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル保管金受領證書ヲ取扱官廳ニ提出シ其ノ拂渡ヲ請求スヘシ

取扱官廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ請求書又ハ受領證書ニ領收ノ旨ヲ記載セシメ之カ支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ受取人特ニ現金ノ交付ヲ求メタル場合ヲ除クノ外預金部預金ニ預入ヲ爲シタル取扱官廳ハ現金ノ交付ニ代ヘ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出スヘシ

第八條 保管金ノ拂渡ヲ受ケル權利ヲ有スル者其ノ拂渡ヲ請求セムトスルニ當リ取扱官廳ノ預金取扱店所在地外ノ預金取扱店ニ於テ支拂ヲ受ケムトスルトキハ前條ノ請求書又ハ受領證書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ
取扱官廳前項ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該保管金ニシテ第二條但書ノ

〔第八〇〕

規定ニ依リ保管スルモノナルトキハ其ノ請求ヲ拒絕シ、大藏省預金部ニ預入レタルモノナルトキハ預金部預金取扱規程第十二條ノ手續ヲ爲シ第二號書式ノ保管金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ預金取扱店ヨリ之カ支拂ヲ受ケシムヘシ

第四章 保管金利子ノ拂渡

第九條 保管金ノ利子ノ拂渡ヲ受ケル權利ヲ有スル者ハ毎年三月三十一日迄ニ生シタル利子ノ支拂ヲ請求スヘシ但シ保管金全額ノ拂渡ヲ受ケル權利者ハ其ノ拂渡ヲ受ケル時迄ニ生シタル利子ノ支拂ヲ請求スヘキモノトス

前項ノ利子ハ保管金提出ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス保管金ノ一圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ

第十條 前條ノ權利者保管金ノ利子拂渡ヲ請求セムトスルトキハ第三號書式ノ保管金利子請求書ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

第十一條 取扱官廳前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂請求書ヲ請求者ニ交付シ預金取扱店ヨリ之カ支拂ヲ受ケシムヘシ但シ前條ノ請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ預金部預金利子支拂請求書ニ代フルコトヲ得

第五章 保管金ノ保管替

第十二條 甲官廳ニ保管金ヲ提出シタル者乙官廳ニ保管替ヲ請求セムトスルトキハ第四號書式ノ保管金保管替請求書二通ヲ甲官廳ニ提出スヘシ

第十三條 甲官廳前條ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該保管金ニシテ第二條但書ノ規定ニ依リ保管スルモノナルトキハ其ノ請求ヲ拒絕シ、大藏省預金部ニ預入レタルモノニシテ保管替ノ理由アリト認メタルトキハ預金部預金取扱規程第十一條ノ手續ヲ爲シ保管金保管替請求書ノ一通ニ承認ノ旨ヲ記入シ尙有利子ノモノハ第五號書式ノ保管金利子參考表ヲ添附シ之

〔一一七〕

取扱官廳前項ノ請求ヲ受ケ其ノ理由アリト認メタルトキハ之カ證明ヲ爲スヘシ

第二十條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱手續ニ關スル規定ハ保管金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 保管物取扱規程及明治三十六年大蔵省令第九號ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 本令施行前保管物取扱規程ニ依リ金庫ニ寄託シタル保管金ハ本令ニ依リ大蔵省預金部ニ預入シタルモノト看做ス

第二十四條 前條ノ保管金ノ拂渡、他店拂、保管替、歳入納付、特殊資金ニ組入又ハ期滿失効年月日ノ變更ニ關スル通知ノ手續ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル但シ金庫ニ於テ領收證書ヲ發行シタル保管金ニ付テハ第七條、第八條、第十二條乃至第十五條及第十八條ノ手續ヲ爲スモノトス

前項但書ノ場合ニ於テ取扱官廳ハ其ノ振出ス小切手ニ金庫ノ發行シタル領收證書ノ年月日及番號ヲ附記スヘシ

第一號書式 保管金受領證書(用紙寸法)

保管金受領證書

第 號 金

保管ノ事由

上記金額領收候也

年 月 日

何 某 宛

上記金額領收候也

年 月 日

住 所 氏 名

某廳取扱主任官宛

備考 一 本書ハ之ヲ縦書トスルコトヲ得
二 受取人本書ヲ以テ保管金ノ拂渡ヲ請求シタルトキハ式ノ如ク領收ノ旨ヲ記入スヘシ

第二號書式 保管金支拂通知書(用紙寸法)

保管金受領證書日附番號

期滿失効年月日

小切手振出日附

小切手ヲ宛テタル店名

前記ノ金額日本銀行(何店)ニ於テ受領セラレ

金

年 月 日

何 某 宛

某廳取扱主任官官氏名圖

前記ノ金額領收候也

年 月 日

住 所 氏 名

備考 一 用紙ハ印刷局紙若ハ永久保存ニ耐フル用紙ヲ用ユヘシ
二 官廳又ハ公共團體等ノ收入ト爲ルヘキモノハ宛名ニ官廳名又ハ公共團體名等ヲ記入シ發行スヘシ
三 領收證ニ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其ノ貼用場所ニ「要印紙」ノ印ヲ捺捺スヘシ

(注意) 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

(注意事項)

一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印スヘシ但シ官吏ニ在リテハ官廳名又ハ公共團體名等ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ

二 受取人ノ印章ハ請求書ニ捺捺シタルモノト同一ノモノニ限ル受取人カ代理人ヲ以テ支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本書刷込ノ委任狀ニ相當ノ事項ヲ記入スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ

三 代理人カ支拂ヲ受ケル場合ニ於テハ表面領收證ノ部ニ代理人タルノ肩書ヲ附スヘシ

四 受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

五 小切手振出ノ日附ヨリ一年ヲ過クルトキハ日本銀行ハ本書ニ對シ之カ支拂ヲ爲ササルモノトス

六 本書ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ支拂ヲ受ケヘキ日本銀行ニ通知シ支拂ノ停止ヲ請求スヘシ

收入印紙 委任狀

表面金額ノ受取方ヲ

年 月 日

住 所 氏 名

ニ委任致候也

第三號書式 保管金利息請求書(用紙寸法)

保管金利息請求書

年月日第 號保管金 二對スル利息支拂相成度及請求候也

住所

氏

名

某廳取扱主任官宛

金

保管金 二對スル 年月ヨリ 年月迄年分ノ割

右支拂フヘキコトヲ證明ス

年月日

日本銀行(何店)宛

某廳取扱主任官氏名

前記金額領收候也

年月日

住所

氏

名

日本銀行(何店)宛

第四號書式 保管金保管替請求書(用紙寸法)

保管金保管替請求書

金

保管金受領證書日附番號
保管スヘキ法令ノ條項
保管ノ事由
新取扱官廳名
上記ノ通保管替相成度候也
年月日

住所

氏

名

某廳取扱主任官宛

本書保管替ノ申出ヲ承認候間貴廳ノ保管金トシテ取扱相成度候也
但シ別紙保管金利息參考表ヲ添附ス(利付ノ分ニ限リ此ノ但書ヲ記入スルコト)

年月日

某廳宛

備考 本書ハ之ヲ縦書トスルコトヲ得

【日本】

第五號書式 保管金利息參考表(用紙寸法)

保管金利息參考表

摘要	受	拂	残

某廳取扱主任官氏名

備考 摘要ノ欄ニハ前年度ヨリ越及月別ヲ記入スヘシ

第六號書式 保管金政府所得調書(用紙寸法)

保管金政府所得調書

第 號	年度分	受年	入日	保管金受領證書番號	保管ノ事由	期滿失效日	金額

某廳取扱主任官氏名

●昭和六年大藏省令第三十五號
(出納官吏等ノ現金及有價證券ノ保管ニ關スル特例ノ件)

昭和六年十二月三日
大藏省令第三十五號

出納官吏等ノ現金及有價證券ノ保管ニ關スル特例ノ件左ノ通定ム

第一條 大藏大臣ノ指定スル地ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ當分ノ内其ノ地ノ郵便局ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノニ預入ルヘシ但シ常時小口ノ現金支拂ヲ要スル場合ニ於テ支出官ノ定ムル所要金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ指定地ノ最寄ノ地ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ前項ノ指定郵便局ニ預入ルコトヲ得

第二條 大藏大臣ノ指定スル地又ハ其ノ最寄ノ地ニ在ル取扱官廳又ハ供託局ノ取扱ニ係ル保管金、供託金其ノ他ノ現金ハ當分ノ内當該取扱官廳又ハ供託局ノ出納官吏ヲシテ之カ保管ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出納官吏ノ保管スル現金ハ其ノ地ノ郵便局ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノニ預入ルヘシ但シ數日内ニ拂戻ヲ爲スノ必要アルモノ又ハ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條 大藏大臣ノ指定スル地ニ在ル取扱官廳又ハ供託局ノ取扱ニ係ル政府ノ所有又ハ保管ノ有價證券ハ當分ノ内當該取扱官廳又ハ供託局ニ於テ之カ保管ヲ爲スコトヲ得

〔轉八五〕

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十一年勅令第二十七號(帝國美術院)展覽會陳列品賣買ノ代金又ハ手附ノ保管ニ關スル件)

昭和十一年三月二十五日
勅令第二十七號

朕帝國美術院展覽會陳列品賣買ノ代金又ハ手附ノ保管ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏、文) (部大臣副署)
政府ハ「帝國美術院」展覽會陳列品賣買ノ代金又ハ手附ニシテ其ノ取扱ニ係ルモノノ保管ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔轉八一〕

●政府所有有價證券取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第七號

改正 大正一五年第一〇號
政府所有有價證券取扱規程左ノ通定ム

- 政府所有有價證券取扱規程
- 第一條 各官廳ニ於ケル政府所有有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之カ受拂保管ヲ爲スヘシ
 - 第二條 各官廳ハ特殊ノ事由アルモノヲ除クノ外政府所有有價證券ヲ其ノ所在地日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ寄託スヘシ但シ其ノ地ニ日本銀行ナキトキハ最寄ノ日本銀行ニ之ヲ寄託スルモノトス
 - 第三條 各官廳前條ノ寄託ヲ爲サムトスルトキハ第一號書式ノ政府所有有價證券寄託書ヲ添ヘ有價證券ヲ日本銀行ニ送付シ政府所有有價證券受託證書ノ交付ヲ受クヘシ
 - 第四條 各官廳日本銀行ニ寄託セル有價證券ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ第二號書式ノ政府所有有價證券拂渡請求書ヲ日本銀行ニ提出シ之カ交付ヲ受クヘシ
 - 第五條 各官廳日本銀行ニ寄託セル有價證券附屬利札ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ第三號書式ノ政府所有有價證券利札請求書ヲ提出シ之カ交付

ヲ受クヘシ

- 第六條 各官廳日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ヨリ政府所有有價證券ノ寄託書及拂渡請求書ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ政府所有有價證券月計突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日以内ニ之ヲ統轄店又ハ特扱代理店ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス
- 前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付スル場合ニ於テ統轄店官廳ノ所在地外ニ在ルトキハ其ノ所屬代理店ヲ經由スヘシ
- 第七條 各官廳第三條ノ政府所有有價證券寄託書ノ記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキ又ハ其ノ變更ヲ要スルトキハ之カ訂正ヲ爲ス爲訂正請求書ヲ日本銀行ニ送付スヘシ
- 第八條 各官廳政府所有有價證券受託證書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ日本銀行ニ提出シ之カ證明ヲ請求スルコトヲ得
- 第九條 各官廳政府所有有價證券月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ニ送付スヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ送付スル場合ニ於テハ其ノ所屬代理店ヲ經由スヘシ
- 第十條 各官廳ハ取扱主任官ノ職務及氏名ヲ日本銀行ニ通知スヘシ
- 前項ノ取扱主任官ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

【輯四九】

第一號書式 政府所有有價證券寄託書 (用紙寸法 半紙列半裁)

政府所有有價證券寄託書

第 號 下記證券寄託候也
年 月 日

某廳取扱主任官官氏名 宛
日本銀行(何店)宛

證券種別	枚 數	券面額	券面、記番 號及回数別	備 考

- 備考
- 一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
 - 二 利札欠欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

第二號書式 政府所有有價證券拂渡請求書 (用紙寸法 半紙列半裁)

政府所有有價證券拂渡請求書

受託證書番號 第 號 下記證券拂渡相成度候也
(又ハ第 號ノ内) 年 月 日
受託證書日附 某廳取扱主任官官氏名 宛
日本銀行(何店)宛

下記證券領收候也
年 月 日
某廳取扱主任官官氏名 宛
日本銀行(何店)宛

證券種別	枚 數	券面額	券面、記番 號及回数別	備 考

- 備考
- 一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
 - 二 利札欠欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

一六八九

一六八八

第三號書式 政府所有有價證券利札請求書 (用紙半寸法)

政府所有有價證券利札請求書

受託證書番號

下記證券何年何月渡利札交付相成度候也

受託證書日附 年 月 日

某廳取扱主任官官氏名園

日本銀行(何店)宛

下記利札領收候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名園

日本銀行(何店)宛

證券種別	枚 數	券面額	券面、記番、記回、記別	備 考

備考 全額拂込ニアラサルモノ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ

政府保管有價證券取扱規程

大正十一年二月一日 大藏省令第八號

改正 大正一五年第一號

昭和六年第九號

政府保管有價證券取扱規程左ノ通定ム

政府保管有價證券取扱規程

第一章 總則

第一條 政府ノ保管ニ係ル有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之カ受拂保管ヲ爲スヘシ

第二條 取扱官廳ハ政府保管有價證券ヲ其ノ所在地日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ又其ノ地ニ日本銀行ナキトキハ最寄ノ日本銀行ニ之ヲ寄託スヘシ但シ數日內ニ拂渡ヲ爲ス必要アルモノ又ハ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條 取扱官廳ハ取扱主任官ノ職務及氏名ヲ日本銀行ニ通知スヘシ前項ノ取扱主任官ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第四條 本令中所管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第二章 保管有價證券ノ提出及寄託

第五條 保管有價證券ヲ提出スル者ハ第一號書式ノ政府保管有價證券提出書及其ノ印鑑ヲ添ヘ有價證券ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

取扱官廳前項ノ提出書ノ必要ナシト認メタル場合ニ於テハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第六條 取扱官廳ハ保管有價證券ヲ提出スル者ヲシテ豫メ有價證券ヲ其ノ所在地日本銀行又其ノ地ニ日本銀行ナキトキハ最寄ノ日本銀行ニ於テ取扱官廳ノ保管有價證券口座ニ振込マシムルコトヲ得

取扱官廳ハ其ノ保管有價證券口座ニ振込ム爲前項以外ノ日本銀行本店又ハ支店ニ豫メ有價證券ヲ提出セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ取扱官廳ハ第三條ノ手續ヲ爲スノ外有價證券ヲ提出シタル日本銀行ニ取扱主任官ノ印鑑ヲ添ヘ其ノ職務及氏名ヲ通知スヘシ

第七條 保管有價證券ヲ提出スル者前條第一項ノ振込ヲ爲サルトスルトキハ第二號書式ノ政府保管有價證券振込書ヲ、第二項ノ振込ヲ爲サルトスルトキハ第二號ノ二書式ノ政府保管有價證券他店振込書ヲ添ヘ有價證券ヲ日本銀行ニ提出シ政府保管有價證券振込済通知書ノ交付ヲ受クヘシ保管有價證券ヲ提出スル者前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ交付ヲ受ケタル政府保管有價證券振込済通知書及其ノ印鑑ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

第八條 取扱官廳第五條又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ有價證券又ハ政府保管有價證券振込済通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ第三號書式ノ政府保管有價證券受領證書ヲ提出者ニ交付スヘシ

第九條 取扱官廳第五條ノ規定ニ依リ提出ヲ受ケタル政府保管有價證券ヲ日本銀行ニ寄託セムトスルトキハ政府保管有價證券提出書ヲ添ヘ之ヲ日本銀行ニ送付シ政府保管有價證券受託證書ノ交付ヲ受クヘシ但シ第五條第二項ノ規定ニ依リ政府保管有價證券提出書ヲ省略セシメタルモノニ付テハ第四號書式ノ政府保管有價證券内課書ヲ添附スルモノトス

有價證券利札請求書ヲ日本銀行ニ提出シ之カ交付ヲ受ケルシ
第二條但書ノ規定ニ依リ取扱官廳ニ於テ有價證券ヲ保管スル場合ニ於テ
ハ前項ノ權利者ハ前項ノ請求書ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ
取扱官廳前項ノ請求書受ケタルトキハ有價證券附屬ノ利札ヲ請求者ニ交
付スヘシ

第十六條 取扱官廳日本銀行ヨリ日本銀行政府有價證券取扱規程第十二條
ノ規定ニ依リ遺失物法ニ依ル政府保管有價證券元利金受入ノ通知ヲ受ケ
タルトキハ保管金トシテ之カ整理ヲ爲スヘシ

第四章 保管有價證券ノ保管替

第十七條 甲官廳ニ身元保證金トシテ有價證券ヲ提出シタル者乙官廳ニ保
管替ヲ請求セムトスルトキハ第八號書式ノ政府保管有價證券保管請求書
ニ通テ甲官廳ニ提出スヘシ

第十八條 甲官廳前條ノ請求書受ケタル場合ニ於テ該有價證券ニシテ第二
條但書ノ規定ニ依リ保管スルモノナルトキハ其ノ請求ヲ拒絕シ、日本銀
行ニ寄託セルモノニシテ保管替ノ理由アリト認メタルトキハ政府保管有
價證券保管替請求書ノ一通ニ承認ノ旨ヲ記入シ之ヲ乙官廳ニ送付シ政府
保管有價證券受託證書又ハ政府保管有價證券振込濟通知書ニ寄託替ヲ要
スル旨ヲ記入シ之ヲ日本銀行ニ送付スヘシ

第十九條 乙官廳前條ノ請求書ノ送付及日本銀行ヨリ政府保管有價證券受
託證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ政府保管有價證券受領證書ヲ保管替請求
者ニ交付スヘシ

第五章 政府ノ所得ニ歸シタル保管有價證券

第二十條 政府保管有價證券ニシテ法令ノ規定又ハ契約ニ依リ政府ノ所得

ニ歸シタルモノアルトキハ取扱官廳ハ其ノ都度之ヲ所管大臣ノ指定スル
主務官廳ニ報告スヘシ
主務官廳前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ該有價證券ヲ
換價シ歲入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ但シ特殊ノ資金ニ組入ヲ要スル
モノニ付テハ當該資金ニ組入ノ手續ヲ爲スモノトス

第六章 證明

第二十一條 取扱官廳日本銀行統轄店又ハ取扱代理店ヨリ政府保管有價證
券ノ受入及拂渡ノ請求書ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ政府保管
有價證券月計突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日內
ニ之ヲ統轄店又ハ取扱代理店ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ
事由ヲ附記スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付スル場合ニ於テ統轄店取扱官廳ノ所在地
外ニ在ルトキハ其ノ所屬代理店ヲ經由スヘシ

第七章 雜則

第二十二條 取扱官廳政府保管有價證券受託證書又ハ政府保管有價證券振
込濟通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ日本銀行ニ提出シ
之カ證明ヲ請求スルコトヲ得第七條第一項ノ振込人政府保管有價證券振
込濟通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第二十三條 政府保管有價證券ノ拂渡ヲ受ケル權利ヲ有スル者政府保管有
價證券受託證書、政府保管有價證券振込濟通知書又ハ政府保管有價證券
一部拂渡書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ取扱官廳ニ提出シ
之カ證明ヲ請求スルコトヲ得
取扱官廳前項ノ請求書受ケ其ノ理由アリト認メタルトキハ之カ證明ヲ爲

〔附三〕

シ其ノ旨ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第二十四條 取扱官廳政府保管有價證券月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其
ノ證明ニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ
爲シ之ヲ日本銀行統轄店又ハ取扱代理店ニ送付スヘシ
前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ送付スル場合ニ於テハ其ノ所屬代理店ヲ經由
スヘシ

附則

第二十五條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 本令施行前保管物取扱規程ニ依リ金庫ニ寄託シタル保管有價
證券ハ當該金庫ノ政府有價證券取扱ノ事務ヲ引繼キタル日本銀行ニ寄託
シタルモノト看做ス

前項ノ保管有價證券ハ從前ノ規定ニ依リ之カ受拂保管ヲ爲スヘシ
第一號書式 政府保管有價證券提出書(用紙寸法
半紙判半裁)

何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也 何枚

内譯

何圓券 何第何番ヨリ何第何番迄 何枚

但シ何年何月渡以降利札附屬(利拂期ノ既ニ到來セル利札ニシテ附
屬シアル分ハ此ノ式ノ如ク記入スルコト)

何圓券 何第何番 何枚

但シ何年何月渡利札欠
保管ノ事由

右提出候也

年月日

住所

氏

名

某廳取扱主任官宛
右證券寄託候也

年月日

某廳取扱主任官官氏名

日本銀行(何店)宛

備考

一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ拂込濟額ヲ併セテ記入
スヘシ

二 本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添付スルモ妨ケナシ
第二號書式 政府保管有價證券振込書(用紙寸法
半紙判半裁)

何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也 何枚

内譯

何圓券 何第何番ヨリ何第何番迄 何枚

但シ何年何月渡以降利札附屬(利拂期ノ既ニ到來セル利札ニシテ附
屬シアル分ハ此ノ式ノ如ク記入スルコト)

何圓券 何第何番 何枚

但シ何年何月渡利札欠
右某官廳ノ保管有價證券トシテ振込候也

年月日

日本銀行(何店)宛

住所 氏名

備考

- 一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ拂込済額ヲ併セテ記入スヘシ
- 二 本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添付スルモ妨ケナシ

第二號ノ二書式
政府保管有價證券他店振込書 用紙寸法(半紙判半裁)
何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也 何枚

何圓券 何第何番ヨリ何第何番迄 何枚

但シ何年何月渡以降利札附屬(利拂期ノ既ニ到來セル利札ニシテ附屬シアル分ハ此ノ式ノ如ク記入スルコト)

何圓券 何第何番 何枚

但シ何年何月渡利札欠

右日本銀行某店某官廳ノ保管有價證券トシテ振込候也

年月日 住所 氏名

日本銀行(何店)宛

年月日受入済

日本銀行(何店)印

備考

- 一、全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ拂込済額ヲ併セテ記入スヘシ
- 二、本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添付スルモ妨ケナシ

第三號書式 政府保管有價證券受領證書(用紙寸法)
半紙判半裁

政府保管有價證券受領證書

下記證券領收候也

保管日附 保管ノ事由 何某宛

證券種別	枚數	券面額	券面、記番 號及回數別	備考

上記證券拂渡ノ證書領收候也

年月日

住所

氏名

某廳取扱主任官宛

〔三九〕

政府保管有價證券内譯書

下記證券寄託候也

保管日附 年月日
提出者氏名

某廳取扱主任官官氏名

日本銀行(何店)宛

證券種別	枚數	券面額	券面、記番 號及回數別	備考

第四號書式 政府保管有價證券内譯書(用紙寸法)
半紙判半裁

備考

- 一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
- 二 利札欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ
- 三 本書ヲ以テ有價證券ノ拂渡ヲ請求シタルトキハ式ノ如ク領收ノ旨ヲ記入スヘシ

備考

- 一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
- 二 利札欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

第五號書式 政府保管有價證券拂渡請求書(用紙寸法)
半紙判半裁
政府保管有價證券受領證書日附及番號(内渡ノトキハ政府保管有價證券受領證書ノ内ト記入スルコト)

何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也 何枚

何圓券 何第何番 何枚

右證券拂渡相成度候也

住所

氏名

名

某廳取扱主任官宛

氏名

名

右證券拂渡ノ證書領收候也

某廳取扱主任官宛
一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ拂込済額ヲ併セテ記入スヘシ

二 政府保管有價證券受領證書記入額全部ノ拂渡ヲ請求スル場合ニハ
證券ノ記番號ヲ省略スルコトヲ得

三 本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添附スルモ妨ケナシ

第六號書式 政府保管有價證券一部拂渡書(用紙寸法
半紙判半裁)

政府保管有價證券一部拂渡書
下記證券拂渡相成度候也
年月日

保管日附
提出者氏名

某廳取扱主任官官氏名
日本銀行(何店)宛
住所 氏名
下記證券領收候也
年月日
日本銀行(何店)宛

證券種別	枚數	券面額	券面、記番 號及回数別	備考

一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記
入スヘシ

二 利札欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

三 遺失物法ニ依ルモノナルトキハ日本銀行カ拂渡ヲ爲スヘキ最終ノ
期日ヲ餘白ニ記入スヘシ

第七號書式 政府保管有價證券利札請求書(用紙寸法
半紙判半裁)

政府保管有價證券利札請求書
保管日附
取扱官廳名
何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也
何枚
内譯
何圓券 何第何番 何枚
右證券ノ何年何月渡利札交付相成度候也
年月日
住所 氏名
日本銀行(何店)宛
右利札領收候也
年月日
日本銀行(何店)宛
氏名

【註三】

【註三】

スヘシ

二 本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添附スルモ妨ケナシ

第八號書式 政府保管有價證券保管請求書(用紙寸法
半紙判半裁)

政府保管有價證券保管請求書
政府保管有價證券受領證書日附及番號
何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也
何枚
内譯
何圓券 何第何番 何枚
但シ何年何月渡利札欠
右證券何官廳ノ保管有價證券ニ變更相成度候也
年月日
住所 氏名
某廳取扱主任官宛
某廳取扱主任官官氏名
保管書ヲ承認候間貴廳ノ保管有價證券トシテ取扱相成度候也
年月日

備考
一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ拂込済額ヲ併セテ記入
スヘシ

二 本書ノ内譯ヲ別紙ニ記入シ之ヲ本書ニ添附スルモ妨ケナシ

●日本銀行政府有價證券取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第十一號

改正 大正一四年第七號、一五年第一三號
昭和六年第一〇號、一五年第六一號、一六年第二五號

日本銀行政府有價證券取扱規程左ノ通定ム
日本銀行政府有價證券取扱規程

第一章 總則

- 第一條 日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ圖フ以下同シ)ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ所有又ハ保管ニ保ル有價證券ノ受拂保管ヲ爲スヘシ
- 前項ノ代理店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
- 第二條 日本銀行ハ地方ニ統轄店ヲ設ケ其ノ所屬店ニ於ケル政府ノ有價證券受拂ノ事務ヲ統轄スヘシ
- 日本銀行ハ前項ノ所屬店中特ニ必要アルモノヲ特設店ト爲スコトヲ得
- 第一項ノ統轄店及其ノ所屬店並前項ノ特設店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
- 第三條 日本銀行ハ政府ノ有價證券ト其ノ他ノ有價證券トヲ混同シテ保管スルコトヲ得ス
- 第四條 日本銀行ハ政府ノ有價證券ヲ該證券ノ受拂ヲ爲スヘキ日本銀行當該店ニ於テ保管スヘシ但シ大藏大臣ノ特ニ指定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 日本銀行ハ政府ノ有價證券ヲ政府所有ノ有價證券ト政府保管ノ有價證券トニ区分シ政府保管ノ有價證券ハ更ニ之ヲ保管有價證券、供託有價證券及預金購入有價證券ノ区分ニ依リ之ヲ受拂保管ヲ爲スヘシ

第五條ノ二 日本銀行ノ取扱フ有價證券ニシテ各店間ニ振替受拂ヲ要スルモノノ取扱手續ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第二章 政府所有ノ有價證券

第六條 日本銀行各官廳ヨリ政府所有有價證券取扱規程第三條ノ規定ニ依リ政府所有有價證券寄託書ヲ添ヘ有價證券ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一號書式ノ政府所有有價證券受託證書ヲ當該官廳ニ交付スヘシ

第七條 日本銀行政府所有有價證券利子又ハ償還金ノ受入ヲ要スルモノアルトキハ當該官廳ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八條 日本銀行各官廳ヨリ政府所有有價證券取扱規程第四條ノ規定ニ依リ政府所有有價證券拂渡請求書ヲ受ケタルトキハ有價證券ヲ拂渡スヘシ

第九條 日本銀行各官廳ヨリ政府所有有價證券取扱規程第五條ノ規定ニ依リ政府所有有價證券利札請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ有價證券附屬ノ利札ヲ交付スヘシ

第三章 政府保管ノ有價證券

第一節 保管有價證券

第十條 日本銀行ニ於テ政府保管有價證券取扱規程第七條ノ規定ニ依リ政府保管有價證券振込書又ハ政府保管有價證券他店振込書ヲ添ヘ有價證券ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ第二號書式ノ政府保管有價證券振込書通知書ヲ交付スヘシ

日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ當該取扱官廳ノ保管有價證券ノ受託店ナルトキハ之ヲ當該取扱官廳ノ保管有價證券口座ニ受入レ、他店カ當該官廳ノ保管有價證券ノ受託店ナルトキハ政府保管有價證券他店振込書ニ受入ノ證印ヲ爲シ當該受託店ニ送付スヘシ

前項ノ受入證印アル政府保管有價證券他店振込書ノ送付ヲ受ケタル日本銀行ハ當該取扱官廳ノ保管有價證券口座ニ受入レ第二號ノ三書式ノ政府保管有價證券振込書又ハ政府保管有價證券取扱規程第九條ノ規定ニ依リ

第十一條 日本銀行ニ於テ政府保管有價證券取扱規程第九條ノ規定ニ依リ取扱官廳ヨリ政府保管有價證券提出書又ハ政府保管有價證券内譯書ヲ添

ヘ有價證券ノ送付ヲ受ケタルトキハ第三號書式ノ政府保管有價證券受託證書ヲ取扱官廳ニ交付スヘシ

第十二條 日本銀行ニ於テ政府保管有價證券取扱規程第十條ノ規定ニ依リ取扱官廳ヨリ遺失物法ノ規定ニ依リ保管スルモノナル旨ノ通知ヲ受ケタル有價證券ニシテ時效ニ依リ其ノ權利消滅セムトスルモノニ付テハ元利金受入ノ手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ當該取扱官廳ニ通知スヘシ

第十三條 日本銀行ニ於テ政府保管有價證券取扱規程第十三條第三項ノ規定ニ依リ政府保管有價證券受託證書、政府保管有價證券振込通知書又ハ政府保管有價證券一部拂渡書ノ提出ヲ受ケタルトキハ有價證券ヲ提出者ニ拂渡スヘシ

日本銀行前項ノ場合ニ於テ受託店カ他店ナルトキハ前項ノ手續ヲ爲シタル上政府保管有價證券振込通知書又ハ政府保管有價證券一部拂渡書ニ拂渡ノ旨ヲ附記シ當該受託店ニ送付スヘシ

第十四條 日本銀行前條ノ場合ニ於テ保管有價證券ノ一部拂渡ヲ爲シタル

前項ノ場合ニ於テ代供託請求書ノ添附アルトキハ該供託有價證券ノ償還金ノ受領ニ必要ナル手續ヲ爲シ之ヲ供託金トシテ取扱ヒ代供託請求書ニ受領ノ旨ヲ記入シ之ヲ提出者ニ返付スヘシ

第十九條 日本銀行ニ於テ供託有價證券取扱規程第四條ノ規定ニ依リ供託有價證券利札請求書又ハ供託局ノ證明ヲ爲シタル請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ有價證券附屬ノ利札ヲ提出者ニ交付スヘシ

第二十條 日本銀行ニ於テ供託有價證券取扱規程第五條ノ規定ニ依リ供託有價證券利息(配當金)請求書及附屬供託請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ有價證券ノ利息(配當金)ノ受領ニ必要ナル手續ヲ爲シ之ヲ供託金トシテ取扱ヒ附屬供託請求書ニ受領ノ旨ヲ記入シ之ヲ提出者ニ返付スヘシ

第三節 預金購入有價證券

第二十一條 削除

第二十二條 日本銀行本店預金部預金取扱規程第十九條ノ規定ニ依リ預金部資金局ヨリ有價證券購入ノ通達ヲ受ケタルトキハ之ヲ購入シ其ノ額面金額及購入代價ヲ預金部資金局ニ通知スヘシ

第二十三條 日本銀行本店預金部預金取扱規程第二十一條ノ規定ニ依リ預金部資金局ヨリ有價證券購入済通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ預ケ人ニ送付スヘシ

第二十四條 日本銀行預金部預金取扱規程第二十二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金購入有價證券保管通知書交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ有價證券購入済通知書ト引換ニ第五號書式ノ預金購入有價證券保管通知書ヲ交付スヘシ

第二十五條 日本銀行預金部預金取扱規程第二十三條ノ規定ニ依リ預ケ人

ヨリ預金購入有價證券拂戻請求書ヲ受ケタルトキハ預金購入有價證券受領證書ト引換ニ之ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第二十六條 削除

第二十七條 日本銀行預金部預金取扱規程第三十條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ有價證券保管帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第七號書式ノ預金購入有價證券保管帳ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第四章 帳簿

第二十八條 日本銀行ハ會計規則第六十條第六號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 政府有價證券總括帳
- 二 政府有價證券受拂内譯帳
- 三 政府有價證券受拂總括帳
- 四 政府有價證券受拂報告額整理帳
- 五 政府所有有價證券内譯帳
- 六 政府保管有價證券内譯帳

前項ノ帳簿中第一號及第二號ノ帳簿ハ之ヲ日本銀行本店ニ、第四號ノ帳簿ハ之ヲ特設代理店所轄日本銀行統轄店ニ、第三號、第五號及第六號ノ帳簿ハ之ヲ日本銀行統轄店及特設代理店ニ備フヘシ

日本銀行代理店(特設代理店ヲ除ク)ハ政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ノ受拂殘額ヲ明瞭ナラシムル爲適宜ノ件別帳ヲ設クヘシ

第二十九條 政府有價證券總括帳及政府有價證券受拂總括帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ枚數及券面額ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第三十條 政府有價證券受拂内譯帳ニハ政府有價證券總括帳ノ計算科目毎

【輯一四】

ニ各統轄店ヲ区分シタル口座ヲ設ケ枚數及券面額ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第三十一條 政府有價證券受拂報告額整理帳ニハ政府有價證券受拂總括帳ノ計算科目毎ニ所屬特設代理店ヲ区分シタル口座ヲ設ケ枚數及券面額ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第三十二條 政府所有有價證券内譯帳ニハ公債證書、株券、證券ノ種類毎ニ預金部其ノ他各會計、各廳、各主任官別ノ口座ヲ設ケ枚數及券面額ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第三十三條 政府保管有價證券内譯帳ニハ公債證書、株券、證券毎ニ保管有價證券及供託有價證券ニ区分シ取扱官廳又ハ供託局ニ保ルモノハ各廳、各主任官別ノ口座ヲ設ケ枚數及券面額ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第三十四條 第二十八條ノ帳簿ハ之ヲ備フル日本銀行ニ於テ左記各號ニ依リ受拂額ヲ記入スヘシ

- 一 第一號及第二號ノ帳簿ハ各統轄店毎月十日、二十日及末日ノ報告額
- 二 第三號ノ帳簿ハ自店ノ受拂額並其ノ所屬代理店毎日ノ受拂報告額
- 三 第四號ノ帳簿ハ其ノ所屬特設代理店毎日ノ報告額
- 四 第五號及第六號ノ帳簿ハ自店ノ受拂額並其ノ所屬代理店毎日ノ受拂額
- 第三十五條 本章ニ規定スル帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

【輯一三】

第三十六條 日本銀行ハ政府有價證券ノ受拂ニ關シ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

- 一 政府有價證券受拂報告表 第八號書式
- 二 政府所有有價證券月計突合表 第九號書式
- 三 保管有價證券月計突合表 第十號書式
- 四 供託有價證券月計突合表
- 五 削除
- 六 某月政府有價證券受拂計算書 書式ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 政府有價證券受拂報告表ハ日本銀行本店ニ於テ統轄店ノ報告額ニ依リ毎日之ヲ調製シ大藏省ニ提出スヘシ

第三十八條 政府所有有價證券月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル政府所有有價證券ノ受拂額及殘額ヲ掲ケ毎月(政府所有有價證券ノ受拂額ナキ月ヲ除ク)之ヲ調製シ政府所有有價證券ノ寄託書及拂渡請求書ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ翌月七日迄ニ到達ノ日取ヲ以テ取扱主任官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル書類ト共ニ之カ返付ヲ受ケヘシ

第三十九條 保管有價證券月計突合表又ハ供託有價證券月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル政府保管有價證券ノ受拂額及殘額ヲ掲ケ毎月(政府保管有價證券ノ受拂額ナキ月ヲ除ク)之ヲ調製シ政府保管有價證券ノ受入及拂渡請求書ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ翌月七日迄ニ到達ノ日取ヲ以テ取扱主任官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル書類ト共ニ之カ返付ヲ受ケヘシ

第四十條 特設代理店ハ其ノ取扱ヒタル政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ノ受拂額及残額ノ月計突合表ヲ調製シ其ノ證明ヲ受ケヘシ

第四十一條 某月有價證券受拂計算書ハ毎月日本銀行各店ニ於テ取扱ヒタル有價證券ノ受拂額及残額ヲ掲ケ日本銀行本店ニ於テ二通ヲ調製シ一通ニハ左ノ附屬書類ヲ添附シ翌月中ニ之ヲ大藏省ニ提出シ一通ハ之ヲ保存スヘシ

一 政府ノ所有又ハ保管有價證券ノ月計突合表ノ副本
二 政府所有有價證券ノ受拂ニ付テハ一會計年度ヲ四期ニ分チ各會計所屬別有價證券ノ種類及券面金額ヲ掲ケタル某月有價證券受拂ノ内譯表

第六條 受拂證明
前項ノ附屬書類ノ様式及記入ノ方法並ニ之ヲ提出時期ハ別ニ之ヲ定ム

第四十二條 日本銀行ハ會計検査院ノ検査ヲ受ケル爲メ會計検査院ノ定ムル政府有價證券受拂計算書ヲ調製シ大藏大臣ノ定ムル期限内ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

第七條 雜則
第四十三條 日本銀行ニ於テ政府所有有價證券取扱規程第七條又ハ供託有價證券取扱規程第六條ノ規定ニ依リ政府所有有價證券寄託書又ハ供託有價證券寄託書ノ誤謬訂正ノ請求ヲ受ケタルトキハ之カ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十四條 日本銀行ニ於テ政府所有有價證券取扱規程第八條、政府保管有價證券取扱規程第二十二條又ハ供託有價證券取扱規程第六條ノ規定ニ

依リ政府所有有價證券受託證書、政府保管有價證券受託證書、供託有價證券受託證書又ハ政府保管有價證券振込濟通知書ノ亡失又ハ毀損ニ關スル證明請求書ヲ受ケタルトキハ之カ調査ヲ爲シ其ノ餘白ニ證明ノ上之ヲ返付スヘシ

日本銀行ニ於テ第十條ノ規定ニ依リ政府保管有價證券振込濟通知書ノ交付ヲ受ケタル者ヨリ其ノ亡失又ハ毀損ニ關スル證明請求書ヲ受ケタルトキハ前項ニ準シ之カ手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ通知スヘシ

日本銀行前二項ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ帳簿又ハ證書類ニ記入シ置クヘシ

第四十五條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル政府所有有價證券、保管有價證券又ハ供託有價證券ノ受拂ニ關スル證書類ヲ受拂ニ區分シ、公債證書、株券、證券毎ニ更ニ政府所有ノモノト政府保管ノモノトニ區分シ、政府所有ノモノハ之ヲ各官廳別ニ、政府保管ノモノハ之ヲ保管、供託、預金購入ノ三種ニ分チ保管、供託ノ分ハ之ヲ各官廳別ニ一月分ヲ取據メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特設代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式 政府所有有價證券受託證書(用紙寸法日本標準)

〔輯一三三〕

政府所有有價證券受託證書

第 號 下記證券受託候也
年 月 日
日本銀行(何店)宛
某廳取扱主任官宛

證券種別	枚 數	券面額	券面、記番 號及回數別	備 考

備考
一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込濟額ヲ記入スヘシ

二 利札缺欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

第二號書式 政府保管有價證券振込濟通知書(用紙寸法日本標準)

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

政府保管有價證券振込濟通知書

第 號 振込人氏名 下記證券貴廳ノ有價證券トシテ振込相受候也
年 月 日
日本銀行(何店)宛
某廳取扱主任官宛

證券種別	枚 數	券面額	券面、記番 號及回數別	備 考

上記證券提出候也
保管ノ事由
年 月 日 住所 氏 名
某廳取扱主任官宛

上記證券拂渡相成度候也
年 月 日 住所 氏 名
某廳取扱主任官氏名宛
日本銀行(何店)宛

上記證券領收候也
年 月 日 住所 氏 名
日本銀行(何店)宛

備考
一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込濟額ヲ記入スヘシ

二 利札缺欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

三 振込力錯誤ナリシトキ又ハ其ノ必要ナキニ至リシトキハ振込人ハ官廳ヨリ其ノ旨ノ證明書ヲ受ケ之ヲ日本銀行ニ提出シ有價證券ノ返付ヲ請求スヘシ

一七〇一

第二號ノ二書式
政府保管有價證券振込済通知書原符
日本銀行(何店)印
年月日

第 號
振込人氏名
日本銀行何店扱 某廳取扱主任官

證券種別	枚 數	券 面 額	備 考
			備考 原符ハ他店振込ノ場合ニ限リ 調製ス

第二號ノ三書式

政府保管有價證券振込受入済報告書
何公債證書(何株券又ハ何債券)額面何圓也
振込人 氏 名 何某

(用紙寸法日本標準)
規格 A 5

振込店 日本銀行何店
右貴廳口座ニ受入済ニ付此段及御報告候也

日本銀行(何店)印

第三號書式 政府保管有價證券受託證書(用紙寸法日本標準)
規格 A 5

某廳取扱主任官宛

備考

政府保管有價證券受託證書
第 號
保管日附 下記證券受託候也
年月日
提出者氏名
日本銀行(何店)印
某廳取扱主任官宛

證券種別	枚 數	券 面 額	券面、記番 號及回数別	備 考

上記證券拂渡相成度候也
年月日
某廳取扱主任官官氏名印
日本銀行(何店)宛

上記證券領收候也
年月日
住所 氏 名
日本銀行(何店)宛

一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
二 利札欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ
三 遺失物法ニ依ルモノナルトキハ日本銀行カ拂渡ヲ爲スヘキ最終ノ期日ヲ餘白ニ記入スヘシ

〔轉 11111〕

第四號書式 供託有價證券受託證書(用紙寸法日本標準)
規格 A 5

供託有價證券受託證書
第 號
供託日附 下記證券受託候也
年月日
供託者氏名
日本銀行(何店)印
某供託局長宛

證券種別	枚 數	券 面 額	券面、記番 號及回数別	備 考

備考
一 全額拂込ニアラサルモノモ券面額ヲ記入シ備考欄ニ拂込済額ヲ記入スヘシ
二 利札欠ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記入スヘシ

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

第五號書式 預金購入有價證券保管通知書(用紙寸法日本標準)
規格 B 5

預金購入有價證券保管通知書
第 號
下記證券預金ヲ以テ購入保管候也
年月日
日本銀行印
某廳取扱主任官宛

證券種別	枚 數	券 面 額	券面、記番 號及回数別

備考
國債證券ニ付テハ番號ノ記入ヲ省略スルコトヲ得
第六號書式 削除
第七號書式 預金購入有價證券保管帳(用紙寸法)
適宜

17011

第十號乙書式 供託有價證券月計突合表 (用紙寸法日本標準)

供託有價證券月計突合表

年 月 日

供託局長氏名 日本銀行(何店)印

種 別	受		拂		残	
	枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額
公 債 證 書 券 券	0	0	0	0	0	0
株 券	0	0	0	0	0	0
證 書	0	0	0	0	0	0
株 券	0	0	0	0	0	0

證 明 年 月 日

供託局長氏名印

郵便官署保管國債ノ償還元金代
リ新公債引換取扱規則

明治四十三年五月三十日
逓信省令第六十三號

改正 大正九年第一〇一號、一一年第二七號
郵便官署保管國債ノ償還元金代リ新公債引換取扱規則左ノ通定ム(大藏大臣連署)

郵便官署保管國債ノ償還元金代リ新公債引換取扱規則

第一條 郵便貯金預ケ人郵便官署ニ保管ヲ供託シタル五分利付國債ノ償還元金ヲ四分利公債ニ引換ヘムトスルトキハ本規則ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ取扱ヲ郵便官署ニ請求スルコトヲ得但シ五分利付國債證券ノ元金額カ新公債ノ引換金額ニ滿タサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項新公債ノ額面金額種類ハ郵便官署ニ於テ適宜之ヲ指定ス

第二條 貯金預ケ人ノ請求ニ依リ引換ヲ爲シタル四分利公債證券ハ郵便貯金規則ノ定ムル所ニ從ヒ當該請求人ノ爲ニ郵便官署ニ於テ之ヲ保管ス

前項ニ依ル證券ノ保管ニ付テハ料金を徴收セス

第三條 貯金預ケ人第一條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ新公債ノ引換ニ充當スヘキ五分利付國債證券ノ額面金額及枚數、種類、記號番號、額面金額種類別枚數、貯金通帳ノ記號番號、證券保管通帳ノ記號番號並新公債ノ額面金額等ヲ記載シタル請求書ヲ作り最寄郵便局ヲ經テ貯金局ニ提出スヘシ但シ償還期日到来前ニ於テ新公債ノ引換ヲ爲サムトスルモノナルトキハ其ノ旨ヲ當該請求書ニ明記スヘシ

第四條 貯金局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ償還期日ノ到来前ニ於

〔輯一三三〕

テ新公債ノ引換ヲ爲スモノニ付テハ其ノ請求書ノ到着シタル時又償還期日到来ノ時ニ於テ引換ヲ爲スモノニ付テハ其ノ當日ニ於テ各貯金預ケ人ノ請求ニ依ル新公債ノ額面總高及其ノ額面金額種類別枚數並其ノ引換ニ充當スヘキ國債證券ノ種類及額面總高ヲ記載シタル申込書ヲ作り之ヲ日本銀行ニ送付ス

第五條 日本銀行ニ於テ前條ノ申込書受ケタルトキハ四分利公債ノ額面金額、額面金額種類、枚數及記號番號並新公債ノ發行代金ニ對スル五分利付國債證券ノ充當超過金額等ヲ貯金局ニ通知スヘシ

第六條 貯金局ニ於テハ貯金預ケ人ヨリ提出ニ係ル請求書ニ依リ新公債ノ引換ニ充當スヘキ五分利付國債證券ノ種類、記號番號、額面金額及枚數等ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第七條 日本銀行ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ證券ハ郵便貯金ニ屬スルモノトシテ之ヲ保管シ超過金ハ之ヲ郵便貯金ニ振替計理シ直ニ其ノ旨ヲ貯金局ニ通知スヘシ

第八條 貯金局ニ於テ日本銀行ヨリ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ預金通帳及保管通帳ヲ日本銀行ニ差出シ超過金振替高、新證券保管高及充當證券拂出高ノ記入ヲ受ケ超過金振替高ハ證券償還金ノ例ニ依リ當該請求人ノ貯金ニ組入ルヘシ

前項ノ取扱ヲ了シタルトキハ直ニ新證券引換保管及超過金組入濟ノ旨ヲ請求人ニ通知スヘシ

第九條 請求人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ證券保管通帳及貯金通帳ヲ指定郵便局ニ差出シ新舊證券ノ受拂及組入金ノ記入ヲ受クヘシ

第十條 第三條ニ依ル請求書力償還期日經過後ニ至リ貯金局ニ到着シタル爲既ニ償還元金ノ受入ヲ了シタルモノニ對シテハ當該請求書ニ其ノ事由

〔輯八五〕

ヲ記載シ之ヲ請求人ニ返付ス

償還期日到来前ニ於テ引換ヲ要スル請求書償還期日以後ニ貯金局ニ到着シタルトキハ償還期日到来ノ時ニ於テ引換ヲ要スル請求ヲ爲シタルモノト看做ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年遞信省令第八號(大正
三年臨時事件ニ關スル一時賜金
ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラ
ス下賜セラレタル公債證書保管
請求方)

大正五年二月二十五日
逓信省令第八號

改正 大正九年第二八號

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラスシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ内其ノ保管料金を徴收セス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附則
本令ハ大正五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年三月九日
朝鮮總督府令第十四號

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管テ請求スル場合ニ於テハ當分ノ内其ノ保管料金ヲ徵收セス
前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●供託法

明治三十二年二月八日
法律第十五號

大正一〇年第六九號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル供託法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
(總理、大藏、司法大臣副署)

供託法

第一條 法令ノ規定ニ依リテ供託スル金錢及ヒ有價證券ハ供託局ニ於テ之ヲ保管ス
第一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル供託ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ司法行政

ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第一條ノ三 利害關係人ハ供託官吏ノ處分ニ對シ供託局ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第一條ノ四 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ供託官吏ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第一條ノ五 供託官吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ書類ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ之ヲ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第一條ノ六 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ理由アリトスルトキハ供託官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲シ供託官吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第一條ノ七 前條ノ規定ニ依リ抗告ヲ却下スル決定ニ對シテハ法律違背ヲ理由トスルトキニ限り非訟事件手續法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニ付爲シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二條 供託局ニ供託ヲ爲サント欲スル者ハ司法大臣カ定メタル書式ニ依リテ供託書ヲ作り供託物ニ添ヘテ之ヲ差出タスコトヲ要ス

第三條 供託金ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ利息ヲ付スルコトヲ要ス

第四條 供託局ハ供託物ヲ受取ルヘキ者ノ請求ニ因リ供託ノ目的タル有價

(日本)

〔轉二八〕

本法施行前爲シタル供託ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
供託局所在地外ニ於テハ司法大臣ハ當分ノ内其ノ適當ト認ムル銀行ヲシテ第一條ノ規定ニ依リ供託事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得
(大正十一年勅令第二十八號ヲ以テ大正十一年四月一日ヨリ施行)

大正十一年三月三十日
勅令第七十號

朕供託法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
供託法ハ之ヲ臺灣ニ施行ス但シ同法中司法大臣トアルハ臺灣總督、裁判所トアルハ臺灣總督府法院、地方裁判所トアルハ臺灣總督府地方法院トス

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前爲シタル供託ニ付テハ供託物ノ還付又ハ下戻、代供託、附屬供託及利札又ハ利息ノ交付ニ關スル事務ハ大正十一年四月一日ヨリ同年十二月二十八日ニ至ル迄ノ間日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

明治四十年三月三十一日
勅令第九十四號

朕司法ニ關スル法律ヲ樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 左ニ掲グル法律ハ之ヲ樺太ニ施行ス
十八 供託法(外略)

附則
本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年八月三日
司法省告示第三十九號

供託法第六條ニ依リ供託書式左ノ通相定ム
(用紙寸法適宜)

〔一内ハ朱〕

一七〇九

證券ノ償還金、利息又ハ配當金ヲ受取リ供託物ニ代ヘ又ハ其從トシテ之ヲ保管ス但保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル場合ニ於テハ供託者ハ其利息又ハ配當金ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得
第五條 司法大臣ハ法令ノ規定ニ依リテ供託スル金錢又ハ有價證券ニ非サル物品ヲ保管スヘキ倉庫營業者又ハ銀行ヲ指定スルコトヲ得
倉庫營業者又ハ銀行ハ其營業ノ部類ニ屬スル物ニシテ其保管シ得ヘキ數量ニ限リ之ヲ保管スル義務ヲ負フ
第六條 倉庫營業者又ハ銀行ニ供託ヲ爲サント欲スル者ハ司法大臣カ定メタル書式ニ依リテ供託書ヲ作り供託物ニ添ヘテ之ヲ交付スルコトヲ要ス
第七條 倉庫營業者又ハ銀行ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ供託物ヲ受取ルヘキ者ニ對シ一般ニ同種ノ物ニ付テ請求スル保管料ヲ請求スルコトヲ得
第八條 供託物ノ還付ヲ請求スル者ハ司法大臣ノ定ムル所ニ依リ其權利ヲ證明スルコトヲ要ス
第九條 供託者ハ民法第四百九十六條ノ規定ニ依レルコト、供託カ錯誤ニ出テシコト又ハ其原因力消滅シタルコトヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ取戻スコトヲ得ス
第十條 供託者カ供託物ヲ受取ル權利ヲ有セザル者ヲ指定シタルトキハ其供託ハ無効トス
第十一條 供託物ヲ受取ルヘキ者カ反對給付ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ供託者ノ書面又ハ裁判、公正證書其他ノ公正ノ書面ニ依リ其給付アリタルコトヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ受取ルコトヲ得ス

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

(供託物カ有價證券ナルトキハ請求書ニ通)ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ提出スヘシ

一 供託物受入ノ記載アル供託書

二 債権者カ供託ヲ受諾セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シタル債権者ノ書面及供託ヲ有效ト宣告シタル確定判決ナキコトヲ證スル書面

三 民法第四百九十六條第二項ノ場合ニ該當セサルコトヲ證スル書面

四 供託ノ原因消滅シ又ハ供託カ錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル裁判ノ正本其ノ他ノ書面

第七條

供託者供託ヲ爲シタル供託局ノ預金取扱店タル日本銀行所在地外ノ日本銀行ニ於テ供託金ノ還付又ハ取戻ヲ爲サムトスルトキハ第五條又ハ前條ノ請求書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八條

供託官吏供託金ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出シテ供託書ト引換ニ請求者ニ交付スヘシ但シ内渡ノ場合ニ於テハ供託書ニ其ノ額ヲ記載シテ之ヲ請求者ニ返還スヘシ

供託金ノ還付又ハ取戻ニ付前條ノ請求アリタルトキハ供託官吏ハ大藏大臣ノ定ムル預金部預金ノ他店拂ニ關スル規定ニ依ル手續ヲ爲シ第六號書式ノ供託金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ日本銀行ヨリ供託金ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第九條

供託官吏供託有價證券ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託物還付請求書又ハ供託物取戻請求書ノ一通ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ有價證券ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第十條

請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託官吏ハ利害關係人ニ對シ供託物ノ還付又ハ下戻ニ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

供託官吏ハ前項ノ期間經過後ニ非サルハ供託物ノ還付又ハ下戻ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ請求者カ利害關係人ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ之ヲ適用セズ

第十一條

配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受クヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受クヘキ者カ前項ノ證明書ヲ提出シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條

保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシムヘシ

第十三條

供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

一何會社株券額面何圓也 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託官吏ハ利害關係人ニ對シ供託物ノ還付又ハ下戻ニ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

供託官吏ハ前項ノ期間經過後ニ非サルハ供託物ノ還付又ハ下戻ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ請求者カ利害關係人ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ之ヲ適用セズ

配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受クヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受クヘキ者カ前項ノ證明書ヲ提出シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシムヘシ

供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

一何會社株券額面何圓也 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一七三

保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ者ニ拂渡スヘシ

第十四條

前條第一項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ供託金利息請求書ニ通、同條第二項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十一號書式ノ供託金利息請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ前項ノ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利息ヲ受取ラシムヘシ

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年大藏省令第六號供託物取扱規程ハ之ヲ廢止ス

第一號書式(用紙日本標準規格B列四番ノモノトキハ契印スルコト)

供託書(金錢ト有價證券トハ)

各別ニ作成スルコト)

住所

供託者 何

某

第三者ニ於テ供託スルトキハ

供託者第三者ト記入スルコト)

一何々公債證書額面何圓也

(尙全額拂込未済ノモノハ其ノ拂込額ヲ記載スルコト)

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但シ何年何月又ハ何期渡以降利札付

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一七三

請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託官吏ハ利害關係人ニ對シ供託物ノ還付又ハ下戻ニ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

供託官吏ハ前項ノ期間經過後ニ非サルハ供託物ノ還付又ハ下戻ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ請求者カ利害關係人ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ之ヲ適用セズ

配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受クヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受クヘキ者カ前項ノ證明書ヲ提出シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシムヘシ

供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

一何會社株券額面何圓也 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

一何々 同上

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一七三

前書ノ金額(有價證券)受領候也
年月日

住所

受取人何

某國

供託局宛

内渡書式

一金何圓也

右年月日 日内渡テ了ス

年月日

供託

局宛

又ハ

一何々公債證券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

一何々

(種類多數ナルトキハ別ニ内課書ヲ添付スルコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ別紙内課書ノ通ト記入シ内課書ト契印スルコト)

右年月日 日内渡テ了ス

年月日

日本銀行宛

第二號書式

供託通知書

一金何圓也

右ハ何々ノ事由ニ因リ何供託局ニ供託致候間御受領相成度此段及通知候也

年月日

住所

何 某

住所 何 某殿

第三號書式

代供託請求書又ハ附屬供託請求書(代供託物ト附屬供託物トハ各別ニ作成スルコト)

供託番號第 號

一金何圓也

何々公債證券(何會社株券)何圓何年何月(何期)渡利息(配當金)(何年何月償還金)

前書ノ金額代供託(附屬供託)トシテ御受入相成度(別紙委任狀相添)及請求候也

年月日

住所

何 某國

供託局宛

右代供託(附屬供託)トシテ受入手續ヲ爲スヘキモノトス

〔台本〕

年月日

供託

局宛

受入書式

右受入テ了ス

年月日

日本銀行宛

奥書ノ式

前書ノ金額受領候也

年月日

住所

何

某國

供託局宛

内渡書式

一金何圓也

右年月日 日内渡テ了ス

年月日

供託

局宛

第四號書式

供託物還付請求書(供託書一通毎ニ作成スルコト)

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

〔台本〕

供託番號第 號

一金何圓也

一何々公債證券額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ

一何々 同上

前書ノ金額(有價證券)何々ノ事由ニ因リ還付相成度別紙供託書及證明書類相添及請求候也

年月日

住所

受取人何

某國

供託局宛

右還付テ認可ス

年月日

供託

局宛

第五號書式

供託物取戻請求書(供託書一通毎ニ作成スルコト)

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第

又ハ 何番ヨリ第何番マテ何枚

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ 同上

一何々

住所

供託者 何

某團

年月日

供託局宛

右取戻ヲ認可ス

年月日

供託

局宛

第六號書式

供託金支拂通知書

住所

受取人 何

某

供託番號第 號

一金何圓也

右者ニ對シ前記ノ金額拂渡相成度候也

年月日

供託 局宛

日本銀行(支拂店)宛

右受領候也

年月日

住所

何

某團

第七號書式

支拂委託書(供託書一通毎ニ)

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第

又ハ 何番ヨリ第何番マテ何枚

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ 同上

一何々

住所

同上

何圓券何第何番又ハ何第

何番ヨリ第何番マテ何枚

〔台本〕

〔台本〕

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ

一何々

住所

受取人 何

某

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第

又ハ 何番ヨリ第何番マテ何枚

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ

一何々

住所

受取人 何

某

右ハ何々ノ事由ニ因リ内譯ノ通分割拂渡スコトヲ要スルニ付別紙供託書

相添及請求候也

住所

供託者 何

某團

第八號書式

供託局宛

證明書

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

第九號書式

供託有價證券利札請求書

供託番號第 號

何年何月渡 何枚

一何々公債證書何圓券附屬利札 何枚

供託 局宛

住所

供託者 何

某團

右拂渡ヲ認可ス

年月日

右者前記ノ金額(有價證券)ノ拂渡ヲ受クヘキモノナルコトヲ證ス

年月日

一何々

又ハ

一何々公債證書額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第

又ハ 何番ヨリ第何番マテ何枚

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ

一何々

又ハ

一何々

又ハ

一何々附屬利札
右及請求候也

年月日

住所

何 某團

供託局宛

右拂渡ヲ認可ス

年月日

住所

何 某團

右受領候也

年月日

住所

何 某團

日本銀行宛

第十號書式

供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

住所

何 某團

受取人 何 某團

供託局宛

一金何圓也

(金何圓ニ對スル何年何月何日ヨリ何年何月何日)

(日ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)

右拂渡ヲ認可ス

年月日

住所

何 某團

右受領候也

年月日

住所

何 某團

日本銀行宛

第十一號書式

供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓(但シ何年何月何日供託受入濟)ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

住所

何 某團

供託局宛

〔日本〕

〔三〇〕

一金何圓也

(金何圓ニ對スル何年何月何日ヨリ何年何月何日)

(日ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)

右拂渡ヲ認可ス

年月日

住所

何 某團

右受領候也

年月日

住所

何 某團

●供託有價證券取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第九號

供託有價證券取扱規程左ノ通定ス

供託有價證券取扱規程

第一條 供託局ノ保管ニ保ル供託有價證券ハ之ヲ日本銀行ニ寄託スヘシ

第二條 供託局前條ノ寄託ヲ爲サントスルトキハ供託有價證券寄託書(書式ハ政府所有有價證券取扱規程第一號書式政府所有有價證券寄託書ニ準ス)及供託書ヲ添ヘ有價證券ヲ日本銀行ニ提出シ供託有價證券受託證書

ノ交付ヲ受クヘシ

第三條 供託局日本銀行ニ寄託セル有價證券ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ供託有價證券拂渡請求書(書式ハ政府所有有價證券取扱規程第二號書式政府所有有價證券拂渡請求書ニ準ス)ヲ日本銀行ニ提出シ之カ交付ヲ受クヘシ但シ附屬利札ヲ受ケル權利ヲ有スル者ノ提出シタル請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ供託有價證券利札請求書ニ代フルコトヲ得

第四條 供託局供託有價證券附屬利札ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ供託有價證券利札請求書(書式ハ政府所有有價證券取扱規程第三號書式政府所有有價證券利札請求書ニ準ス)ヲ日本銀行ニ提出シ之カ交付ヲ受クヘシ但シ附屬利札ヲ受ケル權利ヲ有スル者ノ提出シタル請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ供託有價證券利札請求書ニ代フルコトヲ得

第五條 供託局供託有價證券ノ利息又ハ配當金ニ付附屬供託ヲ認可シタルトキハ供託有價證券利息(配當金)請求書(書式ハ政府所有有價證券取扱規程第三號書式政府所有有價證券利札請求書ニ準ス)及附屬供託請求書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第六條 政府所有有價證券取扱規程第二條及第六條乃至第十條ノ規定ハ供託有價證券ノ取扱手續ニ付之ヲ準用ス

附則 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十三年司法省令第六號（燒失供託有價證券ニ對スル代り證券供託請求方ニ關スル件）

大正十三年四月一日
司法省令第六號

燒失供託有價證券ニ對スル代り證券供託請求方ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條 大正十二年九月ノ震災ニ因リ供託有價證券カ滅失シタルニ付供託者カ代リ證券ノ供託ヲ爲サムトスルトキハ第一號書式ノ供託有價證券代り證券供託請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ但シ官廳ニ對スル保證供託ナルトキハ當該官廳ノ認可書ヲ添付スヘシ

第二條 供託局前條ノ請求ヲ受理シタルトキハ供託有價證券代り證券供託請求書ニ認可ノ與書ヲ爲シ其一通ヲ供託者ニ交付シ之ヲ第二號書式ノ供託有價證券代り證券受領方請求書ト共ニ日本銀行ニ提出セシムヘシ

第三條 日本銀行供託有價證券ノ代り證券ヲ受領シタルトキハ供託有價證券代り證券供託請求書ニ受領ノ與書ヲ爲シ之ヲ第三號書式ノ供託有價證券代り證券受領通知書ト共ニ供託局ニ送付スヘシ

第四條 供託局日本銀行ヨリ前條ノ與書アル供託有價證券代り證券供託請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ供託者ニ交付スヘシ但シ官廳ニ對スル保證供託ノ場合ニ於テハ供託局ヨリ直接之ヲ當該官廳ニ送付シ供託者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式
供託有價證券代り證券供託請求書

一 供託番號
一 供託年月日
一 供託有價證券

何會社株券額面金何圓也（記號番號枚數等判明ノトキハ記載スルコト）

又ハ

一 供託ノ原因タル事實

一 供託スヘキ法令ノ條項

一 供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定又ハ之ヲ確知シ得サル事由

一 反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

一 裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託有價證券大正十二年九月ノ震災ニ因リ燒失シタルヲ以テ發行者ヲシテ代り證券ヲ發行セシメ候間之ヲ前記供託有價證券ニ代ヘ供託仕度此段請求候也

年月日

〔輯八五〕

第三號書式

供託有價證券代り證券受領通知書

一 何會社株券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一 何々

右ハ供託者何某ノ申請ニ因リ年月日認可相成リタル供託番號何年第何號供託有價證券ノ代り證券トシテ發行會社ヨリ本日受領候ニ付此段及通知候也

年月日

供託局長宛

日本銀行 印

●大正十三年司法省令第十二號（震災ニ因リ滅失シタル供託國債證券ニ對シ新證券供託請求等ニ關スル件）

大正十三年九月十五日
司法省令第十二號

震災ニ因リ滅失シタル供託國債證券ニ對シ新證券供託請求等ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條 供託ニ係ル無記名國債證券カ大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタルニ付供託者カ之ニ代ヘ大正十三年法律第十四號ニ依リ交付セララルヘキ新證券ノ供託ヲ爲サムトスルトキハ第一號書式ノ新證券供託請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ但シ官廳ニ對スル保證供託ナルトキハ當該官廳ノ認可書ヲ添付スヘシ

供託官吏必要ト認ムルトキハ請求者ヲシテ官廳其ノ他ノ者ノ作成シタル

供託局宛

供託者 何

某 印

右認可ス

年月日

供託局長 氏

名 印

一 何會社株券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一 何々

右株券ヲ代り證券トシテ發行會社ヨリ受領候也

年月日

日本銀行 印

第二號書式

供託有價證券代り證券受領方請求書

一 供託番號

一 供託年月日

一 供託有價證券

何會社株券額面金何圓也（記號番號枚數等判明ノトキハ記載スルコト）

又ハ

一 何々

右供託有價證券大正十二年九月ノ震災ニ因リ燒失シタルヲ以テ發行者何々會社ニ對シ代り證券發行方請求致置候間直接同會社ヨリ右代り證券御受領相成度候也

年月日

供託者 何

某 印

日本銀行宛

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

證明書其ノ他ノ書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第二條 供託官吏前條ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ日本銀行ニ對シ新證券ノ交付ヲ請求スヘシ

供託官吏日本銀行ヨリ新證券交付ノ通知ヲ受ケタルトキハ新證券供託請求書ニ認可ノ與書ヲ爲シ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ之ヲ日本銀行ニ差出サシムヘシ

第三條 日本銀行新證券受入ノ手續ヲ了シタルトキハ新證券供託請求書ニ新證券ヲ表示シテ受入ノ與書ヲ爲シ供託局ニ送付スヘシ

大正十三年司法省令第六號第四條ノ規定ハ供託局カ前項ノ規定ニ依リ日本銀行ヨリ新證券供託請求書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 第一條ノ國債證券ニ付供託原因ノ消滅其ノ他ノ事由ニ因リ還付又ハ取戻ノ請求ヲ爲シ得ヘキ者ハ直ニ新證券又ハ之ニ代ヘテ支拂ハルヘキ金錢ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニハ第二號書式ノ拂渡請求書三通ヲ供託局ニ提出スヘシ

第五條 供託官吏前條ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ日本銀行ニ對シ新證券ノ交付又ハ之ニ代ヘテ支拂ハルヘキ金錢ノ支拂ヲ請求スヘシ

供託官吏日本銀行ヨリ新證券ノ交付又ハ金錢ノ支拂ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ拂渡請求書二通ニ認可ノ與書ヲ爲シ之ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ新證券又ハ金錢ヲ受取ラシムヘシ

第六條 供託官吏第二條及第五條ノ規定ニ依リ日本銀行ニ對シテ請求ヲ爲スニハ司法大臣ヲ經由スヘシ

附則

本令ハ大正十三年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

供託國債證券ニ對スル新證券供託請求書

一 供託番號

一 供託者ノ氏名住所

一 供託年月日

一 供託國債證券

五分利公債證券額面金額何圓也(記號番號枚數等判明ノトキハ記號スルコト)

一 供託ノ原因タル事實

一 供託スヘキ法令ノ條項

一 裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託國債證券大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタルヲ以テ之ニ代ヘ大正十三年法律第十四號ニ依リ交付セラルヘキ新證券ヲ供託致度此段及請求候也

年月日 供託者 氏 名 附

供託局宛

右認可ス

年月日

一五分利公債證券額面金額何圓也

右受入テ證ス

年月日

一 供託番號

一 供託者ノ氏名住所

一 供託年月日

一 供託國債證券

五分利公債證券額面金額何圓也(記號番號枚數等判明ノトキハ記號スルコト)

一 供託ノ原因タル事實

一 供託スヘキ法令ノ條項

一 裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託國債證券大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタルヲ以テ之ニ代ヘ大正十三年法律第十四號ニ依リ交付セラルヘキ新證券ヲ供託致度此段及請求候也

年月日 供託者 氏 名 附

供託局宛

右認可ス

年月日

一五分利公債證券額面金額何圓也

右受入テ證ス

年月日

一 供託番號

一 供託者ノ氏名住所

一 供託年月日

一 供託國債證券

五分利公債證券額面金額何圓也(記號番號枚數等判明ノトキハ記號スルコト)

一 供託ノ原因タル事實

一 供託スヘキ法令ノ條項

一 裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託國債證券大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタルヲ以テ之ニ代ヘ大正十三年法律第十四號ニ依リ交付セラルヘキ新證券(又ハ新證券ニ代ヘ支拂ハルヘキ金錢)拂渡相成度此段及請求候也

年月日 供託者 氏 名 附

供託局宛

右認可ス

年月日

一五分利公債證券額面金額何圓也

又ハ

一金何圓也

右受領候也

預金部預金供託代用規程

昭和六年六月二十日 大藏省令第二十一號

預金部預金供託代用規程左ノ通定ム

預金部預金供託代用規程

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

ルトキハ該定期預金ノ期限ハ六月間延長セラレタルモノト看做ス

第六條 貯蓄銀行其ノ供託ニ代用シタル預金部預金ノ供託代用ヲ廢止セシトスルトキハ預金部預金供託代用廢止書(第三號書式)ニ地方長官ガ其ノ廢止ヲ承認シタルコトヲ證スルニ足ル書面及預金部預金供託代用濟書ヲ添ヘ日本銀行ニ提出シ預金部預金供託代用濟書ハ供託代用廢止ノ旨ノ記入ヲ得之カ返付ヲ受クベシ

貯蓄銀行前項地方長官ノ承認ヲ受クントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ニ預金部預金供託代用濟書ノ寫ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ
地方長官前項ノ申請ニ對シ承認ヲ爲シタルトキハ申請書ノ寫ヲ添附シテ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ報告スベシ

附則

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

預金部預金供託代用書(用紙寸法
半紙判半裁)

一預金部定期預金 金 何 圓也

預入年月日

拂戻期限

預金番號

右貯蓄銀行法第九條第二項ノ規定ニ依リ同條第一項ノ供託ニ代用ス

昭和 年 月 日

何府何市何町何番地
何縣何郡何村何番地

株式何貯蓄銀行代表者 氏 名

日本銀行(何店)宛

(預金番號ニハ預金部預金領收證書番號ヲ記載スベシ)

第二號書式

供託代用預金部定期預金延期通知書(用紙寸法
半紙判半裁)

一預金部定期預金 金 何 圓也

預入年月日

拂戻期限

預金番號

預金部預金供託

代用濟書年月日

右昭和何年何月何日迄其ノ期限ヲ延長ス

昭和 年 月 日

何府何市何町何番地
何縣何郡何村何番地

株式何貯蓄銀行代表者 氏 名

日本銀行(何店)宛

(預金番號ニハ預金部預金領收證書番號ヲ記載スベシ)

第三號書式

預金部預金供託代用廢止書(用紙寸法
半紙判半裁)

一預金部定期預金 金 何 圓也

【圖五】

【圖五】

預入年月日

拂戻期限

預金番號

預金部預金供託

代用濟書年月日

右貯蓄銀行法第九條第二項ノ規定ニ依リ供託代用ヲ廢止ス

昭和 年 月 日

何府何市何町何番地
何縣何郡何村何番地

株式何貯蓄銀行代表者 氏 名

日本銀行(何店)宛

(預金番號ニハ預金部預金領收證書番號ヲ記載スベシ)

●日本銀行預金部預金供託代用取

取扱規程 昭和六年六月二十日
大藏省令第二十二號

日本銀行預金部預金供託代用取扱規程左ノ通定ス

日本銀行預金部預金供託代用取扱規程

第一條 日本銀行(本店、支店及代理店)ヲ謂フ以下同シ預金部預金供託代用規程第二條ノ規定ニ依リ貯蓄銀行ヨリ預金部預金供託代用書ノ提出ヲ受ケタルトキハ預金部預金供託代用濟書(第一號書式)ヲ貯蓄銀行ニ交付スベシ

第二條 日本銀行預金部預金供託代用規程第四條第二項ノ規定ニ依リ貯蓄銀行ヨリ供託代用預金部定期預金延期通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ供

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一七三二ノ三

託代用預金部定期預金延期通知書(第二號書式)ヲ貯蓄銀行ニ交付スベシ預金部預金供託代用規程第五條ノ規定ニ依リ預金部定期預金ノ期限ノ延長セラレタルモノト看做サレタル場合亦同シ
第三條 日本銀行貯蓄銀行ヨリ預金部預金供託代用規程第六條ノ書類ノ提出ヲ受ケタルトキハ預金部預金供託代用濟書ニ供託代用廢止ノ旨ヲ記入シ之ニ取扱店名及年月日ヲ附記シテ證明ノ上貯蓄銀行ニ返付スベシ
第四條 貯蓄銀行ガ供託ニ代用シタル預金部預金ハ其ノ供託代用ノ廢止アリタル後ニ非ザレバ日本銀行之ガ拂戻ヲ爲スコトヲ得ズ
第五條 貯蓄銀行ノ預金部預金供託代用又ハ其ノ廢止アリタルトキハ日本銀行ハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ報告スベシ

附則

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

預金部預金供託代用濟書(用紙寸法
半紙判半裁)

一預金部定期預金 金 何 圓也

預入年月日

拂戻期限

預金番號

右昭和何年何月何日附預金部預金供託代用書ニ依リ供託代用濟

昭和 年 月 日

日本銀行(何店)宛

株式何貯蓄銀行代表者宛

(預金番號ニハ預金部預金領收證書番號ヲ記載スベシ)

第二號書式

供託代用預金部定期預金延期通知書(用紙寸法)

一 預金部定期預金 金 何 圓也

預入年月日

拂戻期限

預金番號

預金部預金供託

代用濟書年月日

右昭和何年何月何日附供託代用預金部定期預金延期通知書ニ依リ昭和何年何月何日迄延期濟(第二條前段ノ場合)

右預金部預金供託代用規程第五條ノ規定ニ依リ昭和何年何月何日迄延期濟(第二條後段ノ場合)

昭和 年 月 日

日本銀行(何店)印

株式 何貯蓄銀行代表者宛

會社(預金番號ニハ預金部預金領收證書番號ヲ記載スベシ)

【第五】

【輯一〇六】

銀行ニ於テ爲ス供託法第一條ノ供託事務取扱ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條 銀行ニ於テ爲ス供託法第一條ノ供託事務ノ取扱ハ本令ニ依ル

第二條 供託ヲ爲サントスル者ハ第一號書式ノ供託書ニ通テ供託物ト共ニ

銀行ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第二號書式ノ供託通知書ヲ添附

スヘシ

供託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 供託者ノ氏名住所、官吏公吏其ノ職務上爲ス供託ニ付テハ其ノ官公

職氏名及所屬官公署ノ名稱、代理人ニ依ル場合ニ於テハ其ノ代理人

ノ氏名住所

二 供託金額、有價證券ニ付テハ其ノ種類記號番號枚數券面額及拂込額

三 供託ノ原因タル事實及法令ノ條項

四 供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ表示若クハ確

知スルコト難ハサルトキハ其ノ事由

五 反對給付ヲ受クルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物ノ表示

其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

第三條 銀行供託ヲ受理スヘキモノト認ムルトキハ供託書ノ一通ニ受領ヲ

證シテ之ヲ供託者ニ交付スヘシ

銀行前項ノ手續ヲ終リタルトキハ直ニ前條第一項ノ供託通知書ヲ債權者

ニ發送スヘシ

第四條 供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ代供託又ハ

附屬供託ヲ請求セムトスル者ハ第三號書式ノ代供託請求書又ハ附屬供託

請求書ニ通テ銀行ニ提出スヘシ

銀行前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ代供託請求書又ハ附屬供託請

●大正十一年司法省令第四號(銀行ニ於テ爲ス供託法第一條ノ供託事務取扱ニ關スル件)

大正十一年三月一日
司法省令第四號

改正 昭和十四年第六七號

- 求書ノ一通ニ受領シテ之ヲ請求者ニ交付スヘシ
- 第五條 供託物ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ノ供託物還付請求書ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ銀行ニ提出スヘシ
 - 一 供託物受入ノ記載アル供託書
 - 二 辨濟供託ニ在リテハ供託通知書
 - 三 法令ニ依リテ定マリタル者ハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類
 - 四 裁判ニ依リテ定マリタルトキハ執行力アル裁判ノ正本又ハ裁判所ノ命令書
 - 五 反對給付ヲ爲スヘキトキハ供託法第十條ノ規定ニ依ル證明書類
- 第六條 供託物ノ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五號書式ノ供託物取戻請求書ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ銀行ニ提出スヘシ
 - 一 供託物受入ノ記載アル供託書
 - 二 債權者カ供託ヲ受託セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シタル債權者ノ書面及供託ヲ有效ト宣告シタル確定判決ヲキコトテ證スル書面
 - 三 民法第四百九十六條第二項ノ場合ニ該當セサルコトヲ證スル書面
 - 四 供託ノ原因消滅シ又ハ供託カ錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル裁判ノ正本其ノ他ノ書面
- 第七條 銀行供託物ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託書ト引換ニ供託物ノ還付又ハ下戻ヲ爲スヘシ但シ内渡ノ場合ニ於テハ供託書ニ其ノ額ヲ記載シテ之ヲ請求者ニ返還スヘシ
- 第八條 請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ銀行ハ利害關係人ニ對シ供託物ノ還付又ハ下戻ニ異議アラハ一

〔台本〕

定ノ期間内ニ之ヲ迷フヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス
銀行ハ前項ノ期間經過後ニ非サレハ供託物ノ還付又ハ下戻ヲ爲スコトヲ得ス
前二項ノ規定ハ請求者カ利害關係人ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ之ヲ適用セス
第九條 配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ供託者ハ第六號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ銀行ニ送付シ分割拂渡ヲ受ケヘキ者ニ第七號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ
分割拂渡ヲ受ケヘキ者カ前項ノ證明書ヲ提出シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ銀行ハ第七條ノ規定ニ準ジ其ノ手續ヲ爲スヘシ
第十條 保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第八號書式ノ供託有價證券利札請求書ヲ銀行ニ提出スヘシ
銀行前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ受領書ヲ徴シテ請求者ニ利札ヲ交付スヘシ
第十一條 供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ
保證下シテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ者ニ拂渡スヘシ
第十二條 前條第一項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第九號書式ノ供託金利息請求書、同條第二項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ供託金利息請求書ヲ銀行ニ提出スヘシ

〔台本〕

銀行前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ受領書ヲ徴シテ請求者ニ利息ヲ拂渡スヘシ
附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(用紙日本標準規格B列四番ノモノ 紙數二枚以上ニ及ブ)
供託書(金錢ト有價證券トハ)
各別ニ作成スルコトハ

住所

供託者 何

某

(第三者ニ於テ供託スルトキハ)
供託者 第三者ト記入スルコト)

一金何圓也
又ハ
一何々公債證書額面何圓也(尙全額拂込未済ノモノハ其ノ拂込額ヲ記載スルコト)

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但シ何年何月又ハ何期渡以降利札付

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

又ハ

一何々

同上

供託ノ原因タル事實

供託スヘキ法令ノ條項

供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定又ハ之ヲ確知シ得サル事由

反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名
右供託ス
年 月 日

右

何

某團

日本銀行宛

受入書式

右受入ヲ了ス

年 月 日

日本

銀行宛

奧書ノ式
前書ノ金額(有價證券)受領候也

年 月 日

住所

何

某團

日本銀行宛

内渡書式

内

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也 何圓券何第何番又ハ何第

又ハ 何番ヨリ第何番マテ何枚

一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ 同上

一何々 (種類多數ナルトキハ別ニ内書ヲ添付スルコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ別紙内書ノ通ト記入シ内書ト契印スルコト)

右年月日 日本銀行宛

年月日

第二號書式

供託通知書

一金何圓也

右ハ何々ノ事由ニ因リ日本銀行何店ニ供託致候間御受領相成度此段及通知候也

年月日

住所

何

某

住所 何 某殿

第三號書式

代供託請求書又ハ附屬供託請求書 (代供託物ト附屬供託物ト)

供託番號第 號

内 一金何圓也
右年月日 日本銀行宛

第四號書式

供託物還付請求書 (供託書一通毎ニ)

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

又ハ

一何々 (種類多數ナルトキハ別ニ内書ヲ添付スルコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ別紙内書ノ通ト記入シ内書ト契印スルコト)

前書ノ金額(有價證券)何々ノ事由ニ因リ還付相成度別紙供託書及證明書
類相添及請求候也

年月日

住所

受取人 何

某團

第五號書式

供託物取戻請求書 (供託書一通毎ニ)

日本銀行宛

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一金何圓也

何々公債證書(何會社株券)何圓何年何月(何期)渡利息(配當金)(何
年何月償還金)

前書ノ金額代供託(附屬供託)トシテ御受入相成度(別紙委任狀相添)及請
求候也

年月日

住所

何

某團

日本銀行宛

受入書式

右受入ヲ了ス

年月日

日本銀行宛

真書ノ式

前書ノ金額受領候也

年月日

住所

何

某團

日本銀行宛

内渡書式

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

又ハ

一何々 (種類多數ナルトキハ別ニ内書ヲ添付スルコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ別紙内書ノ通ト記入シ内書ト契印スルコト)

前書ノ金額(有價證券)何々ノ事由ニ因リ下戻相成度別紙供託書及證明書
類相添及請求候也

年月日

住所

供託者 何

某團

第六號書式

支拂委託書 (供託書一通毎ニ)

日本銀行宛

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

又ハ

一何々 同上

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

一何々

同上 住所 受取人 何

内

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

一何々

同上 住所 受取人 何

右ハ何々ノ事由ニ因リ内譯ノ通分割拂渡スコトヲ要スルニ付別紙供託書相添及請求候也

年月日

住所 供託者 何

第七號書式

日本銀行宛 證明書

住所 受取人 何

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何々公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

又ハ

一何々 右者前記ノ金額(有價證券)ノ拂渡ヲ受クヘキモノナルコトヲ證ス

住所 供託者 何

第八號書式

供託有價證券利札請求書

供託番號第 號

何年何月渡
一何々公債證書何圓券附屬利札
又ハ
一何々附屬利札
右及請求候也
年月日

住所

何 某團

日本銀行宛

右受領候也

年月日

住所

何 某團

日本銀行宛

第九號書式

供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

住所

何 某團

日本銀行宛

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

一金何圓也
(金何圓ニ對スル何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)
右受領候也
年月日

住所

受取人 何 某團

第十號書式

日本銀行宛 供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓(但シ何年何月何日供託受入済)ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

住所

受取人 何 某團

日本銀行宛

一金何圓也

(金何圓ニ對スル何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)

右受領候也

年月日

住所

受取人 何 某附

日本銀行宛

●大正十一年司法省令第六號(日)
本銀行ヲシテ供託法第一條ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシムルノ件)
大正十一年三月二十七日
司法省令第六號

改正 大正十四年第一八號、一五年第二〇號、
昭和四年第三四號、六年第一八號、八年第三三號、一〇年第九號、一三年第一九號、
一五年第三九號、第四三號
當分ノ内日本銀行ヲシテ左記場所ニ於テ供託法第一條ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシム

附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
福岡縣大牟田市 日本銀行大牟田代理店
鹿兒島縣熊毛郡北種子村 日本銀行種子島代理店
沖繩縣八重山郡石垣村 日本銀行八重山代理店

附則
本令ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前日本銀行沖繩縣宮古代理店ニ於テ取扱ヒタル供託事務ハ本令施行ノ日ヨリ那覇供託局平良出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

附則
本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前日本銀行桑名代理店ニ於テ取扱ヒタル供託事務ハ安濃津供託局四日市出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
附則 (昭和十五年司法省令第三十九號)
本令ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前日本銀行門司支店及日本銀行福岡縣八幡代理店ニ於テ取扱ヒタル

ル供託事務ハ福岡供託局小倉出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

附則 (昭和十五年司法省令第四十三號)
本令ハ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前日本銀行養父代理店ニ於テ取扱ヒタル供託事務ハ甲府供託局谷村出張所ニ於テ、日本銀行赤穂代理店ニ於テ取扱ヒタル供託事務ハ神戸供託局龍野出張所ニ於テ、日本銀行味野代理店ニ於テ取扱ヒタル供託事務ハ岡山供託局ニ於テ之ヲ取扱フ

●大正十一年司法省令第七號(橫濱正金銀行ヲシテ供託法第一條ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシムルノ件)
大正十一年三月三十一日
司法省令第七號

改正 昭和十一年第四〇號、一四年第八號
當分ノ内橫濱正金銀行ヲシテ左記場所ニ於テ供託法第一條ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシム
附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
天津英租界 橫濱正金銀行天津支店

●大正十一年司法省令第三號(供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息)
大正十一年三月一日
司法省令第三號

改正 昭和七年第四一號
供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息ハ一箇年二歩四厘ト定ム
前項ノ利息ハ供託金受入ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス供託金ノ十圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ
附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年三月三十日
朝鮮總督府令第三十六號

改正 昭和七年第一〇三號
供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息ハ年二分四厘ト定ム
前項ノ利息ハ供託金受入ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス供託金ノ十圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ
附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年四月一日
臺灣總督府令第六十九號

改正 昭和七年第四七號
供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息ハ一箇年二分四厘ト定ム
前項ノ利息ハ供託金受入ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス供託金ノ十圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年三月三十一日
關東廳令第十二號

改正 昭和七年第二六號
供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息ハ一年二歩四厘ニ定ム
前項ノ利息ハ供託金受入ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス供託金ノ十圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ
附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年二月七日
南洋廳令第五號

改正 昭和七年第六號
供託法第三條ニ依ル供託金ノ利息ハ一箇年二歩四厘ト定ム
前項ノ利息ハ供託金受入ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス供託金ノ十圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ
附則
本令ハ大正十二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●明治三十六年大藏省令第八號
(稅關ノ取扱ニ係ル供託金【金庫】移換及利子仕拂手續)
明治三十六年三月十七日
大藏省令第八號

稅關ノ取扱ニ係ル供託金庫移換及利子仕拂手續左ノ通相定ム
第一條 稅關ノ取扱ニ關スル法令ノ規定ニ依リ甲稅關ニ對スル保證又ハ擔保トシテ甲地【金庫】ニ供託シタル現金ヲ他日其原因ノ消滅シタル場合ニ於テ乙稅關ノ證明ニ依リ乙地【金庫】ヨリ拂戻ヲ受クルコトヲ要スル供託者ハ最初其供託受領證ヲ甲稅關ニ提出ノ際其拂戻シ【金庫】ヲ指定シテ其旨ヲ申請シ該稅關ノ承認ヲ受クヘシ
前項ノ承認ヲ得タル供託者ニ於テ其拂戻ヲ受クヘキ場合ニ於テハ供託物取扱規程ノ請求書ヲ作り之ニ乙稅關ノ證明ヲ付シタル供託受領證ヲ添付シ指定ノ【金庫】ニ差出シ現金ノ拂戻ヲ請求スヘシ
甲稅關ニ於テ第一項ノ申請ヲ承認シタルトキハ供託金庫換請求書ヲ作り之ニ供託受領證ノ寫ヲ添ヘ甲地【金庫】ニ送付シ同時ニ其供託受領證ニ

其事由ヲ記載シタル書面ヲ添へ乙税關へ移送スヘシ

第二條 甲地〔金庫〕ニ於テ前條第三項ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ
供託金〔金庫〕換通知書ヲ作り之ニ甲税關ヨリ送付セラレタル供託受領證
ノ寫ヲ添へ乙地〔金庫〕へ送付シ同金庫ノ報告ヲ得テ其供託金ヲ拂出シ振
換回送受入ノ記帳ヲ爲スヘシ

第三條 乙地〔金庫〕ニ於テ前條供託金〔金庫〕換ニ關スル書類ヲ受ケタルト
キハ其書類ニ依リ供託金ノ受入及振換回送拂出ノ記帳ヲ爲シ其旨甲地金
庫へ報告シ置キ他日第一條第二項ノ請求ヲ受ケタルトキハ供託物取扱規
程ノ手續ニ依リ其現金ヲ交付スヘシ

第四條 第一條ノ供託金ノ利息ヲ受取ラントスルトキハ供託物取扱規程ニ
定メタル請求書ヲ第一條第二項ノ請求書ト共ニ其〔金庫〕へ差出スヘシ
前項ノ請求ヲ受ケタル〔金庫〕ハ其供託受領證ニ依リ利子金額ヲ計算シテ
式ノ如ク證明シ之ヲ其地ノ日本銀行本支店若クハ代理店ニ同付シ日本銀
行本支店若クハ代理店ハ之ヲ調査シ受取人ヲシテ式ノ如ク受領ヲ證セシ
メ其現金ヲ交付スヘシ

第五條 本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●大正八年文部省令第十五號（私
立ノ大學及高等學校ノ基本財産
供託ニ關スル件）

大正八年四月二十一日
文部省令第十五號

改正 大正一二年第七號

私立ノ大學及高等學校ノ基本財産供託ニ關スル件左ノ通定ム（大藏大
臣連署）

第一條 財團法人ハ私立ノ大學又ハ高等學校設立認可ノ指令ヲ受ケタル日
ヨリ三週間以内ニ大學令第七條第二項又ハ高等學校令第五條第二項ノ規
定ニ依リ供託ヲ爲シタル旨ヲ文部大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ供託受領證ヲ添付スヘシ
前二項ノ規定ハ財團法人ニ於テ基本財産ノ追加供託ヲ命セラレタル場合
ニ關シ之ヲ準用ス

第二條 前條ノ供託受領證ハ文部大臣之ヲ保管シ保管證書ヲ財團法人ニ交
付スヘシ

第三條 財團法人ハ〔供託物取扱規程第七條第三項〕ノ規定ニ依リ有價證券
ノ利札及〔同第十五條第二項〕ノ規定ニ準シ供託金ニ對スル利息ヲ請求ス
ルコトヲ得

第四條 大學令第七條第二項及高等學校令第五條第二項ノ有價證券左ノ如
シ

- 地方債證券 勸業債證券 興業債證券 貯蓄債證券 農工債證券 北海道拓殖
- 銀行ニ於テ發行スル債券 東洋拓殖債券 文部大臣ニ

於テ特ニ認メタル有價證券

第五條 供託スル有價證券ハ券面額ニ依リ其ノ額ヲ算定ス但シ株券ニ在リ
テハ時價ノ十分ノ八ニ依リ之ヲ算定ス

第六條 供託シタル株券ニシテ時價ノ騰貴ニ因リ前條ニ依リ算定シタル基

〔輯八五〕

〔輯五〇〕

本財産額ニ付増差アリタルトキハ文部大臣ハ財團法人ノ申請ニ因リ其ノ
收入ニ減少ナシト認メタル場合ニ限り増差額ノ範圍内ニ於テ株券ノ返還
ヲ許可スルコトアルヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年大藏省令第八號 (供託)

官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所得ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十年四月十五日 大藏省令第八號

第一條 出納官吏事務規程第三十五條乃至第三十八條及第七十二條ノ規定ハ供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二條 保管金取扱規程第十六條乃至第十八條ノ規定ハ供託金ガ時效其ノ他ノ事由ニ因リ政府ノ所得ニ歸シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條 前二條ノ規定ニ依リ出納官吏事務規程及保管金取扱規程ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ所管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本令施行前供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日

附後一年ヲ經過シタルモノニ付之ヲ適用ス

〔轉五〇〕

大正元年制令第一號 (供託ニ關スル件)

大正元年八月七日 制令第一號

改正 大正一一年第二號 供託ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅諭ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス 法令ニ依ル供託ニ付テハ供託法ニ依ル但シ朝鮮總督ハ當分ノ内適當ト認ムル者ヲ指定シ倉庫營業者及銀行ニ代フルコトヲ得 供託法中地方裁判所トアルハ地方法院トシ司法大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (大正十一年制令第二號)

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前爲シタル供託ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督府令ヲ以テ之ヲ定ム 供託局所在地外ニ於テハ朝鮮總督ハ當分ノ内其ノ適當ト認ムル者ヲシテ供託法第一條ノ規定ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

〔轉一〇〇〕

朝鮮總督府供託局供託物取扱規則

大正十一年三月三十日 朝鮮總督府令第三十四號

改正 昭和一五年第二九二號 朝鮮總督府供託局供託物取扱規則左ノ通定ム

朝鮮總督府供託局供託物取扱規則

第一條 朝鮮總督府供託局ニ於テ爲ス金錢及有價證券ノ供託ニ關スル手續ハ本令ニ依ル

第二條 供託ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ノ供託書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第二號書式ノ供託通知書ヲ添付スヘシ

供託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 供託者ノ氏名住所、官吏公吏其ノ職務上爲ス供託ニ付テハ其ノ官公職氏名及所屬官公署ノ名稱、代理人ニ依ル場合ニ於テハ其ノ代理人ノ氏名住所

二 供託金額、有價證券ニ付テハ其ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及拂込額

三 供託ノ原因タル事實及法令ノ條項

四 供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ表示若之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由

五 反對給付ヲ受クルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物ノ表示其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

第三條 供託官吏供託ヲ受理スヘキモノト認ムルトキハ大正十一年大藏省

一七三三

令第六號預金部預金取扱規程第四條ノ規定ニ依ル預金部預金拂込書又ハ同年大藏省令第九號供託有價證券取扱規程第二條ノ規定ニ依ル供託有價證券寄託書ヲ作成シ且供託書ニ供託受理ノ旨ヲ記載シテ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ拂込書又ハ寄託書ト共ニ供託者ニ交付シ供託物ヲ日本銀行ニ納付セシムヘシ

供託官吏日本銀行ヨリ大正十一年大藏省令第十號日本銀行國庫金取扱規程第五十二條ノ規定ニ依ル預金部預金領收證書又ハ同年大藏省令第十一號日本銀行政府有價證券取扱規程第十七條ノ規定ニ依ル供託有價證券受託證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ前條第一項ノ供託通知書ヲ債權者ニ發送スヘシ

第四條 供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ代供託又ハ附屬供託ヲ請求セムトスル者ハ第三號書式ノ代供託請求書又ハ附屬供託請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ前條第一項ノ拂込書及大正十一年大藏省令第九號供託有價證券取扱規程第三條ノ規定ニ依ル供託有價證券拂渡請求書又ハ同令第四條ノ規定ニ依ル供託有價證券利札請求書ヲ作成シ且代供託請求書又ハ附屬供託請求書ニ請求受理ノ旨ヲ記載シテ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ拂込書及拂渡請求書又ハ利札請求書ト共ニ請求者ニ交付シ之ヲ日本銀行ニ提出セシムヘシ

第五條 供託物ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ノ供託物還付請求書(供託物カ有價證券ナルトキハ請求書ニ通)ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ提出スヘシ

一 供託物受入ノ記載アル供託書

二 辨濟供託ニ在リテハ供託通知書

三 法令ニ依リテ定マリタル者ハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類

四 裁判ニ依リテ定マリタルトキハ執行力アル裁判ノ正本又ハ裁判所ノ命令書

五 反對給付ヲ爲スヘキトキハ供託法第十條ノ規定ニ依ル證明書類

第六條 供託物ノ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五號書式ノ供託物取戻請求書(供託物カ有價證券ナルトキハ請求書ニ通)ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ提出スヘシ

一 供託物受入ノ記載アル供託書

二 債權者カ供託ヲ受諾セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シタル債權者ノ書面又ハ供託ヲ有効ト宣告シタル確定判決ナキコトヲ證スル書面

三 民法第四百九十六條第二項ノ場合ニ該當セサルコトヲ證スル書面

四 供託ノ原因消滅シ又ハ供託カ錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル裁判ノ正本其ノ他ノ書面

第七條 供託ヲ爲シタル供託局ノ預金取扱店タル日本銀行所在地外ノ日本銀行ニ於テ供託金ノ還付ヲ受ケ又ハ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五條又ハ前條ノ請求書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八條 供託官吏供託金ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出しテ供託書ト引換ニ請求者ニ之ヲ交付スヘシ但シ内渡ノ場合ニ於テハ供託書ニ其ノ額ヲ記載シ之ヲ請求者ニ返還スヘシ

供託金ノ還付又ハ取戻ニ付前條ノ請求アリタルトキハ供託官吏ハ大正十

〔輯一〇〇七〕

〔輯一〇〇七〕

一年大藏省令第六號預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲シ第六號書式ノ供託金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ日本銀行ヨリ供託金ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第九條 供託官吏供託有價證券ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託物還付請求書又ハ供託物取戻請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ有價證券ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第十條 請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託局ノ承諾ヲ得タル保證人二人以上ノ連署ヲ以テ供託物ノ還付又ハ下戻ニ因リ供託局ニ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任スヘキ旨ヲ記載シタル書面又ハ利害關係人ノ承諾書ヲ以テ其ノ書類ニ代フルコトヲ得第十一條 配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ官廳又ハ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受ケヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受ケヘキ者カ供託物拂渡請求書ニ前項ノ證明書ヲ添附シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利札請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ 供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシム

第十三條 供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人ト異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ 保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ者ニ拂渡スヘシ

第十四條 前條第一項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ供託金利息請求書ニ通、同條第二項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十一號書式ノ供託金利息請求書ニ通テ供託局ニ提出スヘシ

供託書(金錢ト有價證券トハ各別ニ作成スルコト)

住所

供託者 何 某

(第三者ニ於テ供託スルトキハ) 供託者第三者ト記入スルコト)

一金何圖也 又ハ

附則 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(用紙日本標準規格B列四番ノモノトキハ契印スルコト)

一何何公債證書額面何圓也(尙全額拂込未済ノモノハ其ノ拂込額ヲ記載スルコト)

但シ何年何月又ハ何期渡以降利札附 何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ 一何會社株券額面何圓也 同上

又ハ 一何何 同上

供託ノ原因タル事實

供託スヘキ法令ノ條項

供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定又ハ之ヲ確知シ得サル事由

反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託ス

年月日

右

何

某團

供託局宛

受理書式

供託番號第 號

右日本銀行ニ於ケル供託局口座ニ拂込ムヘシ

年月日

何供託局長 何

某團

受入書式
右受入ヲ證ス

年月日

日本銀行團

受領書式

前書金額ノ小切手(拂渡認可ノ奥書アル前書有價證券拂渡請求書)受領候也

年月日

住所

受取人 何

某團

供託局宛

内渡書式

内

一金何圓也

右内渡ヲ了ス

年月日

何供託局長 何

某團

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

(日本)

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

又ハ

一何何

同上

(種類多数ナルトキハ別ニ内證書ヲ添附スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別紙内證書ノ通ト記入シ内證書ト契印スルコト)

右内渡ヲ證ス

年月日

日本銀行團

第二號書式

供託通知書

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

又ハ

一何何

同上

右ハ何何ノ事由ニ因リ何供託局ニ供託致候間御受領相成度此段及通知候也

年月日

住所

何

某團

第三號書式

何 某殿

代供託請求書又ハ附屬供託請求書(代供託物ト附屬供託物ト)

供託番號第 號

一金何圓也

何何公債證書(何會社株券)何圓何年何月(何期)渡利息(配當金)(何年何月償還金)

前書ノ金額代供託(附屬供託)トシテ御受入相成度(別紙委任狀相添)及請求候也

年月日

住所

何

某團

供託局宛

受領書式

供託番號第 號

右受入手續ヲ爲スヘキモノトス

年月日

何供託局長 何

某團

受入書式

右受入ヲ證ス

年月日

何供託局長 何

某團

受入書式

右受入ヲ證ス

年月日

受領書式
前書金額ノ小切手受領候也
年月日

住所

何

某團

供託局宛

内渡書式

一金何圓也

右内渡ヲ了ス
年月日

何供託局長 何

某團

第四號書式

供託物還付請求書(供託書一通毎ニ)
作成スルコト

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

同上

又ハ
一何何
前書ノ金額(有價證券)何何ノ事由ニ因リ還付相成度別紙供託書及證明書類相添及請求候也
年月日

同上

住所

受取人 何

某團

供託局宛

認可書式

右還付ヲ認可ス
年月日

何供託局長 何

某團

第五號書式

供託物取戻請求書(供託書一通毎ニ)
作成スルコト

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

同上

同上

〔日本〕

前書ノ金額(有價證券)何何ノ事由ニ因リ下戻相成度別紙供託書及證明書類相添及請求候也
年月日

住所

供託者 何

某團

供託局宛

認可書式

右取戻ヲ認可ス
年月日

何供託局長 何

某團

第六號書式

供託金支拂通知書

住所

受取人 何

某

供託番號第 號

一金何圓也

右者ニ對シ前記ノ金額拂渡相成度候也
年月日

何供託局長 何

某團

日本銀行(支拂店)宛

受領書式

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

右受領候也
年月日

住所

何

某團

日本銀行(支拂店)宛

第七號書式

支拂委託書(供託書一通毎ニ)
作成スルコト

供託番號第 號

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

又ハ

一何會社株券額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

同上

同上

一何何

内

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

同上

同上

一何何

同上

〔日本〕

住所

受取人 何

某

一金何圓也

又ハ

一何何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

一何何

同上

受取人 何

某

右ハ何何ノ事由ニ因リ内譯ノ通分割拂渡スコトヲ要スルニ付別紙供託書相添及請求候也

年月日

官廳名 何

官氏

名 何

住所

供託者 何

某

第八號書式 供託局宛 證明書

住所

受取人 何

某

供託番號第 號

一金何圓也

一何何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何會社株券額面何圓也

同上

一何何

同上

右者前記ノ金額(有價證券)ノ拂渡ヲ受クヘキモノナルコトヲ證ス

年月日

官廳名 何

官氏

名 何

住所

供託者 何

某

第九號書式 供託有價證券利札請求書

供託番號第 號

何年何月渡

一何何公債證書何圓券附屬利札

何枚

又ハ

〔台本〕

一何何附屬利札
右及請求候也

年月日

何枚

住所

何

某

供託局宛

認可書式

右拂渡ヲ認可ス

年月日

何供託局長 何

某

受領書式

右受領候也

年月日

住所

何

某

第十號書式 日本銀行宛 供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

〔台本〕

住所

受取人 何

某

供託局宛

認可書式

一金何圓也

(金何圓ニ對スル何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)

右拂渡ヲ認可ス

年月日

何供託局長 何

某

受領書式

右受領候也

年月日

住所

受取人 何

某

第十一號書式 日本銀行宛 供託金利息請求書

供託番號第 號

供託金何圓(但シ何年何月何日供託受入済)ニ對スル利息支拂相成度及請求候也

年月日

住所

受取人 何

某國

供託局宛

認可書式

一金何圓也

(金何圓ニ對スル何年何月ヨリ何年何月ニ)

(至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息)

右拂渡ヲ認可ス

年月日

何供託局長 何

某國

受領書式

右受領候也

年月日

住所

受取人 何

某國

日本銀行宛

指定供託所供託物取扱規則

大正元年十二月六日
朝鮮總督府令第三十八號

改正 大正一年第三五號

昭和一年第二九三號

供託物取扱規則左ノ通相定ム

指定供託所供託物取扱規則

- 第一條 朝鮮總督ノ指定シタル供託所ニ供託ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ明示シタル第一號書式ノ供託書ニ通テ作リ之ニ供託物ヲ添ヘ供託所ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第十號書式ノ供託通知書ヲ添附スヘシ
- 一 供託者ノ住所氏名、官吏公吏ノ公務上取扱フ場合ハ其ノ官廳名官氏名又ハ職氏名但シ代人ヲ用フルトキハ本人及代理人ノ住所氏名
- 二 供託物カ金錢ナルトキハ其ノ金額、有價證券ナルトキハ其ノ種類、記號番號、券面額 全額拂込未済ノモノハ券面額ノ枚數、其ノ他ノ物品ナルトキハ其名稱、品質、數量、荷造ノ種類、箇數、記號及其ノ評價格並保管料
- 三 供託ノ原因 係人ノ法律上ノ位置及氏名
- 四 供託スヘキ法令ノ條項
- 五 供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ法律上ノ位置 質權者、抵當權者等特ニ其及住所氏名、官公署ナルトキハ其ノ官公署名稱ヲ記スルコトヲ要ス
- 六 署名、官氏名又ハ職氏名若之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由
- 七 供託物ヲ受取ルヘキ者ヨリ反對給付ヲ受クルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件
- 八 官廳ニ對スル保證又ハ擔保トシテ供託スルトキハ其ノ官廳名、訴訟ニ關シテ供託スルトキハ其ノ件名及裁判所名
- 九 第二條 供託所ニ於テ前條ノ供託ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ要件ノ具備シタルコトヲ認メタル後供託書ノ一通ニ受領ヲ證シ供託者ニ交付スヘシ
- 十 供託所前項ノ手續ヲ終リタルトキハ直ニ前條ノ供託通知書ヲ債權者ニ發

送スヘシ

第三條 供託物ハ郵便ニ依リ寄託スルコトヲ得但シ供託物カ金錢ナルトキハ供託者ノ危險負擔ヲ以テ銀行ノ爲替手形又ハ郵便爲替券等ヲ以テ供託書ト共ニ供託所ニ送付スルコトヲ得

第四條 供託所ニ於テ前條ニ依リ爲替手形又ハ爲替券等ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ現金ニ交換シタル後第二條ニ依リ受領ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 供託物ヲ受取ルヘキ者ニ於テ供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ受取方ヲ請求セムトスルトキハ第二號書式ノ請求書ニ通テ作リ供託所ニ提出スヘシ

第六條 保證金ニ代ヘ利札付有價證券ヲ供託シタル場合ニ於テハ前項ノ手續ニ依ラス第三號書式ノ領收證書ヲ作り利札ノ交付ヲ供託所ニ請求スルコトヲ得

第七條 供託所ニ於テ前條第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ償還金、利息又ハ配當金ヲ受取リ償還金ハ代供託物、利息又ハ配當金ハ附屬供託物トシテ之ヲ保管シ請求書ノ一通ニ其ノ受領ヲ證シ請求者ニ交付スヘシ

第八條 前條第二項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ利札ヲ交付スヘシ

第九條 供託物ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ノ請求書ヲ作り第二條、第六條第一項ノ受領證ヲ添ヘ左ノ書類ト共ニ供託所ニ提出スヘシ但シ全部ノ還付ヲ要スルトキハ其ノ受領證ニ裏書ヲ爲シ一部ノ還付ヲ要スルトキハ第五號書式ノ領收證書ヲ提出スルコトヲ要ス

一 辨濟供託ニ在リテハ其ノ供託通知書

二 法令ニ依リ定マリタル者ニ在リテハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類

第十二輯 財務 第八章 保管及供託

求者ニ返還スヘシ

第十一條 配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ官廳又ハ供託者ハ第六號書式ノ請求書ニ第二條、第六條第一項ノ受領證ヲ添ヘ供託所ニ送付シ第七號書式ノ還付證書ヲ受取人ニ交付スヘシ
受取人前項ノ還付證書ヲ受ケタルトキハ受領證シ供託物ノ還付ヲ請求スヘシ

第十二條 供託所前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ還付證書ト引換ニ供託物ヲ受取人ニ交付スヘシ但シ供託物ノ一部ヲ還付スルモノナルトキハ供託受領證ニ其ノ記入ヲ爲シ請求官廳又ハ供託者ヘ返還スヘシ

第十三條 供託金ノ利息ハ其ノ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ權利アル者ノ請求ニ依リ拂渡ヲ爲スヘシ

第十四條 前條第一項ニ依リ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第八號書式ノ請求書、前條第二項ニ依リ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第九號書式ノ請求書ヲ供託所ニ提出スヘシ

第十五條 供託所前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ利息金額ヲ計算シ受領證ヲシメ其ノ現金ヲ交付スヘシ

附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一號書式 用紙日本標準規格B列四番ノモノ 紙數二枚以上ニ及フトキハ契印スヘシ以下同シ

供託書(金錢、有價證券、物品)
道府(郡)町面洞(里)番戶

供託者 何

(第三者ニ於テ供託ヲ爲ストキハ供託者第三者ト記入スヘシ)

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也(全額拂込未済ノモノハ其拂込額ヲ左側ニ記入スルコトヲ要ス以下同シ)

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但何年何月又ハ何期渡以降利札付(以下同シ)

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也 同 記號番號枚數記載方前ニ同シ

又ハ

一何 同 前ニ同シ

又ハ

一何(金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類、箇數、記號等)

(種類多數ナルトキハ別ニ内譯書ヲ添附スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙内譯書ノ通ト記入シ内譯書ト契印スヘシ)

評價金

保管料

供託ノ原因

供託スヘキ法令ノ條項

供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定又ハ之ヲ確知シ得サル事由

反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件
官廳名又ハ訴訟事件名及裁判所名
右供託ス

年月日

何供託所宛

右 何 某團

(受領書式)

第何號

右受領ス

年月日

(與書ノ式)

前書ノ金額(有價證券又ハ物品)正ニ受領候也

年月日

道府(郡)町面洞(里)番戶

何供託所宛

受取人 何 某團

(内渡書式)

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也

又ハ

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

同 記號番號枚數記載方前ニ同シ

(受領ノ書式)
第何號
右代供託物(附屬供託物)トシテ受領ス

年月日

何 某團

何 某團

何 某團

(奥書ノ式)

前書ノ金額正ニ領收候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

何

某團

年月日
供託所宛

(内渡ノ書式)

表書金額ノ内

一金何圓也

右金額何年月何日内渡済

(受領證ノ餘白ニ記入シ難キトキハ繼紙ヲ爲スヘシ)

供託

所團

第三號書式

利札領收證書

一利札券面額何圓也 何枚

但何年月何日第何號供託受領證ノ何公債證書(何銀行又ハ何會社債

券)額面何圓ニ對スル何年月又ハ何期渡ノ分

右領收候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

供託者 何

某團

年月日

供託所宛

第四號書式

供託物還付請求書(供託受領證一葉毎ニ請求書ヲ作成スルコトヲ要ス)

[台本]

一金何圓也

(一部ノトキハ請求額ノ上部ニ何年月何日第何號供託受領書ノ内ト肩書スヘシ)

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也

同

記號番號枚數記載方前ニ同シ

又ハ

一何

同

前ニ同シ

又ハ

一何(金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類箇數記號等)

(種類多數ナルトキハ別ニ内譯書ヲ添付スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙内譯書ノ通ト記入シ内譯書ト契印スヘシ)

前書ノ金額(有價證券又ハ物品)何ノ事由ニ因リ還付相受度別紙證明書

並供託受領證相添請求候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

受取人(託者) 何

某團

年月日

供託所宛

第五號書式

領收證書(供託受領證一葉毎ニ領收證書ヲ作成スルコトヲ要ス)

何年月何日第何號供託受領證ノ内

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

[台本]

一何

内

同 前ニ同シ

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也

同

記號番號枚數記載方前ニ同シ

又ハ

一何(金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類箇數記號等)

同 前ニ同シ

(種類多數ナルトキハ別ニ内譯書ヲ添付スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙内譯書ノ通ト記入シ内譯書ト契印スヘシ)

道府(郡)町面洞(里)番戸

受取人 何

某

右ハ何事由ニ依リ内譯ノ通還付證書發行候ニ付分割還付ヲ爲スコトヲ要ス依テ別紙供託受領證相添請求候也

官廳名團

年月日

住 所

又ハ

官 氏

名團

住 所

又ハ

住 所

(奥書ノ式)

前書ノ金額正ニ領收候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

何

某團

年月日
供託所宛

(内渡ノ書式)

表書金額ノ内

一金何圓也

右金額何年月何日内渡済

(受領證ノ餘白ニ記入シ難キトキハ繼紙ヲ爲スヘシ)

供託

所團

第三號書式

利札領收證書

一利札券面額何圓也 何枚

但何年月何日第何號供託受領證ノ何公債證書(何銀行又ハ何會社債

券)額面何圓ニ對スル何年月又ハ何期渡ノ分

右領收候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

供託者 何

某團

年月日

供託所宛

第四號書式

供託物還付請求書(供託受領證一葉毎ニ請求書ヲ作成スルコトヲ要ス)

[台本]

一金何圓也

(一部ノトキハ請求額ノ上部ニ何年月何日第何號供託受領書ノ内ト肩書スヘシ)

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也

同

記號番號枚數記載方前ニ同シ

又ハ

一何

同

前ニ同シ

又ハ

一何(金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類箇數記號等)

(種類多數ナルトキハ別ニ内譯書ヲ添付スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙内譯書ノ通ト記入シ内譯書ト契印スヘシ)

前書ノ金額(有價證券又ハ物品)何ノ事由ニ因リ還付相受度別紙證明書

並供託受領證相添請求候也

道府(郡)町面洞(里)番戸

受取人(託者) 何

某團

年月日

供託所宛

第五號書式

領收證書(供託受領證一葉毎ニ領收證書ヲ作成スルコトヲ要ス)

何年月何日第何號供託受領證ノ内

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

[台本]

一何

内

同 前ニ同シ

一金何圓也

又ハ

一何公債證書額面何圓也

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

又ハ

一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也

同

記號番號枚數記載方前ニ同シ

又ハ

一何(金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類箇數記號等)

同 前ニ同シ

(種類多數ナルトキハ別ニ内譯書ヲ添付スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙内譯書ノ通ト記入シ内譯書ト契印スヘシ)

道府(郡)町面洞(里)番戸

受取人 何

某

右ハ何事由ニ依リ内譯ノ通還付證書發行候ニ付分割還付ヲ爲スコトヲ要ス依テ別紙供託受領證相添請求候也

官廳名團

年月日

住 所

又ハ

官 氏

名團

住 所

又ハ

住 所

- 平安南道 鎮南浦 朝鮮銀行鎮南浦支店
- 同 德川 德川金融組合
- 平安北道 江界 株式會社朝鮮殖産銀行江界支店
- 同 定州 定州金融組合
- 同 楚山 楚山金融組合
- 江原道 春川 株式會社朝鮮殖産銀行春川支店
- 同 原州 原州金融組合
- 咸鏡南道 元山 朝鮮銀行元山支店
- 同 惠山 株式會社朝鮮商業銀行惠山支店
- 咸鏡北道 城津 株式會社朝鮮殖産銀行城津支店
- 同 會寧 株式會社朝鮮商業銀行會寧支店
- 同 雄基 株式會社朝鮮殖産銀行雄基支店

附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
附則 (昭和十六年朝鮮總督府令第二百五十八號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
現ニ供託ニ係ル金錢又ハ有價證券ニ關スル供託事務ハ株式會社朝鮮商業銀行及德支店ヲシテ之ヲ取扱ハシム

●大正十一年臺灣總督府令第六十八號 (金錢及有價證券ノ供託ニ關スル手續ハ供託取扱規則ニ依ルノ件)

大正十一年四月一日
臺灣總督府令第六十八號
金錢及有價證券ノ供託ニ關スル手續ハ大正十一年司法省令第二號供託物取扱規則ニ依ル

- 新竹州桃園郡桃園街 株式會社臺灣銀行桃園出張所
 - 新竹州新竹郡新竹街 株式會社臺灣銀行新竹出張所
 - 臺東廳臺東街 株式會社臺灣銀行臺東出張所
 - 花蓮港廳花蓮港街 株式會社臺灣銀行花蓮港出張所
 - 臺中州臺中市臺中 株式會社臺灣銀行臺中支店
 - 臺中州南投郡南投街 株式會社臺灣銀行南投出張所
 - 臺南州臺南市大宮町 株式會社臺灣銀行臺南支店
 - 臺南州嘉義郡嘉義街 株式會社臺灣銀行嘉義支店
 - 高雄州高雄郡高雄街 株式會社臺灣銀行高雄支店
 - 高雄州屏東郡屏東街 株式會社臺灣銀行屏東出張所
 - 高雄州澎湖郡馬公街 株式會社臺灣銀行澎湖島出張所
- 三 供託書式 (書式省略)
四 供託物受取權ノ證明
供託物ノ還付又ハ下戻ヲ受ケムトスルモノハ大正十一年司法省令第二號供託物取扱規則第五條及第六條ノ規定ニ準シ其ノ權利ヲ證スヘシ
五 供託物受拂等報告
前記倉庫營業者又ハ銀行ニ於テ供託物ノ受入又ハ拂渡等ヲ爲シタルトキハ其ノ都度最寄供託局長ヲ經由シ臺灣總督府ニ詳報スヘシ

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十一年臺灣總督府令第七十九號 (金錢及有價證券ニ非サル供託物ヲ保管スヘキ倉庫營業者、銀行並其ノ供託書式等ニ關スル件)

改正 昭和十五年第七〇號
金錢及有價證券ニ非サル供託物ヲ保管スヘキ倉庫營業者、銀行並其ノ供託書式等ニ關スル件左ノ通相定ム
本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正六年府令第六十號及第六十一號ハ之ヲ廢止ス

- 一 倉庫營業者
 - 臺北州臺北市泉町 臺灣倉庫株式會社
 - 臺北州基隆郡基隆街 臺灣倉庫株式會社基隆支店
 - 臺中州臺中市臺中 臺灣倉庫株式會社臺中出張所
 - 臺南州臺南市壽町 臺灣倉庫株式會社臺南出張所
 - 高雄州高雄郡高雄街 臺灣倉庫株式會社高雄支店
- 二 銀行
 - 臺北州臺北市榮町 株式會社臺灣銀行
 - 臺北州淡水郡淡水街 株式會社臺灣銀行淡水出張所
 - 臺北州基隆郡基隆街 株式會社臺灣銀行基隆支店
 - 臺北州宜蘭郡宜蘭街 株式會社臺灣銀行宜蘭出張所

●大正十一年勅令第七十二號 (關東州ニ於ケル供託ニ關スル件)

大正十一年三月三十日
勅令第七十二號
改正 昭和九年第三九五號
關東州ニ於ケル供託ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (總理大臣副署)
關東州ニ於ケル法令ニ依ル供託ニ付テハ供託法ニ依ル但シ供託局ノ事務ハ當分ノ内滿洲國駐劄特命全權大使ノ指定シタル銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシ
供託法中司法大臣ノ職務ハ大使之ヲ行フ

附則
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前爲シタル供託ニ關シ必要ナル事項ハ關東廳令ヲ以テ之ヲ定ム
關東州裁判事務取扱令第一條中「一供託法」ヲ削ル

大正十一年三月三十一日
關東廳令第十四號

關東州ニ於ケル法令ニ依ル供託事務ノ取扱ニ付テハ大正十一年司法省令第四號ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

南洋群島供託物取扱規則

大正十二年六月一日
南洋廳令第十二號

南洋群島供託物取扱規則左ノ通定ム

南洋群島供託物取扱規則

- 第一條 南洋廳供託官廳ニ於テ爲ス金錢及有價證券ノ供託ニ關スル手續ハ本令ニ依ル
- 第二條 供託ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ノ供託書ニ通テ供託物ト共ニ供託官廳ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第二號書式ノ供託通知書ヲ添付スヘシ
- 第三條 供託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 供託者ノ氏名住所、官吏其ノ職務上爲ス供託ニ付テハ其ノ官職氏名及所屬官署ノ名稱、代理人ニ依ル場合ニ於テハ其ノ代理人ノ氏名住所
 - 二 供託金額、有價證券ニ付テハ其ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及拂込額

- 三 供託ノ原因タル事實及法令ノ條項
- 四 供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ表示若ニ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由
- 五 反對給付ヲ受ケルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物ノ表示其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件
- 第三條 供託官吏供託ヲ受理スヘキモノト認ムルトキハ供託書ノ一通ニ受領シテ之ヲ供託者ニ交付スヘシ
- 第四條 供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ代供託又ハ附屬供託ヲ請求セムトスル者ハ第三號書式ノ代供託請求書又ハ附屬供託請求書ニ通テ供託官廳ニ提出スヘシ
- 第五條 供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ其ノ償還金、利息又ハ配當金ヲ受取リ償還金ハ代供託物、利息又ハ配當金ハ附屬供託物トシテ供託官廳ニ之ヲ保管シテ代供託請求書又ハ附屬供託請求書ノ一通ニ受領シテ之ヲ請求者ニ交付スヘシ
- 第六條 供託物ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ノ供託物還付請求書ニ左ニ掲ケル書類ヲ添付シテ之ヲ供託官廳ニ提出スヘシ
 - 一 供託物受入ノ記載アル供託書
 - 二 辨濟供託ニ在リテハ供託通知書
 - 三 法令ニ依リテ定マリタル者ハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類
 - 四 裁判ニ依リテ定マリタルトキハ執行力アル裁判ノ正本又ハ裁判所ノ

〔台本〕

命令書

- 五 反對給付ヲ爲スヘキトキハ供託法第十條ノ規定ニ依ル證明書類
- 第六條 供託物ノ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五號書式ノ供託物取戻請求書ニ左ニ掲ケル書類ヲ添付シテ之ヲ供託官廳ニ提出スヘシ
 - 一 供託物受入ノ記載アル供託書
 - 二 債權者カ供託ヲ受諾セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シタル債權者ノ書面及供託ヲ有效ト宣告シタル確定判決ナキコトヲ證スル書面
 - 三 民法第四百九十六條第二項ノ場合ニ該當セサルコトヲ證スル書面
 - 四 供託ノ原因消滅シ又ハ供託力錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル裁判ノ正本其ノ他ノ書面
- 第七條 供託官吏供託物ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託書ト引換ニ供託物ノ還付又ハ下戻ヲ爲スヘシ但シ内渡ノ場合ニ於テハ供託書ニ其ノ額ヲ記載シテ之ヲ請求者ニ返還スヘシ
- 第八條 請求書力第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託官吏ハ利害關係人ニ對シ供託物ノ還付又ハ下戻ニ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス
- 第九條 供託官吏前項ノ期間經過後ニ非サレハ供託物ノ還付又ハ下戻ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十條 前二項ノ規定ハ請求者カ利害關係人ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ之ヲ適用セス
- 第十一條 配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ供託者ハ第六號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添付シテ之ヲ供託官廳ニ送付シ分割拂渡ヲ受ケヘキ者ニ第七號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

〔台本〕

- 分割拂渡ヲ受ケヘキ者カ前項ノ證明書ヲ提出シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第七條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十條 保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第八號書式ノ供託有價證券利札請求書ヲ供託官廳ニ提出スヘシ
- 第十一條 供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ受領書ヲ徴シテ請求者ニ利札ヲ交付スヘシ
- 第十二條 供託金ノ利息ハ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人ト異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ
- 第十三條 保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託力一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ者ニ拂渡スヘシ
- 第十四條 前條第一項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第九號書式ノ供託金利息請求書、同條第二項ノ利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ供託金利息請求書ヲ供託官廳ニ提出スヘシ
- 第十五條 供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ受領書ヲ徴シテ請求者ニ利息ヲ拂渡スヘシ

本令ハ南洋群島裁判事務取扱令施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス
(書式略ス)

第九章 資本移動 附資金調整

●外國爲替管理法

昭和十六年四月十二日
法律第八十三號

原正明 24 12 28

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル外國爲替管理法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、拓務、大藏、商工大臣副署)

外國爲替管理法

- 第一條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得
 - 一 外國通貨又ハ外國爲替ノ取得又ハ處分
 - 二 通貨若ハ外國通貨ノ輸出若ハ輸入、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出又ハ金貨幣ノ鑄造若ハ毀傷
 - 三 外國ヘノ送金ニシテ前二號ニ包含スル方法ニ依ラザルモノ
 - 四 外國ニ於テ爲シタル委託ニ基キ又ハ外國居住者(法人ノ外國ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム以下同シ)ノ爲ニスル本邦内ニ於テ爲ス支拂又ハ其ノ受領
 - 五 外國ニ於テ爲ス支拂ノ本邦内ニ於ケル委託
 - 六 本邦居住者(法人ノ本邦内ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム)ノ爲ニスル外國ニ於テ爲ス支拂又ハ其ノ受領
 - 七 外國居住者ニ對スル債權ノ取立又ハ取立ノ依頼若ハ引受
 - 八 外國居住者ノ爲ニスル債權ノ取立又ハ取立ノ依頼若ハ引受
 - 九 外國居住者、本邦内ニ居住スル外國人(外國法人ノ本邦内ニ在ル支

【轉一二三】

- 店其ノ他ノ營業所ヲ含ム)又ハ命令ノ定ムル本邦法人ノ本邦内ニ於テ爲ス財產(事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム以下同シ)ノ取得若ハ處分、預ケ金ノ引出又ハ貸出金ノ回收
- 十 前號ニ掲グル者ノ爲又ハ之ヲ相手方トスル本邦内ニ於テ爲ス前號ニ掲グル取引又ハ行爲
- 十一 外國爲替相場ノ取極
- 十二 外國通貨ヲ以テ表示スル證券(財產權ヲ證スル證書及帳簿ヲ含ム以下同シ)、債權又ハ債務ノ取得又ハ處分
- 十三 本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權又ハ債務ノ取得又ハ處分
- 十四 信用狀ノ發行又ハ取得
- 十五 外國居住者ニ信用ヲ與フル行爲
- 十六 證券ノ輸出又ハ輸入
- 十七 價額ノ全部又ハ一部ニ付外國爲替ヲ取組マザル貨物ノ輸出又ハ輸入
- 十八 外國ニ在ル財產ニシテ第一號、第十二號又ハ第十三號ニ掲ゲザルモノノ取得又ハ處分
- 第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外國爲替ニ關スル取引ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲ相手方トスル場合ニ限定スルコトヲ得
- 第三條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル財產ニ關シ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得
- 一 外國通貨又ハ外國爲替

二 外國通貨ヲ以テ表示スル證券若ハ債權又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權

三 外國ニ在ル財産ニシテ前二號ニ掲ゲザルモノ
前項ノ規定ニ依リ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジタル場合ノ賣却價額ハ政府之ヲ定ム

第四條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外國ヘノ送金、外國ヨリノ送金ノ受領其ノ他外國トノ間ニ於ケル債權債務ノ決済又ハ外國ヨリ外國ヘノ送金其ノ他外國間ニ於ケル債權債務ノ決済ニ關シ其ノ方法、條件其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條 政府ハ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ、帳簿書類ノ備付ヲ命ジ、帳簿書類ノ記載方ヲ指定シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

關稅法第八十四條乃至第九十三條ノ規定ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ違反事件ニ付之ヲ準用ス但シ同法ニ定ムル職務ヲ行フ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ施行ニ關スル事務ノ一部ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事務ノ一部ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシメタル場合ニ於テ當該事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ當該事務ニ從事スル日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第七條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ヲ以テ規定スル取引

又ハ行爲ノ禁止又ハ制限ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該取引又ハ行爲ノ目的物ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ當該價額ノ三倍以下トス

第一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シ金貨幣、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スル目的ヲ以テ取得シ若ハ輸出セントシタル者又ハ通貨、外國通貨若ハ證券ヲ輸出若ハ輸入セントシタル者亦前項ニ同ジ

第八條 第三條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依ル外國通貨其ノ他ニ關シ必要ナル事項ヲ爲スベキ旨ノ政府ノ命ニ從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ當該外國通貨其ノ他ノ價額ノ二倍以下ノ罰金ニ處ス

第九條 第四條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依ル政府ノ命ニ從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 第五條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依ル政府ノ命ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ、帳簿書類ノ備付ヲ爲サズ、之ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ、之ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ、之ノ記載方ノ指定ニ從ハズ、業務狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第十一條 本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲ス處分ニ附シタル條件ニ違反シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ第七條乃至前條ノ違反行爲ヲ爲シタル

トキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第七條乃至前條ノ罰金刑ヲ科ス

第十三條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

第十四條 當該官吏、外國爲替管理委員會ノ會長委員幹事若ハ第六條ニ規定スル日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第三條ノ財産ノ賣却價額其ノ他本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付主務大臣ノ諮問ニ應ズル爲外國爲替管理委員會ヲ置ク

外國爲替管理委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年四月二十六日
勅令第六十六號

朕外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
(總理、拓務大臣副署)

外國爲替管理法ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ昭和八年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國爲替管理法施行規則

昭和十六年四月十二日
大藏省令第十號

外國爲替管理法施行規則左ノ通定ム

外國爲替管理法施行規則

第一章 定義

第一條 本令ニ於テ外國爲替トハ本邦ヨリ外國ニ仕向ケ、外國ヨリ本邦ニ仕向ケ又ハ外國ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ信用狀トハ荷爲替信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手、爲替買取指圖書、爲替買取推薦狀、貨物證券引換指圖書其ノ他此等ニ準ズルモノヲ謂フ

第三條 本令ニ於テ證券トハ本邦又ハ外國ノ公債、社債、債券、此等ノモノノ利札、株式、株式拂込證書、預金證書又ハ預金通帳ヲ謂フ

第四條 本令ニ於テ外國證券トハ本邦又ハ外國ノ公債、社債、債券、此等ノモノノ利札、株式又ハ株式拂込證書ニシテ外國通貨ヲ以テ表示スルモノヲ謂フ

登錄シタル公債、社債、債券又ハ株式ニシテ外國通貨ヲ以テ表示スルモノハ之ヲ外貨證券ト看做ス

第五條 本令ニ於テ外貨債權トハ外國通貨ヲ以テ表示スル債權ニシテ外國爲替又ハ外貨證券以外ノモノヲ謂フ

第六條 本令ニ於テ貨物トハ本邦通貨(軍用手票ヲ含ム以下同ジ)、外國通貨、爲替手形、小切手、支拂指圖書、郵便爲替、金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物並ニ證券其ノ他財産權ヲ證券及帳簿以外ノ物ヲ謂フ

第七條 本令ニ於テ財産トハ動産、不動産、債權其ノ他ノ財産權、事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ヲ謂フ

第八條 本令ニ於テ外國居住者トハ外國ニ住所若ハ居所ヲ有スル人、外國ニ本店若ハ主タル事務所ヲ有スル法人又ハ法人ノ外國ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ謂フ

第九條 本令ニ於テ本邦居住者トハ本邦内ニ住所若ハ居所ヲ有スル人、本

邦内ニ本店又ハ主たる事務所ヲ有スル法人又ハ法人ノ本邦内ニ在ル支店
其ノ他ノ營業所ヲ謂フ

第二章 外國爲替、信用狀、送金、金等ニ關スル規定

第十條 商取引上ノ必要其ノ他ノ實需ニ基キコトナク本邦通貨ノ爲替相場
ノ變動又ハ差異ニ因リ利益ヲ得ルコトヲ目的トシテ外國通貨、外國爲替
又ハ外貨債權ノ賣買ヲ爲スコトヲ得ズ

第十一條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ
爲スコトヲ得ズ

- 一 本令施行地内ニ於ケル外國爲替ノ買入
- 二 外國ニ於テ爲シタル委託ニ基キ本令施行地内ニ於テ爲ス支拂
- 三 外國居住者ノ爲ニスル本令施行地内ニ於テ爲ス支拂ニシテ前號ニ包
合セラレザルモノ

前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ買入レタル外國爲替ヲ以テ前項第二
號若ハ第三號ノ支拂ヲ爲ス場合又ハ第四十五條第一項ノ規定ニ依リ許可
ヲ受ケ貸付金、假拂金若ハ立替金ヲ爲ス爲前項第二號若ハ第三號ノ支拂
ヲ爲ス場合ニハ該支拂ニ付大藏大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要セズ

第一項ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附
屬申請書式第一號乃至第三號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行ヲ相手方トスル
場合ハ本令附屬報告書式第一號又ハ第二號ニ依リ其ノ他ノ者ヲ相手方ト
スル場合ハ同第三號又ハ第四號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第十二條 左ニ掲グル場合ハ前條ノ規定ニ拘ラズ外國爲替ノ買入又ハ外國
爲替銀行ニ對スル支拂ヲ爲スニ付大藏大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要セズ

一 本邦ニ於テ發行シタル信用狀ニ基キ振出サレタル爲替ノ支拂ヲ爲シ
又ハ支拂ノ爲爲替ヲ買入ルルトキ

二 本邦内ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ銀行預金ノ利子又ハ金銀信
託ノ利益ヲ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ住所ヲ有スル權利者ニ送ル
爲該地域ニ仕向ケタル爲替ノ買入又ハ該地域ヨリ仕向ケラレタル爲替
ノ支拂ヲ爲ス爲必要ナルトキ

三 前各號ニ該當スル場合ノ外一箇年ヲ通シ二百圓相當額以下ノ金額ヲ
關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ送ル爲必要ナルトキ但シ輸入貨物ノ代
金又ハ旅行者ノ旅費若ハ滞在費ニ充ツル場合ヲ除ク

四 官廳ノ爲ストキ

第十三條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國
爲替ノ賣却ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ヲ相手方トスル場合ハ此
ノ限ニ在ラズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四號
ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行ヲ相手方トスル場合ハ本令附屬
報告書式第五號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第十四條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國
ニ仕向ケタル信用狀ヲ發行又ハ取得スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第五號
又ハ第六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第六號又ハ第七號ニ依リ
大藏大臣ニ報告スベシ

第十五條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國
通貨ノ買入ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第七號
ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行又ハ兩替商ヲ相手方トスル場合
ハ本令附屬報告書式第八號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

外國通貨ヲ取得シタル者ハ本令附屬報告書式第十號ニ依リ大藏大臣ニ報
告スベシ

第十六條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國
通貨ノ賣却ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行又ハ兩替商ヲ相手方トス
ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第八號
ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行又ハ兩替商ヲ相手方トスル場合
ハ本令附屬報告書式第九號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

外國通貨ヲ處分シタル者ハ本令附屬報告書式第十號ニ依リ大藏大臣ニ報
告スベシ

第十七條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本邦通貨又ハ外國通貨ヲ外
國ニ送付又ハ携帶スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 第十五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ買入レタル外國通貨ヲ送付又ハ携
帶スルトキ

二 官廳ノ爲ストキ

前項ノ本邦通貨又ハ外國通貨ニハ金貨幣又ハ外國金貨ヲ含マズ

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第九
號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

本邦通貨又ハ外國通貨ヲ外國ニ送付シタル者ハ本令附屬報告書式第十五
號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第十八條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本邦通貨ヲ輸入スルコトヲ
得ズ但シ官廳ノ輸入スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十號
ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

本邦通貨又ハ外國通貨ヲ輸入スル者ハ本令附屬報告書式第十一號ニ依リ
大藏大臣ニ報告スベシ

第十九條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國
居住者トノ間ニ有スル交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヘノ貸記ヲ爲スコ
トヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 貸記ノ原因ト爲ルベキ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルト
キ

二 關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヲ爲ス
トキ

三 中華民國居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ニシテ一箇月ヲ通シ貸
記額五千圓相當額以下ナルトキ

四 第三國(關東州、滿洲國及中華民國以外ノ外國ヲ謂フ以下同シ)居住
者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ニシテ一箇月ヲ通シ貸記額千圓相當額
以下ナルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十一

號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

本令施行地内ニ於テ外國居住者ト交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヲ有スル者ハ本令附屬報告書式第十二號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第二十條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國ヘノ送金ニ代フル目的ヲ以テ外國ニ於テ爲ス支拂ノ委託(外國爲替ニ依ルモノヲ除ク)ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十二號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第二十一條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ金貨幣、金地金(外國金貨ヲ含ム)、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スルコトヲ得ズ

金貨幣ハ之ヲ鑄造又ハ毀傷スルコトヲ得ズ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケ鑄造スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項又ハ前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十三號乃至第十五號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項又ハ第二項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十三號又ハ第十四號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第二十二條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ第十一條、第十七條、第十九條、第二十條又ハ前條ニ規定スル以外ノ方法ニ依ル外國ヘノ送金ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六

號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第二十三條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ左ニ掲グルモノノ取立ノ依頼又ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ第三十四條第一項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國爲替銀行以外ノ者ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 外國ニ於テ支拂ハルル手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替

二 外國ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ債券ノ償還金若ハ利息又ハ株式配當金

三 外國ニ於テ支拂ハルル銀行預金ノ元金若ハ利息又ハ金錢信託ノ元本若ハ利益

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十七號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

外國爲替銀行ニ對シ第一項ノ取立ヲ依頼シタル者ハ本令附屬報告書式第十六號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第二十四條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國居住者ノ爲ニ左ニ掲グルモノノ取立ノ依頼又ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本邦内ニ於テ支拂ハルル手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替

二 本邦内ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ債券ノ償還金若ハ利息又ハ株式配當金

三 本邦内ニ於テ支拂ハルル銀行預金ノ元金若ハ利息又ハ金錢信託ノ元本若ハ利益

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十八號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ取立ヲ引受ケタル者ハ本令附屬報告書式第十七號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第三章 旅費ニ關スル規定

第二十五條 關東州又ハ滿洲國ニ旅行セントスル者ハ第十一條、第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲金額通シテ五百圓以下ノ本邦通貨又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル送金爲替若ハ信用狀ヲ携帶又ハ取得スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十六條 中華民國ニ旅行セントスル者ハ第十一條、第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲金額通シテ五百圓以下ノ本邦通貨又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル送金爲替若ハ信用狀ヲ携帶又ハ取得スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ但シ許可ヲ受クルコトヲ要セズシテ携帶シ得ル本邦通貨ハ二百圓以下トス

第二十七條 第三國ニ旅行セントスル者ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲二百圓相當額以下ノ本邦通貨又ハ外國通貨ヲ携帶スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ要セズシテ外國ニ携帶シ得ル外國通貨ノ買入ヲ必要トスル者ハ第十五條ノ規定ニ拘ラズ其ノ買入ヲ爲スニ付大藏大臣ノ

許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十八條 官廳ヨリ支給ヲ受ケタル旅費其ノ他ノ給與ヲ携帶又ハ送付スル爲必要ナル場合ニハ第十四條ノ規定ニ拘ラズ信用狀ヲ取得スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十九條 外國ニ旅行セントスル者本邦通貨、外國通貨、送金爲替又ハ信用狀ヲ外國ニ携帶スルトキハ本令附屬報告書式第十八號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第三十條 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ本令施行地内ヘノ旅行者ハ第十八條ノ規定ニ拘ラズ金額二百圓以下ノ本邦通貨ヲ携帶輸入スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第三十一條 第二十五條乃至第二十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ要セズシテ携帶輸出又ハ輸入シ得ル本邦通貨ニハ券面金額百圓以上ノ銀行券ヲ含マズ

第四章 證券ニ關スル規定

第三十二條 大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外貨證券ヲ有價ニテ取得スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 昭和七年七月一日ニ本邦内ニ在リタル外貨證券又ハ昭和七年大藏省令第十二號第三條若ハ昭和八年大藏省令第七號第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ若ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

二 第三十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

三 外國人ガ外國ニ於テ有スル資金ヲ以テ外貨證券ヲ取得スルトキ

四 朝鮮、臺灣若ハ樺太ニ於テ資本逃避防止法若ハ外國爲替管理法ニ基ク命令ノ規定ニ依リ又ハ南洋群島ニ於テ昭和十六年勅令第十號ニ基ク命令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

五 取得スベキ外貨證券ノ代金ヲ送金シ又ハ之ガ支拂ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十三條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國ニ在ル外貨證券ヲ處分スルコトヲ得ズ但シ第三十五條第一項ノ規定ニ依リ支拂期日到来後ニ賣却スル場合又ハ賣却ノ目的ヲ以テ第三十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ輸出シタル外貨證券ヲ賣却スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ外國人ニ之ヲ適用セズ

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十四條 本邦内ニ在ル外貨證券ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月内ニ本邦内ニ於テ之ヲ賣却シ若ハ外國爲替銀行ニ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ本邦内ニ於テ之ガ支拂ヲ受ケベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十五條 外國ニ在ル外貨證券又ハ外國ニ於テ支拂ヲ受ケル外貨證券ノ利金若ハ配當金ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月内ニ

之ガ支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ賣却スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

外國ニ在ル外貨證券ヲ賣却シ若ハ之ガ支拂ヲ受ケ又ハ外貨證券ノ利金若ハ配當金ヲ外國ニ於テ支拂ヲ受ケ若ハ之ヲ受取ル權利ヲ讓渡シタルトキハ其ノ代り金ハ其ノ外貨證券又ハ外貨證券ノ利金若ハ配當金ニ付外國ニ於テ要シタル費用トシテ支拂ヒタルモノヲ除キ二箇月内ニ賣却シタル地、支拂ヲ受ケタル地又ハ權利ヲ讓渡シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項但書又ハ前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號又ハ第二十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十六條 外貨證券ヲ取得又ハ處分シタル者ハ本令附屬報告書式第十九號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第三十七條 證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ主タル業トスル者ハ外貨證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ニ付本令附屬報告書式第二十號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第三十八條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ證券ヲ輸出又ハ輸入スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本邦内ニ支拂地ヲ有スル證券ノ支拂ヲ受ケル爲支拂期日前三箇月内又ハ支拂期日以後ニ輸入スルトキ

二 株主、取締役、公債所有者又ハ社債債権者ガ内外ノ法令ノ規定ニ基キ義務トシテ提出スベキ株式、公債又ハ社債ヲ當該會社、官公署又ハ其ノ財務代理人ニ送付スル爲輸出又ハ輸入スルトキ

〔輯一〇一七〕

〔輯一〇一七〕

三 前號ニ掲グル株式、公債又ハ社債ノ提出ニ伴ヒ當該會社、官公署又ハ其ノ財務代理人ヨリ株式、公債又ハ社債ヲ返付又ハ交付スル爲輸出又ハ輸入スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十三號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

證券ヲ輸出又ハ輸入シタル者ハ本令附屬報告書式第二十一號又ハ第二十二號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第三十九條 價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ證券ヲ輸出シタル者又ハ價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ證券ヲ輸出シタル後其ノ取組ミタル爲替ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル者其ノ他該證券ノ代金ヲ外國ヨリ受領スベキ者ハ該證券ノ仕向地ニ到着後又ハ爲替ノ償還若ハ買戻後三箇月内ニ仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十四號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル者ハ輸出證券代金ノ回收状況等ニ付本令附屬報告書式第二十三號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第四十條 第三十八條又ハ昭和八年大藏省令第七號第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ニシテ報告ヲ爲シタルモノニ付テハ所有者其ノ他ノ利害關係人ハ最寄日本銀行(本店及各支店ヲ謂フ以下同シ)ニ證券ヲ呈示シ本令附屬報告書式第一號ニ依ルスタンブノ押捺ヲ受ケルコトヲ得但シ大藏大臣ガスタンブノ押捺ヲ受ケルコト

第十二輯 財務 第九章 資本移動

一七六三

ヲ得ザル旨ヲ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 大藏大臣ハ必要アルトキハ日本銀行ヲシテ前條ノ規定ニ該當セザル外貨證券ニ付本令附屬報告書式第一號ニ依ルスタンブヲ押捺セシムルコトヲ得

第五章 外貨債權債務、對外債權債務、信用供與ニ關スル規定

第四十二條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外貨債權ヲ讓受ケタル者ハ本令附屬報告書式第二十四號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第四十三條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ何人ノ計算ニ於テスルヲ問ハズ外國通貨ヲ以テ表示スル債權又ハ債務ヲ取得スベキ預金又ハ消費貸借ノ契約ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第四十四條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本邦内ニ在ル財産ヲ擔保トシテ外國居住者ヨリノ借入金ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

二 借入金ノ借入及返済ガ本邦内ニ於テ本邦通貨ヲ以テ爲サルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十七號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第四十五條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國居住者ニ對シ又ハ外國居住者ノ爲ニ貸付金、假拂金又ハ立替金ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 關東州、滿洲國若ハ中華民國ニ居住スル者ニ對シ又ハ此等ノ者ノ爲ニ一箇年ヲ通シ一萬圓相當額以下ノ貸付金、假拂金又ハ立替金ヲ爲スコトキ

二 第四十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ爲シタル消費貸借ノ契約ニ基キ貸付金ヲ爲スコトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十八號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第四十六條 左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第二十五號乃至第三十三號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

一 本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權ノ讓受

二 外國通貨ヲ以テ表示スル預ケ金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヘノ預ケ金ノ預入又ハ引出

三 外國通貨ヲ以テ表示スル貸付金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヘノ貸付金ノ貸付又ハ回收

四 外國通貨ヲ以テ表示スル預リ金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヨリノ預リ金ノ受入又ハ拂戻

五 外國通貨ヲ以テ表示スル借入金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヨリノ借入金ノ借入又ハ返済

第四十七條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國通貨ヲ以テ表示スル債權又ハ債務ヲ取得スベキ信託又ハ保險(再保險

ラズ

一 一箇年ヲ通シ價額二萬圓相當額以下ノ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ在ル財産ヲ取得スルトキ

二 一箇年ヲ通シ價額一萬圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財産ヲ取得スルトキ

三 財産ヲ取得スルニ必要ナル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

四 債權、漁業權又ハ工業所有權ノ設定ヲ受ケルトキ

五 相換又ハ遺贈ニ因リ取得スルトキ

六 官廳ノ取得スルトキ

前項ノ規定ハ外國人ガ無價ニテ又ハ外國ニ在ル財産ヲ以テ前項ニ掲グル財産ヲ取得スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第五十一條 第三國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ其ノ事業又ハ營業ニ關シ各事業年度又ハ毎年一月ヨリ十二月迄ノ期間ニ於ケル收支豫算及事業計畫ヲ本令附屬報告書式第三十七號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第五十二條 外國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ其ノ事業又ハ營業ニ關シ各事業年度又ハ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間ニ於ケル外國ニ於テ生シタル收入支出及本邦トノ間ノ送金其ノ他資金移動ノ狀況並ニ各期末ニ於テ外國ニ有スル資産負債ノ内容ニ付本令附屬報告書式第三十八號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第五十三條 外國ニ於テ本邦系外國子會社(本邦法人又ハ本邦人ガ資本金

及海上保險ヲ除ク)ノ契約ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ爲ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第三十四號又ハ第三十五號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第四十八條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國通貨ヲ以テ表示スル地方債、社債又ハ株式ヲ發行スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

外國通貨ヲ以テ表示スル地方債又ハ社債ヲ發行又ハ償還シタル者ハ本令附屬報告書式第三十六號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第四十九條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國居住者ノ債務ニ付擔保ヲ供シ又ハ保證ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第三十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國ニ在ル外貨證券ヲ擔保ニ供スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ外國人ガ外國ニ在ル財産ヲ擔保ニ供スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十一號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第六章 在外財産ニ關スル規定

第五十條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國ニ在ル不動産、債權、漁業權、森林伐採權、工業所有權、事業、營業、事業若ハ營業ニ對スル出資又ハ外國ノ國籍ヲ有スル船舶(外國ニ在ル日本ノ國籍ヲ有セザル船舶ヲ含ム)ヲ取得スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在

ノ二分ノ一以上ヲ占メ若ハ其ノ他ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スル外國法人又ハ之ニ準ズルモノヲ謂フ以下同シ)ヲ有スル者ハ之ニ付本令附屬報告書式第三十九號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第五十四條 外國ニ財産(外貨證券、預ケ金及貸付金ヲ除ク)ヲ有スル者ハ其ノ財産ニ關シ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間ニ於ケル増減ノ内容及各期末ニ於ケル現在高ニ付本令附屬報告書式第四十號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ官廳又ハ外國ニ於テ事業若ハ營業ヲ爲ス者ニ之ヲ適用セズ

第五十五條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ第三國ヨリ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ貨物ヲ輸入シ又ハ資金ヲ移ス爲第三國ニ在ル財産ヲ處分スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本令ノ規定ニ依リ第三國ヨリ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ貨物ヲ輸入スル爲許可ヲ受ケ本邦ヨリ送金シタル資金ヲ處分スルトキ

二 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ輸出シタル貨物ノ代金其ノ他關東州、滿洲國又ハ中華民國ト第三國トノ間ノ取引ヨリ生シタル財産ヲ處分スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十三號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ同項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第四十一號ニ依リ大蔵大臣ニ報告スベシ

第五十六條 大蔵大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

- 一 本邦居住者ニ對スル外國ニ在ル資金ノ貸付
 - 二 外國ニ在ル資金ヲ以テ爲ス本邦内ニ在ル財産ノ賣却代金ノ受領
 - 三 外國ニ在ル資金ヲ以テ爲ス本邦内ニ在ル財産ノ買入代金ノ支拂
 - 四 外國ニ在ル財産ノ賣却ニシテ其ノ代金ヲ本邦内ニ在ル資金ヲ以テ受領スルセシ
 - 五 外國ニ在ル財産ノ買入ニシテ其ノ代金ヲ本邦内ニ在ル資金ヲ以テ支拂フモノ
 - 六 外國ニ在ル財産ト本邦内ニ在ル財産トノ交換
- 前項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ
- 一 外國爲替銀行ガ業務トシテ爲ストキ
 - 二 前號ニ掲グル取引又ハ行爲ノ相手方トシテ爲ストキ
 - 三 本令ノ他ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國ニ在ル財産ヲ取得又ハ處分スルトキ
 - 四 本令ノ規定ニ依リ取引又ハ行爲ノ相手方ガ許可ヲ受ケ外國ニ在ル財産ヲ取得又ハ處分スルトキ
 - 五 官廳ノ爲ストキ
- 第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十四號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第五十七條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國ニ在ル財産ヲ無償ニテ又ハ不當ニ低廉ナル價格ニテ處分スルトコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 營業上必要ナル寄贈ヲ爲ス爲又ハ公共團體、慈善團體其ノ他之ニ準ズルモノニ寄贈スル爲一箇年ヲ通シ二萬圓相當額以下ノ關東州、滿洲

- 國又ハ中華民國ニ在ル財産ヲ處分スルトキ
 - 二 營業上必要ナル寄贈ヲ爲ス爲又ハ公共團體、慈善團體其ノ他之ニ準ズルモノニ寄贈スル爲一箇年ヲ通シ五千圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財産ヲ處分スルトキ
 - 三 本令ノ他ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ處分スルトキ
 - 四 官廳ノ爲ストキ
- 前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十五號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第五十八條 外國ニ在ル不動産、礦業權、漁業權、森林伐採權、工業所有權、船舶、事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資(株式ヲ除ク)ヲ賣却又ハ讓渡シタル者ハ其ノ代り金ヨリ該賣却又ハ讓渡ニ付外國ニ於テ要シタル費用トシテ支拂ヒタルモノヲ除キ該賣却又ハ讓渡後二箇月内ニ賣却又ハ讓渡シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 大藏大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ
 - 二 一箇年ヲ通シ五千圓相當額以下ノ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ在ル財産ヲ賣却又ハ讓渡シタルトキ
 - 三 一箇年ヲ通シ千圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財産ヲ賣却又ハ讓渡シタルトキ
 - 四 外國人ガ外國ニ在ル財産ヲ處分シタルトキ
 - 五 官廳ノ爲シタルトキ
- 前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第一項ニ掲グル者ハ賣却又ハ讓渡代り金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告

- 書式第四十二號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ
- 第五十九條 本令ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ外國ニ送金シタル者該資金ヲ其ノ目的ニ使用セザルニ至リタルトキハ遲滞ナク送金仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十七號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第一項ニ掲グル者ハ資金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十三號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ
- 第六十條 第三國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ該事業又ハ營業ニ因リ生シタル利益金ヲ之ガ確定後三箇月内ニ該利益金ヲ生シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十八號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第一項ニ掲グル者ハ利益金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十四號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ
- 第六十一條 外國ニ於テ締結シタル第三國通貨ヲ以テ表示スル保險契約ニ基キ保險業者ノ取得スル保險料ハ第三國通貨ニ依リ之ヲ受領スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 大藏大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ
 - 二 保險料ヲ受領シタル通貨ニ依リ保險金ノ支拂ヲ爲スベキ契約アルト

- 前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 前二項ノ規定ハ保險業者ガ本邦内ニ於テ締結シタル第三國通貨ヲ以テ表示スル船舶保險契約又ハ外國ト外國トノ間ノ輸送貨物ニ關スル積荷保險契約ニ基キ保險料ヲ取得スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第六十二條 外國ト外國トノ間ノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因リ海運業者ノ取得スル運費ハ第三國通貨ニ依リ之ヲ受領スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 大藏大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ
 - 二 關東州、滿洲國、中華民國相互間ノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因リ運費ヲ該地域ノ通貨ニ依リ受領スルトキ
 - 三 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ第三國ヘノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因リ運費ヲ該地域ノ通貨ニ依リ受領スルトキ
- 前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
- 第七章 貨物ノ輸出入ニ關スル規定
- 第六十三條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ價額ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ノ輸出ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 見本トシテ輸出スルトキ
 - 二 慰問又ハ救恤ノ爲ノ寄贈品ヲ輸出スルトキ
 - 三 五十圓相當額以下ノ物ヲ輸出スルトキ

四 手荷物、引越荷物又ハ船用品(漁業用品ヲ含ム以下同シ)ヲ輸出スルトキ

五 官廳ノ輸出スルトキ

外國ヨリ仕向ケラレタル信用狀ニ基キ本邦内ノ銀行ニ宛テタル爲替手形ヲ振出シ之ヲ賣却シタルトキ又ハ本邦内ノ銀行ニ船積書類等ヲ提供シ代金ヲ受領シタルトキハ本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミタルモノト看做ス

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十一號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第六十四條 價額ノ全部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ヲ輸出スル者ハ本令附屬報告書式第四十五號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ但シ左ニ掲グル物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 慰問又ハ救恤ノ爲ノ寄贈品

二 十圓相當額以下ノ物

三 手荷物、引越荷物又ハ船用品

四 官廳ノ輸出スル物

第六十五條 價額ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出スル者ハ其ノ爲替取組ニ關シ本令附屬報告書式第四十六號又ハ第四十七號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ但シ前條各號ニ掲グル物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ報告ヲ爲シタル者其ノ後爲替取組金額ヲ變更セザリシトキハ本令附屬報告書式第四十六號又ハ第四十七號ニ依リ爲替取組先銀行ノ證明ヲ附シ大藏大臣ニ報告スベシ

第六十六條 前條第一項ノ報告ヲ爲シタル者其ノ後爲替ヲ取組マズ又ハ爲替取組金額ヲ變更シタルトキハ本令附屬報告書式第四十五號乃至第四十七號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ但シ爲替取組金額ヲ變更シタル場合ニハ爲替取組先銀行ノ證明ヲ附スルコトヲ要ス

價額ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出シタル者其ノ取組ミタル爲替ノ全部又ハ一部ニ付償還又ハ買戻ヲ爲シタルトキハ本令附屬報告書式第四十五號又ハ第四十七號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第六十七條 價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ヲ輸出シタル者又ハ價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出シタル後其ノ取組ミタル爲替ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル者其ノ他該貨物ノ代金(増量金、値増金其ノ他之ニ準ズルモノヲ含ム)ヲ外國ヨリ受領スベキ者ハ該貨物ノ仕向地ニ到者後又ハ爲替ノ償還若ハ買戻後三箇月内ニ仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十二號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル者ハ輸出貨物代金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十八號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第六十八條 關東州又ハ滿洲國ヨリ貨物ヲ輸入スル者ハ第十一條ノ規定ニ拘ラズ其ノ代金ノ決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通シ百圓相當額以下ノ外國爲替ノ買入ヲ爲シ又ハ關東州若ハ滿洲國ヨリ本邦ニ仕向ケタル爲替ノ支拂ヲ爲スニ付大藏大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要セズ

關東州又ハ滿洲國ヨリ貨物ヲ輸入スル者ハ第十四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ

〔輯一三二〕

〔輯一三三〕

代金ノ決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通シ百圓相當額以下ノ關東州又ハ滿洲國ニ仕向ケタル信用狀ヲ取得スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要セズ

第六十九條 大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ價額ノ全部又ハ一部ニ付外國ヨリ本邦ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズル貨物ノ輸入ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 見本若ハ寄贈品トシテ又ハ博覽會ニ出品スル爲輸入スルトキ

二 修繕ノ爲輸入スルトキ

三 本邦ヨリ出漁セル船舶ガ出漁ニ際シ携帯シタル用品又ハ漁獲物ヲ該船舶ニ依リ輸入スルトキ

四 手荷物又ハ引越荷物ヲ輸入スルトキ

五 本令ノ規定ニ依リ代金ノ決済ノ爲必要ナル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケタル貨物ヲ輸入スルトキ

六 前各號ニ該當スル場合ノ外國關東州又ハ滿洲國ヨリ一箇月ヲ通シ百圓相當額以下ノ貨物ヲ輸入スルトキ

七 官廳ノ輸入スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十三號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十條 本邦ヘノ輸入貨物代金ノ決済ノ爲必要ナル取引又ハ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ該貨物ノ輸入前ニ其ノ許可ヲ受ケベシ但シ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七十一條 第三國ヨリ貨物ヲ輸入シタル者該貨物ニ付缺斤料、値引金其ノ他之ニ準ズル債權ヲ取得シタルトキハ該債權ノ取得後三箇月内ニ第三

國ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十四號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

前二項ノ規定ハ第三國ヘ貨物ヲ輸出シタル者該貨物ニ付手数料、立替金其ノ他之ニ準ズル債權ヲ取得シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一項又ハ前項ニ掲グル者ハ債權ノ取得及回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十九號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第八章 外國爲替銀行、兩替商等ニ關スル規定

第七十二條 既存又ハ新設ノ店舗ニ於テ外國爲替業務ヲ營ムトスル銀行

ハ大藏大臣ノ許可ヲ受ケベシ

昭和十一年十一月三十日迄ニ外國爲替業務ヲ營ム旨ノ届出ヲ爲シタル銀行又ハ昭和八年大藏省令第七號第十七條第一項若ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル銀行ヲ外國爲替銀行ト謂ヒ其ノ外國爲替業務ヲ營ム店舗ハ大藏大臣之ヲ告示ス

外國爲替銀行其ノ全部若ハ一部ノ店舗ニ於ケル外國爲替業務ヲ廢止セン

トスルトキ又ハ其ノ外國爲替業務ヲ營ム店舗ノ名稱若ハ位置ヲ變更セン

トスルトキハ大藏大臣ニ届出ツベシ此ノ場合大藏大臣ハ之ヲ告示ス

第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十五號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十三條 外國爲替銀行ハ第十三條第一項但書ノ規定ニ拘ラズ大藏大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ本令施行地内ニ於テハ外國爲替銀行(外國ニ在ル自行ノ他ノ店舗ヲ含ム)ニ對シ外國爲替ヲ賣却スルコトヲ得ズ

ズシテ昭和十六年六月一日以後爲シタル取引又ハ行爲ニ關シ日本語ヲ以テ記載シタル帳簿ヲ備付クベシ但シ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 外國爲替銀行

二 兩替商

三 保險業者

四 證券業者

五 海運業者

六 外國貿易業者

七 前各號ニ該當スル者ノ外外國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者

前項ノ規定ハ外國ニ在ル店舗ニ備付クル帳簿ニハ之ヲ適用セズ

第九十四條 大藏大臣ハ必要アルトキハ事項及人ヲ指定シテ本令ニ定ムル取引又ハ行爲ノ制限ヲ免除スルコトヲ得

第九十五條 大藏大臣ハ必要アルトキハ外國爲替管理法ノ施行ニ關スル事務ノ一部ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ外國爲替管理法ノ施行ニ關スル事務ノ一部ヲ取扱ハシムル場合ニハ大藏大臣必要アルトキハ之ヲ告示ス其ノ廢止又ハ變更ヲ爲ス場合亦同シ

第十一章 許可申請及報告ニ關スル規定

第九十六條 本令ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケルコト又ハ大藏大臣ニ報告スルコト業務上其ノ他ノ事由ニ因リ著シク支障アリト認ムル場合ハ大藏大臣ハ特別ノ手續ヲ定ムルコトアルベシ

第九十七條 法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ外國ニ於テ爲ス取引又ハ行爲ニ付許可ヲ申請スル場合ニハ法人ノ本店、主たる事務所又ハ東京所在店舗ヨリ許可申請書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

第九十八條 本令施行地内ニ財産ヲ有スル第三國人又ハ第八十九條第一項第一號若ハ第二號ニ掲グル法人ハ其ノ所有スル財産ニ關シ、外國ニ在ル第三國人又ハ第三國法人ノ爲ニ本令施行地内ニ於テ財産ヲ保有又ハ管理スル者ハ其ノ保有又ハ管理スル財産ニ關シ曆年ニ依ル四半期毎ニ各期間ニ於ケル増減ノ内容及各期末ニ於ケル現在高ヲ本令附屬報告書式第五十二號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第九十九條 外國通貨、外國爲替若ハ外貨證券ヲ有スル者、外國通貨ヲ以テ表示スル預金、消費貸借、信託若ハ保險ノ契約ヲ爲シ居ル者又ハ外國居住者ト本邦通貨ヲ以テ表示スル預金若ハ消費貸借ノ契約ヲ爲シ居ル者本令施行地内ニ住所ヲ有スルニ至リタルトキハ本令附屬報告書式第五十三號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ外國爲替以外ノモノニ付テハ外國人ニ之ヲ適用セズ

第一百條 大藏大臣ハ必要アルトキハ事項及人ヲ指定シテ本令ニ定ムルモノノ外報告ヲ徴シ又ハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ若ハ報告ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第一百一條 本令ノ規定ニ依ル報告書ハ各本令附屬報告書式ニ依ルノ外其ノ準則ニ從ヒ之ヲ作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

年大藏省令第一號ハ之ヲ廢止ス

申請書式第一號(第十一條)

外國爲替買入許可申請書

大藏大臣 殿

年 月 日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

電話番號

擔當者

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 爲替ノ種類及金額

二 爲替ノ受取人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

三 爲替ノ支拂地、支拂期日並支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 現物又ハ豫約ノ別及豫約ニ在リテハ受渡期

五 賣渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

六 買入ノ豫定期

七 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦へノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

本令施行地へノ輸入貨物代金決済ノ爲ニ一箇月ヲ通シ金額百圓相當額以下ノ買入ヲ爲ス場合ハ申請書二通ヲ作成シ貨物ノ輸入地所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

第九十八條 昭和八年大藏省令第七號又ハ昭和十二年大藏省令第一號ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル者ハ當該取引又ハ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第九十九條 昭和八年大藏省令第七號又ハ昭和十二年大藏省令第一號ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年第二四半期分ヨリ之ヲ提出スベシ

第一百條 昭和八年大藏省令第七號又ハ昭和十二年大藏省令第一號ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年六月三十日迄ニ同年一月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ニ付提出スベキ報告書ハ同年六月三十日迄ニ同年一月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ヨリ、第五十四條第一項ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年一月ヨリ六月迄ノ期間ノ分ヨリ、第九十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年第一四半期分ヨリ之ヲ提出スベシ

第一百一條 昭和八年大藏省令第七號又ハ昭和十二年大藏省令第一號ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年第一四半期分ヨリ之ヲ提出スベシ

第一百二條 昭和八年大藏省令第七號、昭和八年大藏省令第八號及昭和十二年大藏省令第七號、第六十一條、第六十二條及第七十三條乃至第七十六條ノ規定ハ同年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百三條 本令ノ規定ニ依リ各月分ニ付提出スベキ報告書ハ昭和十六年四月分ヨリ、第五十一條ノ規定ニ依リ各事業年度分ニ付提出スベキ報告書ハ同年六月一日以後ニ始マル事業年度分ヨリ、同條ノ規定ニ依リ一月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ニ付提出スベキ報告書ハ同年六月三十日迄ニ同年一月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ヨリ、第五十四條第一項ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年一月ヨリ六月迄ノ期間ノ分ヨリ、第九十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年第一四半期分ヨリ之ヲ提出スベシ

第一百四條 本令ハ昭和十六年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第一百五條 第十九條第一項及第二項ノ規定ハ昭和十六年七月一日ヨリ、第二十條第一項乃至第三項、第六十一條、第六十二條及第七十三條乃至第七十六條ノ規定ハ同年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百六條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

附則

第一百七條 本令ノ規定ニ依リ外國ニ於ケル取引又ハ行爲ニ付提出スベキ報告書ハ各本令附屬報告書式ノ準則ニ定ムルモノノ外翌月十五日迄ニ之ヲ當該地ヨリ發送シ本店若ハ之ニ準ズルモノ又ハ東京所在店舗ニ於テ其ノ接受後遲滞ナク大藏大臣ニ提出スベシ

第一百八條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百九條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十一條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十二條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十三條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十四條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十五條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

第一百十六條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ義務ヲ負フ者變災其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遅滞ナク提出スベシ

- (二) 第一項ノ爲替ノ種類ニハ送金手形、送金小切手、支拂指圖書、電信爲替、郵便爲替等ノ別ヲ、電信爲替ニ在リテハ「レミッタ」又ハ「アグセブタ」ノ別ヲ記載スベシ
- (三) 第四項ノ豫約爲替ノ受渡期ニハ成ルベク月別ニ其ノ受渡金額ヲ記載スベシ
- (四) 第六項ハ成ルベク月別ニ其ノ買入金額ヲ記載スベシ
- (五) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二號(第十一條)

委託支拂許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿
 申請者ノ住所
 年月日
 職業、氏名又ハ商號
 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 委託者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 二 支拂委託ノ豫定期
 - 三 支拂金額
 - 四 支拂委託ノ方法
 - 五 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號

申請書式第三號(第十一條)

外國居住者ノ爲ニスル支拂許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿
 申請者ノ住所
 年月日
 職業、氏名又ハ商號

- 六 支拂ノ豫定期
- 七 預リ金ノ支拂又ハ立替拂等ノ別
- 八 支拂人ト支拂委託者トノ關係及支拂ヲ委託セラレ之ヲ引受ケタル事由
- 九 其ノ他參考トナルベキ事項

- (一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 本令施行地ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニ一箇月ヲ通シ金額百圓相當額以下ノ支拂ヲ爲ス場合ハ申請書二通ヲ作成シ貨物ノ輸入地所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (三) 第二項及第六項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定期ヲ記載スベシ
- (四) 第四項ニハ書面、電信一覽後何日拂荷付手形振出等ノ如ク記載スベシ

〔附一三三〕

(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 二 支拂金額
 - 三 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 支拂ノ豫定期
 - 五 預リ金ノ支拂又ハ立替拂等ノ別
 - 六 支拂人ト外國居住者トノ關係及支拂ヲ爲ス事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 第四項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定期ヲ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

〔附一三二〕

- 一 爲替ノ種類及金額
 - 二 爲替ノ支拂地、支拂期日並支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 現物又ハ豫約ノ別及豫約ニ在リテハ受渡期
 - 四 取引ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 賣却ノ豫定期
 - 六 賣却ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 買豫約ノ相殺又ハ取消ノ場合ニハ第二項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第五號(第十四條)
 信用狀發行許可申請書

大藏大臣 殿
 申請者ノ住所
 年月日
 職業、氏名又ハ商號
 (代表者氏名)

(電話番號 擔當者)

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 二 信用狀ニ依ル手形振出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 信用狀發行依頼人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 發行ノ豫定期
- 五 發行ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ信用狀ノ種類ニハ輸入荷爲替信用狀、外國間貿易信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手等ノ別ヲ記載スベシ

(三) 第四項ニハ可成月別ニ其ノ豫定期ヲ記載スベシ

申請書式第六號(第十四條)

信用狀取得許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 信用狀ノ種類、金額及主要條件
- 二 信用狀ニ依ル手形振出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 信用狀發行依頼人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取得ノ豫定期
- 五 取得ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

- 六 旅行信用狀ニ在リテハ旅行ノ豫定計畫、同一ノ旅行ノ爲他ニ取得スル旅行信用狀又ハ送金爲替等アルトキハ其ノ金額及別ニ携帶又ハ送付スル旅費アルトキハ其ノ金額
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦へノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

本令施行地へノ輸入貨物代金決済ノ爲ニ一箇月ヲ通シ金額百圓相當額以下ノ信用狀ヲ取得スル場合ハ申請書二通ヲ作成シ貨物ノ輸入地所管税關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ信用狀ノ種類ニハ荷爲替信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手、爲替買取指圖書、爲替買取推薦狀、貨物證券引換指圖書等ノ別ヲ記載スベシ

(三) 第一項ノ信用狀ノ主要條件ニハ左記事項ヲ記載スベシ

(イ) 手形ノ振出期間(信用狀ノ有効期間)

(ロ) 手形ノ振出豫定期及金額(成ルベク月別ニ記載スルコト)

(ハ) 手形ノ支拂期限(一覽後何日拂等)

(ニ) 手形ノ支拂地

(ホ) 振出手形支拂ノ爲外國爲替ノ買取約ヲ爲ス場合ハ該豫約ノ豫

〔輯一三三三〕

申請書式第八號(第十六條及第八十二條)

外國通貨賣却許可申請書

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國通貨ノ種類及金額
- 二 買入人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 賣却ノ豫定期
- 四 賣却ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第九號(第十七條)

本邦通貨又ハ外國通貨ノ送付又ハ携帶許可申請書

大藏大臣 殿

申請者ノ住所

(電話番號 擔當者)

一七七七

申請書式第七號(第十五條)

外國通貨買入許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國通貨ノ種類、金額及所在地
- 二 買入人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 買入ノ豫定期
- 四 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

第十二輯 財務 第九章 資本移動

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 本邦通貨又ハ外國通貨ノ種類、數量及金額
- 二 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 送付又ハ携帶ノ方法
- 四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ託送者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 送付又ハ携帶ノ豫定期間
- 六 送付又ハ携帶ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ但シ外國ニ旅行セントスル者本邦通貨ヲ携帶輸出セントスル場合ニハ乗船前本申請書一通ヲ乗船港所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スルコトヲ得

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十號(第十八條)

本邦通貨輸入許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 通貨ノ名稱、種類、數量及金額
- 二 申請者又ハ發送人ノ通貨ヲ取得シタル原因、経路及時期
- 三 通貨ノ發送人及名宛人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 通貨ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸入地所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ニハ日本銀行券、何圓券、何枚、何圓等ノ如ク記載スベシ

(三) 過去一箇年内ニ本邦通貨ノ輸入ヲ爲シタルコトアル場合ハ其ノ實績ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十一號(第十九條)

相殺勘定貸記許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 受託者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 支拂委託ノ金額
- 四 支拂委託ノ方法
- 五 支拂委託ノ豫定期間
- 六 支拂ノ豫定期間
- 七 支拂資金ノ内容
- 八 委託者ト支拂ノ相手方トノ關係
- 九 委託者ト受託者トノ關係及支拂ヲ委託セル事由
- 十 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦へノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ外國ニ於ケル支拂金ノ受領者ヲ記載スベシ

(三) 第四項ニハ書面、電信、付替票ノ送付等ノ如ク記載スベシ

(四) 第七項ニハ受託者ノ立替拂又ハ受託者ニ對スル預ケ金ヨリノ拂出等ノ別ヲ記載スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十三號(第二十一條)

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 本邦通貨又ハ外國通貨ノ種類、數量及金額
- 二 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 送付又ハ携帶ノ方法
- 四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ託送者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 送付又ハ携帶ノ豫定期間
- 六 送付又ハ携帶ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ但シ外國ニ旅行セントスル者本邦通貨ヲ携帶輸出セントスル場合ニハ乗船前本申請書一通ヲ乗船港所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スルコトヲ得

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十號(第十八條)

本邦通貨輸入許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 貸記スベキ金額
- 二 相殺勘定ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 貸記ノ豫定期間又ハ豫定期間
- 四 相殺勘定ノ相手方トノ關係
- 五 貸記ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 成ルベク一定期間ニ爲スベキ貸記ニ付包括申請ヲ爲スベシ

(三) 右ノ場合期間ガ數箇月ニ亘ル時ハ各月ニ於ケル貸記豫定期間ヲ附記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十二號(第二十條)

金貨幣又ハ金地金ノ輸出許可申請書 (電話番號)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 輸出セトスル金貨幣又ハ金地金ノ種類、數量及價額

二 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

三 輸出セントスル物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 輸送ノ方法、積出港、仕向港及積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ

五 輸出ノ豫定年月日、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ豫定年月日

六 輸出ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ種類ニハ金ノ品位ヲ附記スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十四號(第二十一條)

申請書式第十五號(第二十一條) 金貨幣ノ鑄造許可申請書 (電話番號)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 輸出セントスル金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ種類、數量、價額及金ノ含有量

二 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

三 輸出セントスル物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 輸送ノ方法、積出港、仕向港及積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ

五 輸出ノ豫定年月日、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ豫定年月日

六 輸出ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

七 輸出代金ノ受領ノ時期及方法

八 其他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸出地所管稅關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ金ノ含有量ニハ含有純金ノ量目ヲ瓦ヲ以テ記載スベシ

申請書式第十四號(第二十一條)

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十五號(第二十一條)

金貨幣ノ鑄造許可申請書

(電話番號)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 金貨幣ノ種類及數量

二 鑄造ヲ爲ス者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

三 金貨幣ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 鑄造シタルモノノ處分先

五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十六號(第二十二條)

外國送金許可申請書

(電話番號)

大藏大臣 殿

第十二輯 財務 第九章 資本移動

申請書式第十七號(第二十三條) 外國ニ於テ支拂ハル、債權ノ取立依頼又ハ引受許可申請書 (電話番號)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 送金ノ方法

二 送金額

三 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ取扱者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

五 送金ノ豫定期

六 送金ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第五項ニハ成ルベク月別ニ其ノ送金額ヲ記載スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十七號(第二十三條)

外國ニ於テ支拂ハル、債權ノ取立依頼又ハ引受許可申請書

(電話番號)

一七八一

大藏大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取立債權ノ種類及金額
- 二 取立債權ノ支拂地、支拂期日並支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立代リ金ノ回収ノ見込時期及方法
- 四 取立引受人又ハ依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 取立依頼者ト取立債權ノ權利者ト異ル場合ハ其ノ權利者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 取立依頼又ハ引受ノ豫定期
- 七 取立ノ依頼又ハ引受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ニハ第二十三條各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ
- (三) 第六項ニハ成ルベク月別ニ取立依頼又ハ引受ノ金額ヲ記載スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十八號(第二十四條)

外國居住者ノ爲ニスル債權ノ取立依頼又ハ引受許可申請書

大藏大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取立債權ノ種類及金額
- 二 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立債權ノ支拂地、支拂期日並支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取立代リ金ノ處分ノ見込時期及方法
- 五 取立引受人又ハ依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 取立依頼又ハ引受ノ豫定期
- 七 取立依頼又ハ引受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ニハ第二十四條各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ
- (三) 第六項ニハ成ルベク月別ニ取立依頼又ハ引受ノ金額ヲ記載スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十九號(第三十二條)

外貨證券有價取得許可申請書

大藏大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 對價タル通貨等ノ種類及豫定期
- 三 外貨證券ノ受渡地
- 四 取引ノ相手方又ハ媒介人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 取得ノ豫定期
- 六 取得ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計枚數並合計枚數ヲ記載スベシ

申請書式第二十號(第三十三條)

外貨證券處分許可申請書

大藏大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 對價タル通貨等ノ種類、數量、豫定期及所在地並處分代リ金ノ本邦ノ回収見込時期及方法
- 三 外貨證券ノ受渡又ハ擔保差入等ノ場所
- 四 取引ノ相手方又ハ媒介人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 賣却又ハ擔保差入等ノ豫定期
- 六 賣却又ハ擔保差入等ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計枚數並合計枚數ヲ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十一號(第三十四條及第三十五條)

外貨證券ノ賣却、取立依頼又ハ支拂金受領期間延長許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 外貨證券、外貨證券ノ利息又ハ配當金ノ支拂期日及支拂金額
- 三 期間延長ヲ必要トスル金額
- 四 賣却、取立依頼又ハ支拂金受領ノ見込時期
- 五 期間延長ヲ必要トスル事由
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計枚數並合計枚數ヲ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十二號(第三十五條)

外貨證券代リ金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 外貨證券、外貨證券ノ利息若ハ配當金ノ賣却又ハ支拂金受領ノ時期及金額
- 三 賣却先、支拂人又ハ讓受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號並賣却地、支拂受領地又ハ讓渡地
- 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法

[輯一三三]

[輯一三三]

- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計枚數並合計枚數ヲ記載スベシ
- (三) 特殊回收トハ外貨證券ノ賣却地、支拂受領地若ハ權利讓渡地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十三號(第三十八條)

證券輸出又ハ輸入許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 證券ノ名稱、金額、數量及所在地

申請書式第二十四號(第三十九條)

證券再輸出許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 證券ノ名稱、金額、數量及所在地

一七八四ノ二

證券代金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 證券ノ發送人並名宛人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出證券ノ名稱、金額、數量及賣却價額
- 三 輸出ノ時期及輸送ノ方法
- 四 證券ノ仕向地及到着時期
- 五 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 六 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 七 爲替ノ償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ニ在リテハ其ノ金額、時期及銀行名
- 八 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
特殊回收トハ仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向

【輯一三三】

ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 第二項ノ金額及數量ニハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並合計枚數ヲ記載シ賣却價額ニ付テハ賣却未済ノモノニ在リテハ見込價額ヲ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十五號(第四十二條)

外貨債權讓受許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 債權ノ種類及金額
- 二 債務者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 對價タル邦貨額等
- 四 讓渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 讓受ノ豫定期
- 六 讓受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其他參考トナルベキ事項

【輯一三三】

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十六號(第四十三條)

外貨預金契約又ハ外貨消費貸借契約許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 預金殘高ノ最高限度又ハ消費貸借ノ契約金額
 - 二 契約ノ種類及主要條件
 - 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 契約ノ豫定期
 - 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

注意(一) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十七號(第四十四條)

在內財産ヲ擔保トスル借入金許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 借入ノ金額及主要條件
 - 二 擔保物ノ種類、數量、價額及所在地並差入先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 借入地
 - 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 借入ノ豫定期
 - 六 借入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- 注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十八號(第四十五條)

外國居住者ニ對スル又ハ其ノ爲ニスル貸付、假拂又ハ立替拂許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 貸付、假拂又ハ立替拂ノ區分及金額
- 三 擔保ヲ徵取スルモノニ在リテハ擔保物ノ種類、數量、價額及所在地
- 四 貸付、假拂又ハ立替拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 貸付金、假拂金又ハ立替金ノ回收見込時期及方法
- 六 貸付、假拂又ハ立替拂ノ豫定期
- 七 貸付、假拂又ハ立替拂ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第四項ハ外國居住者ニ對スル貸付、假拂又ハ立替拂ニ付テハ記

申請書式第三十號(第四十八條)

外國通貨ヲ以テ表示スル地方債、社債又ハ株式發行許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 地方債、社債又ハ株式ノ發行豫定期及主要條件
- 二 地方債、社債又ハ株式ノ發行地
- 三 地方債、社債又ハ株式ノ發行豫定期
- 四 地方債、社債又ハ株式發行ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十一號(第四十九條)

外國居住者ノ債務ニ對スル擔保提供又ハ保證許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

載スルニ及パス

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十九號(第四十七條)

外貨信託契約又ハ外貨保險契約許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 信託又ハ保險ノ契約金額
- 二 契約ノ種類及主要條件
- 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 契約ノ豫定期
- 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十二號(第五十條)

在外不動産等ノ取得許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 擔保物ノ種類、數量、價額、所在地及差入先又ハ保證金額
- 二 擔保提供又ハ保證ノ豫定期及主要條件
- 三 債務者タル外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 債權者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 債務ノ金額及主要條件
- 六 擔保提供又ハ保證ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十三號(第五十一條)

外國居住者ノ債務ニ對スル擔保提供又ハ保證許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取得スル不動産等ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ノ取得ノ場合ニハ其ノ事業又ハ營業ノ財産及損益ノ狀況
- 三 取得ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 五 取得ノ豫定期
- 六 取得ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十三號(第五十五條)

關東州、滿洲國又ハ中華民國ノ貨物
輸入等ノ爲ノ在外財産處分許可申請書 (電話番號
擔當者

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

〔輯一三三〕

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 處分ノ豫定期
- 四 輸入貨物ノ品名、數量及價額又ハ送付資金ノ金額及送付方法
- 五 荷受人又ハ資金受取人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 荷送人又ハ送金者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 七 處分ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十四號(第五十六條)

外國ニ在ル資金ノ貸付、在外財
産ノ取得又ハ在外財産取得ノ爲
ノ在外財産處分許可申請書

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

〔輯一三三〕

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 資金ノ貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號

- 二 貸付金ノ種類、金額及主要條件
- 三 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 四 取得スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 五 貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ノ豫定期
- 六 貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ相手方ハ左記ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號ヲ記載スベシ

(イ) 在外資金ノ貸付ニ在リテハ在內債務者

(ロ) 在內財産ノ賣却ニ在リテハ其ノ買受人及外國ニ於ケル代金支拂人

(ハ) 在內財産ノ買受ニ在リテハ其ノ賣却人及外國ニ於ケル代金受取人

(ニ) 在外財産ノ賣却ニ在リテハ其ノ買受人及本邦ニ於ケル代金支拂人

(ホ) 在外財産ノ買受ニ在リテハ其ノ賣却人及本邦ニ於ケル代金受取人

申請書式第三十五號(第五十七條)

在外財産無償處分等許可申請書

(電話番號
擔當者

大藏大臣 殿

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額及所在地
- 四 處分ノ豫定期
- 五 無償處分又ハ低價處分ヲ必要トスル事由
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十六號(第五十八條)

在外不動産等ノ代リ金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年 月 日 申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 不動産等ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 不動産等ノ賣却又ハ讓渡代リ金受領ノ時期及金額
- 三 賣却先又ハ讓渡先ノ住所、職業及氏名又ハ商號並賣却地又ハ讓渡地
- 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ不動産等ノ賣却地若ハ讓渡地外ヨリノ回收又ハ銀

行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

申請書式第三十七號(第五十九條)

本邦ヨリ送付セル資金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年 月 日 申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 本邦ヨリノ送金ノ時期、金額、方法、目的並許可ヲ受ケタル送金ニ付テハ其ノ許可證ノ日附及番號
- 二 送金仕向先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 本邦ヨリ送付セル資金ニシテ其ノ目的ニ使用セザルニ至リタル時期、金額及其ノ事由並資金ノ預ケ先又ハ寄託先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由

〔轉一二三〕

七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ送金仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十八號(第六十條)

利益金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年 月 日 申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 事業所又ハ營業所ノ所在地並事業又ハ營業ノ種類
- 二 利益金ノ確定額並確定ノ時期
- 三 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 四 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 五 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

第十二輯 財務 第九章 資本移動

〔轉一二三〕

注意(一) 本許可申請書ハ三通(本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ハ四通)ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ利益金ノ發生地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 利益金ヲ生ジタル事業所又ハ營業所ノ該事業又ハ營業年度末ニ於ケル資産負債及損益ノ狀況ヲ記載セル書類ヲ添附スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十九號(第六十一條)

第三國通貨以外ノ通貨ニ依ル保險料受領許可申請書 (電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年 月 日 申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 第三國通貨以外ノ通貨ヲ以テ受領スベキ保險料及通貨ノ種類並受領地
- 二 保險ノ種類、保險金額、保險金支拂ノ通貨ノ種類、契約保險料並其ノ受領ノ時期及場所

一七八四ノ九

- 三 被保險者又ハ保險ノ目的及其ノ住所又ハ所在地
- 四 保險契約締結ノ時期及場所並其ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 保險料支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 保險料受領ノ豫定期
- 七 第三國通貨ヲ以テ受領シ得ザル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第三項ノ保險ノ目的方積荷ナルトキハ貨物ノ種類、數量、積地及揚地ヲモ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十號(第六十二條)

第三國通貨以外ノ通貨ニ依ル外國間輸送運賃ノ受領許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 第三國通貨以外ノ通貨ヲ以テ受領スベキ運賃及通貨ノ種類並受領地
- 二 輸送契約ノ内容

旅客又ハ貨物ノ別

貨物ノ品名、數量及其ノ所有者

積地及揚地

運賃ノ單價及總額

運賃受領ノ時期及場所

輸送契約締結ノ時期及場所並相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號

運賃受領ノ豫定期

第三國通貨ヲ以テ受領シ得ザル事由

其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十一號(第六十三條)

無爲替貨物輸出許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出申告者又ハ郵便差出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 爲替ヲ取組マザル金額
- 四 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 貨物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 輸送ノ方法、積出港、積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出郵便局名、鐵道便ニ依ルモノニ在リテハ積出驛名
- 七 貨物代金ノ受領ノ経路、方法及時期
- 八 本邦内ニ在ル者ヨリ代金ノ支拂ヲ受クル場合ニハ其ノ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 九 他人ガ外國ヨリ代金ヲ受領スル場合ニハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 十 輸出ノ豫定期、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ豫定期、鐵道ニ依ルモノニ在リテハ託送ノ豫定期
- 十一 爲替ヲ取組マザル事由
- 十二 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸出地所管税關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ但シ業務上其ノ他ノ事由ニ依リ著シク支障アル場合ハ最寄税關ヲ經テ提出スルコトヲ得

- (二) 第二項ノ輸出貨物ノ品名ニハ品質、等級、銘柄、構成材料、製造者名ヲ附記スベシ但シ貨物ノ性質上明白ナルモノ又ハ記載特ニ困難ナルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得
- (三) 第二項ノ輸出貨物ノ價額ニハ外國居住者ニ對スル賣値ヲ、賣値確定セズ若ハ判明セザルモノ又ハ賣値ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込賣値ヲ記載シ且F.O.B.、C.I.F.等ノ別ヲ附記スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十二號(第六十七條)

無爲替輸出貨物代金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出申告者又ハ郵便差出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 輸出ノ時期及輸送ノ方法
- 五 輸出貨物ノ仕向地及到着時期
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額

- 七 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 八 爲替ノ償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ニ在リテハ其ノ金額、時期及銀行名
- 九 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 十 其ノ他参考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外三通ヲ作成シ輸出地所管税關ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ但シ業務上其ノ他ノ理由ニ依リ著シク支障アル場合ハ最寄税關ヲ經テ提出スルコトヲ得

- (二) 本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲ニスル場合ニ在リテハ四通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ
- (三) 特殊回收トハ仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ
- (四) 第二項ノ輸出貨物ノ品名ニハ品質、等級、銘柄、構成材料、製造者名ヲ附記スベシ但シ貨物ノ性質上明白ナルモノ又ハ記載特ニ困難ナルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得
- (五) 第二項ノ輸出貨物ノ價額ニハ外國居住者ニ對スル賣値ヲ、賣値確定セズ若ハ判明セザルモノ又ハ賣値ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込賣値ヲ記載シ且F.O.B.、C.I.F.等ノ別ヲ附記スベシ

本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十三號(第六十九條)
無爲替貨物輸入許可申請書

(電話番號) 擔當者

大蔵大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸入貨物ノ種類、數量、單價、價額、産地、積出港、積出時期、陸揚地及到着時期並輸入貨物ノ處分方法
- 二 貨物代金決済ノ方法及見込時期又ハ其ノ豫定
- 三 外國爲替ヲ取組マザル事由
- 四 其ノ他参考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ四通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

- (二) 本邦ヨリ輸出シタル貨物ノ返送セラレタルモノ又ハ一箇月ヲ通シ價額百圓相當額以下ノ貨物ヲ輸入スル場合ハ申請書二通ヲ作成シ貨物ノ輸入地所管税關ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

申請書式第四十四號(第七十一條)

[輯一三三]

大蔵大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出貨物ノ荷受人又ハ輸入貨物ノ荷送人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出又ハ輸入貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 輸出又ハ輸入ノ時期及方法
- 四 輸出貨物ノ仕向地及到着時期又ハ輸入貨物ノ積出地及積出時期
- 五 輸出又ハ輸入貨物附帶債權ノ種類、金額及其ノ算出基礎
- 六 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號並支拂受領地
- 七 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ受領ノ時期及金額
- 八 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 九 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 十 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 十一 其ノ他参考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

出スベシ

申請書式第四十五號(第七十二條)
外國爲替業務開始許可申請書

(電話番號) 擔當者

大蔵大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國爲替業務ヲ營ムコトスル店舖ノ名稱及所在地
- 二 前號ノ店舖ニ於ケル外國爲替業務開始ノ時期
- 三 取引ヲ必要トスル地域
- 四 外國爲替業務ヲ營ムコトヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他参考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

- (二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十五號(第七十二條)

[輯一三三]

大蔵大臣 殿

年月日 申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出貨物ノ荷受人又ハ輸入貨物ノ荷送人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出又ハ輸入貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 輸出又ハ輸入ノ時期及方法
- 四 輸出貨物ノ仕向地及到着時期又ハ輸入貨物ノ積出地及積出時期
- 五 輸出又ハ輸入貨物附帶債權ノ種類、金額及其ノ算出基礎
- 六 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號並支拂受領地
- 七 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ受領ノ時期及金額
- 八 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 九 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 十 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 十一 其ノ他参考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

出スベシ

第十二輯 財務 第九章 資本移動

申請書式第四十六號(第七十四條)

被仕向取立爲替ノ取立許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取立爲替ノ種類及金額
- 二 取立爲替ノ支拂地、支拂期日並支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取立ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十七號(第七十五條)

在外銀行ニ對スル預ケ金又ハ貸越金許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

在外店舗ノ所在地及名稱	通貨ノ種類	當方口又ハ先方口	預ケ金又ハ貸越金	預ケ金又ハ貸越金ノ必要トスル事由
-------------	-------	----------	----------	------------------

一 預ケ金又ハ貸越金額

- 二 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 當方口預ケ金ニハ邦價換算額ヲ括弧書スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十八號(第七十六條)

在外保有外貨資金限度ニ關スル許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

[輯一三三]

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 在外保有資金限度額

在外店舗ノ所在地及名稱	通貨ノ種類	現金	預ケ金	フアシリチ力	計	備考(フアシリチ額)
-------------	-------	----	-----	--------	---	------------

二 保有ヲ必要トスル事由

三 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 第一項ノ各欄ノ金額ニハ邦價換算額ヲ括弧書スベシ
- (三) 第一項ノ預ケ金ニ付テハ預ケ先名ヲ附記シ預ケ先別ニ金額ノ内譯ヲ掲記スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十九號(第八十三條)

外貨旅行小切手賣却許可申請書

申請書式第五十號(第八十五條)

爲替媒介業務開始許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

第十二輯 財務 第九章 資本移動

一七八四ノ一四

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 預ケ金又ハ貸越金額
- 二 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
- (二) 當方口預ケ金ニハ邦價換算額ヲ括弧書スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十八號(第七十六條)

在外保有外貨資金限度ニ關スル許可申請書

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

[輯一三三]

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 爲替媒介業務開始ノ豫定期

二 爲替媒介業務ヲ營ムコトヲ必要トスル事由

三 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- (二) 他ノ種ノ業務ヲ併セ營ム者ハ第三項ニ其ノ業務ノ種類ヲ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

届出書式(第八十一條)

兩替業務開始届

(電話番號 擔當者)

大藏大臣 殿

年月日

届出者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及届出候也

一 届出者法人ナルトキハ資本金、出資者氏名及出資金額

一七八四ノ一五

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號⑩

支拂委託者又ハ外國居住者ノ住所、氏名又ハ商號		支拂委託ノ方法		金額		支拂ヲ爲シタル事情	備考
		外貨	邦貨	外貨	邦貨		

- 準則
1. 本報告書ハ一通ヲ作成シ支拂ノ際相手方銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 被仕向取立爲替(取立爲替ニ準ズルモノヲ含ム)ノ支拂ニ付テハ報告書式第一號(Ⅱ)ニ依リ報告スベシ
 3. 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ額ニ記載スベシ
 4. 備考ノ欄ニハ支拂ノ目的、立替拂ニ在リテハ其ノ旨並許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
 5. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦128.5耗横91耗トスベシ

報告書式第三號(第十一條)

外國爲替銀行以外ノ者ヨリノ外國爲替買入報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號⑩

買入ノ住所、氏名又ハ商號	金額		爲替相場	取引日	備考
	外貨	邦貨			

〔第1111〕

〔第1111〕

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
 3. 關東州、滿洲國及中華民國ニ仕向ケタル爲替ニ付テハ一箇月ヲ通シ買入高千圓未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
 4. 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
 5. 備考ノ欄ニハ買入ノ目的並許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
 6. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182耗横257耗トスベシ

報告書式第四號(第十一條)

外國爲替銀行以外ノ者ニ對スル外國ニ於テ爲シタル委託ニ基ク支拂又ハ外國居住者ノ爲ニスル支拂報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號⑩

支拂委託者又ハ外國居住者ノ住所、氏名又	支拂相手方氏號	金額		支拂日	支拂ヲ爲シタル事情	備考
		外貨	邦貨			

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 外國爲替銀行ハ被仕向取立爲替及被仕向取立爲替ノ支拂ニ付テハ報告スルニ及バズ
 3. 月中ノ支拂額千圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

- 4. 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ額ニ記載スベシ
- 5. 備考ノ欄ニハ發行依頼人ノ取得ノ目的並發行依頼人が許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 6. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦18.5センチ横 57センチ

報告書式第七號(第十四條) 發行者名

信用狀取得報告書
昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號[㊦]

信用狀ノ種類	
手形振出人ノ住所、氏名又ハ商號	
手形名宛先	
金額	外貨
期	間
目	的

- 準則
- 1. 本報告書ハ一通ヲ作成シ取得ノ際發行者ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 - 2. 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
 - 3. 旅行小切手ニ在リテハ金額及目的ヲ記載スルヲ以テ足ル
 - 4. 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ額ニ記載スベシ
 - 5. 目的ノ欄ニハ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ附記シ尙旅行信用狀及旅行小切手ニ在リテハ出發豫定日ヲ附記スベシ
 - 6. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦18.5センチ横57センチ

〔章11111〕

〔章11111〕

報告書式第八號(第十五條)

相手方銀行又ハ兩替商名

外國爲替銀行又ハ兩替商[㊦]ノ外國通貨買入報告書

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號[㊦]

金額	外貨額	
	邦貨換算額	
爲替相場	相場	
備考	備考	

- 準則
- 1. 本報告書ハ一通ヲ作成シ買入ノ際相手方銀行又ハ兩替商ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 - 2. 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
 - 3. 備考ノ欄ニハ買入ノ目的並許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
 - 4. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦12.5センチ横21センチ
- 報告書式第九號(第十六條) 相手方銀行又ハ兩替商名
- 外國爲替銀行又ハ兩替商[㊦]ニ對スル外國通貨買入報告書

書式ハ第八號ノ例ニ準ズ
準則 第八號ノ準則ニ準ズ

報告書式第十號(第十五條、第十六條)

(甲) 國內所在分
外國通貨所有高増減報告書
昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號[㊦]
(前同提出 昭和何年何月分)

外貨別	前月末現在高	當月中取得高	當月中處分高	月末現在高	備考
-----	--------	--------	--------	-------	----

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 月中ノ増減千圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
 3. 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
 4. 其ノ月中ニ増減ナキ外貨ニ付テモ其ノ月末現在高ヲ記載スベシ
 5. 其ノ月中ニ外國ヨリ現送ヲ受ケタルモノハ當月中取得高ノ欄ニ内書スベシ
 6. 其ノ月中ニ外國ニ現送シタルモノハ當月中處分高ノ欄ニ内書スベシ
 7. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182紙横257紙トスベシ

(乙) 海外所在分

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號^⑩
(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	前月	月末現在高	月末現在高	外貨所在地	備考

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ本店若ハ之ニ準ズルモノ又ハ東京所在店舗ニ於テ接受後遲滞ナク最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 月末現在高過シテ千圓相當額未滿ナル場合ハ報告スルニ及バズ
 3. 其ノ他(甲)ノ準則ニ準ズ

〔書1111〕

報告書式第十一號(第十八條)

本邦通貨又ハ外國通貨輸入報告書

〔書1111〕

(甲) 携帶輸入分
何税關

昭和年月日

報告者ノ住所 職業	氏名	年齢	國籍
乗船船舶名 旅行出發地	本邦出發豫定年月日 乗船豫定地		
輸入ノ目的	取得ノ経路		
外貨	本邦通貨	貨	許可申請金額
英貨	日銀券	圓(内百圓券)	許可年月日
米貨	鮮銀券	圓(内百圓券)	許可證番號
何貨	舊銀券	圓(内百圓券)	許可金額
	政府紙幣	圓	備考
	軍用手票	圓	

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ到着ノ際到着港所管税關ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 補助通貨ニ付テハ報告スルニ及バズ
 3. 航空機ニ依リ旅行スル者ハ乗船船舶名ノ箇所ニ航空機ト記載シ乗船豫定港ニ代ヘ搭乗地ヲ記載スベシ
 4. 報告者ガ所有者ニ非ザルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
 5. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182紙横257紙トスベシ

(乙) 携帶ニ依ラザル輸入分

昭和年月日

住所 氏名又ハ商號^⑩

種	類	枚	数	額	面	金	額	含有純金量目	録	遺	月	日	録	遺	所、氏	名	録	許	可	證	番	號	備	考	

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸出申告又ハ郵便差出ニ際シ税關又ハ差出郵便局ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 種類ノ欄ニハ金ノ品位(例ヘバ十八金、二十二金等)ノ異ル毎ニ細別シ品名ヲ記載スベシ
 3. 含有純金量目ノ欄ニハ含有純金ノ量目ヲ瓦ヲ以テ記載スベシ
 4. 備考ノ欄ニハ輸出ノ目的等ニ付記載スベシ
 5. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210珣横297珣トスベシ

報告書式第十四號(第二十一條)

金貨幣錄遺報告書
昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

種	類	枚	数	額	面	金	額	含有純金量目	録	遺	月	日	録	遺	所、氏	名	録	許	可	證	番	號	備	考	

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 種類ノ欄ニハ額面及新、舊貨幣ニ區分シ記載スベシ
 3. 含有純金量目ノ欄ニハ含有純金ノ量目ヲ瓦ヲ以テ記載スベシ

〔第1111〕

〔第1111〕

4. 備考ノ欄ニハ錄遺ノ目的等ニ付記載スベシ
5. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210珣横297珣トスベシ

報告書式第十五號(第十七條、第二十條、第二十二條)

外國ニ對スル送金報告書
昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

送金ノ方法	受取人ノ住所、氏名又ハ商號	仕	向	地	金			送	金	日	備	考	
					外	貨	邦						

- 準則
1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
 2. 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
 3. 書式第十二號(相殺勘定)又ハ第十八號(旅費携帶)ニ依リテ報告セラルモノニ付テハ記載スルニ及バズ
 4. 支店ヲ有スルモノハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
 5. 送金ノ方法ノ欄ニハ本邦通貨若ハ外國通貨ノ送付、支拂委託又ハ手形若ハ小切手ノ送付等ノ別ヲ記載スベシ
 6. 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
 7. 備考ノ欄ニハ送金ノ目的並許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
 8. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210珣横297珣トスベシ

報告書式第十六號(第二十三條) 經由銀行名

外國ニ於テ支拂ハルル債權ノ取立依頼報告書

(I) 取立依頼ノ際提出分

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號⑩

取立債權ノ種類	
支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	
金額	外貨
爲替相場	
支拂ノ豫定期	
取立代リ金ノ本邦回収ノ豫定期	
備考	

準則 1. 本報告書ハ一通ヲ作成シ取立依頼ノ際相手方銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

2. 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ

3. 取立債權ノ種類ノ欄ニハ第二十三條第一項各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ

4. 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ

5. 取立代リ金ヲ本邦ニ回収セザル場合ニハ其ノ旨ヲ取立代リ金ノ本邦回収ノ豫定期ノ欄ニ記載スベシ

6. 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦128.5センチ横91センチニスベシ

(II) 取立金受領ノ際提出分 經由銀行名

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號⑩

取立債權ノ種類	
---------	--

[註1111]

[註1111]

支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	
金額	外貨
爲替相場	
備考	

準則 1. 本報告書ハ一通ヲ作成シ取立金受領ノ際相手方銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

2. 取立金ヲ本邦ニ回収セザルモノニ付テハ備考ノ欄ニ之ガ保管先及本邦ニ回収セザル理由ヲ記載スベシ

3. 其ノ他(I)ノ準則2乃至6ニ準ズ

報告書式第十七號(第二十四條)

外國居住者ノ爲ニスル取立ノ引受報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號⑩

外國居住者ノ住所、氏名又ハ商號	支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	金額	取立債權ノ種類	取立依頼先ノ住所、氏名又ハ商號	取立金處分ノ方法	取立ノ理由	備考
	外貨						

準則 1. 本報告書ハ二通ヲ作成シ取立ヲ完了シタルモノニ付各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

2. 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ割價タル邦貨額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ

3. 取立依頼先ノ欄ニハ引受ケタル取立ノ更ニ他ノ者ニ依頼シタル場合該依頼先ニ付記載スベシ